

Kansai University Alumni Association News

關大

第561号

平成23年(2011年)1月1日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

年頭のご挨拶

寺内会長、上原理事長、楠見学長

新春座談会 「関西大学所蔵名品展」によせて

新春特集 年男年女学生時代を語る

アメリカンフットボール部、リーグ戦2連覇

2年連続の甲子園ボウル出場はならず

織田がGPシリーズ・ファイナルで銀メダル獲得

2011スプリングフェスティバル 4月3日(日)開催

新年特別号



関大 561号 目次

- 4 **新春座談会 「関西大学所蔵名品展」によせて**
3月5日から伊丹・柿衛文庫で開催
～関西大学・柿衛文庫・伊丹支部関係者が意義・見どころ語る～

本部活動

- 10 **2011スプリングフェスティバル**
4月3日（日）に千里山キャンパスで開催
第37回見学会に校友・家族92人が参加
高槻ミューズキャンパス見学し、伏見を散策
- 12 **新春随筆 テレビ『99年の愛』を観て思う**
－武士道と教育勅語を顧みて－ 元校友会長 畑下 辰典

大学・学生関係

- 14 **泊園記念会創立50周年記念事業成功裡に終わる**
－泊園記念会会長・文学部教授 藪田 貫
高槻ミューズキャンパスでも「防災Day2010」を実施
博物館学課程創設50周年記念
講演会と懇親会、4月3日（日）に開催
アメリカンフットボール部、リーグ戦2連覇
織田がGPシリーズ・ファイナルで銀メダル獲得
- 19 **オース！ごきげんさん。<36>－松井 浩之（上）**
- 20 **新春特集 年男年女 学生時代を語る**
－卯年生まれ19人の青春
- 30 **きらっ人校友録②⑧ ライブで酔わせる歌姫 bird（バード）さん**
- 32 **北から南から＜各地支部だより＞**
校友トピックス 新刊紹介 会と催し 訃報



京セラドームで行われた西日本代表校決定戦

葦の甲

新しい年を迎えるたびに、今年一年はどういう風に生きようか、どんな夢を持とうかと元旦だけは真面目に思う。しかし、毎年除夜の鐘を聞くころは反省しきりである。一年の計は元旦にありとは言うもののなかなか思い通りにはいかないものである▼

夢は大きすぎても叶うのは難しいし、小さすぎてもつまらない。持たないのは、なおつまらない▼最近になって本棚の隅に医学博士でもある日野原重明先生の著書『生きかた上手』を目にした。すでに読まれた方も多いと思うが医者の立場からというよりも人生の大先輩としての重みのあるアドバイスである。明治11年生まれとはとても思えないほどバイタリテイに溢れ、しかしながら自分の考えを押し付けるわけでもなく読む人にとって快く身体の中に沁み込んでくる▼50代を人生の最大の節目とし、自分自身の人生がここから始まるという考えに、なるほどと思うが、いざ自分自身を当てはめてみると自分自身の人生が始まったとはとても思えない。当時、これからの自分にとっての夢が何であったのかも思い出せない▼しかし、50代でなくとも人生それぞれ節目がある。その節目節目に夢を持つことが、生き生きとした自分自身の人生を発見することができるのではないだろうか▼「ひとは昔年をとり老いていく。でも夢を持つことによって青春であり続けることができる」。建築家で有名な安藤忠雄氏の言葉である。今年には思い切り大きな夢をもちませんか、10代に戻るかもしれません。



カット：西村公郎

社会との連携を目指し具体的な考動を

校友会長 寺内 俊太郎

校友の皆さま、新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、清々しいお気持ちで、お健やかな新しい年をお迎えになられたこと存じます。

私が校友会長に就任致しました平成21年1月24日の臨時代議員会において、「強い関西大学を支える元気な校友会」を会是に、「総力結集・創意工夫・熟慮実行」のスローガンのもと、母校の長期ビジョン「社会を見つめ、変化に挑む『考動』する関大人が世界を拓く」のスローガンを支えて行くことを校友の皆さまに提言いたしております。

その後、校友会の本部執行部は、第2回常議員会（平成21・3・17）で正式スタートし、第95回定時代議員会（平成22・6・12）において、法人・教学の役員任期が平成24年10月に4年間に統一されるため、校友会も今期から4年間にすることの会則改正が可決承認されております。

従いまして、その4年間の任期は後半に突入したこととなり、右記の会是を具体的な行動＝考動として、い

ま取組むべき時が来たと思います。

40万人校友は、在学中の正課・課外活動・ボランティア活動等を通じて同窓・仲間との絆で結ばれており、無形の財産とも言えるものを内在しております。そして、その絆を確かめ合い、深めながら自ら研鑽し高めて行く場が校友会であると考えます。

校友の方々が、地域支部、職域会等での地域に根差す諸活動を通じて、地域と社会に貢献することが校友会活動の活性化を促し、母校・関西大学に対する熱き思いが高まる循環に致したいと存じます。校友会本部としても、これらの活動を力強く応援して参る所存です。

そして、校友と母校・関西大学においてこれまで以上に強固に連携することが肝要と考えます。大学・校友それぞれが保有する知的資産を双方、および校友間で活用することにより、校友のみならず母校の発展と地域社会に寄与できるものと思われまします。

また、就職活動の厳しい情勢の中で、地元へのＵターン就職も希望通りに叶わない学生への応援の一つとして、地域支部からの情報の提供作り、応援体制作りを体系化することも重要な施策と考えます。これは、学生も校友会会員であることを常に念頭に置き、今後の校友会活動を行わなければならないと感じています。全校友の方々に改めて認識を深めて戴くようお願い申し上げます。

すべての校友の皆さまの燃えるような母校愛を結集していただき、物心ともに力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、本年の皆様方のご多幸とご健勝を心からご祈念いたし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



関 西 大 学 校 友 会

代議員会議長	代議員会副議長	監事	監事	監事	財務部長	組織部長	広報部長	事業部長	総務部長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会長
日根 直人	山田 拓幸	黒津 忠夫	片山 久江	朝倉 満	植田 芳光	渡邊 泰之	三木 允子	伊藤 晃充	北嶋 弘一	石井 國男	田中 義昭	小寺 一矢	大谷 啓二	古川 好男	寺内俊太郎



カット：西村公郎

年頭のご挨拶

激動する社会に挑む創造的な人材の育成を

理事長 上原 洋允

新年あけましておめでとうございます。全国各地で活躍の校友の皆様には、お元気で良き新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年4月には、校友の皆様からも多大なるご支援、ご協力を頂きました「2010プロジェクト」が結実し、新しい併設校や学部等がスタートしました。年頭にあたり、改めて厚く御礼申し上げます。おかげさまで、中学入試の専門家による「2011年の私立中学校の入試動向」では、中等部、北陽中の両校が、「今後人気が上昇しそうな学校」として、挙げられております。

さらに、大学につきましては、2010年11月29日の「日経進学ナビ」に掲載された「志望大学ランキング」で、「西日本エリア1位」を獲得いたしました。ここでは、2010プロジェクトの各種事業や、本学の教育内容、就業力支援やグローバル人材の育成などが評価されたようです。2012年4月には、まもなく着工する「南千里国際プラザ」を拠点に、留学生の宿舍や「日本語・日本文化教育プログラム」を開設予定であ



り、「国際社会で活躍する人材の育成」に向けて、今後さらに社会の要請に応えるよう取り組む所存です。

さて、中央教育審議会が平成20年12月に発表したところによりますと、高等教育のグローバル化が進む中で教育の質を保证するシステムの再構築を図り、出口では経済社会から職業人としての基礎能力の育成、さらには創造的な人材の育成が強く要請されています。これに應えるには、学士課程水準の維持向上のため、教育の自身の充実を図っていくことが喫緊の課題としてあります。しかしながら、最近の就職難が就職活動の早期化と長期化を招き、大学教育の実質的な空洞化を引き起こしています。

日本学術会議の「大学教育の分野別質保証の在り方検討委員会」は、「大学と就職との接続検討分科会」を設け、昨年7月に、①大学教育の職業的意義の向上、②大学教育の課程を概ね修了した段階で開始される就職、採用活動、③卒業後も求職活動や適職探索を行う余地が3年程度は認められる初期職業キャリア等についての提言を行いました。

本学においてもこうした社会状況に対応すべく、これまで以上に教育研究の工夫を重ねて充実を図り、激動する社会に果敢に挑戦し、アグレッシブな生き方ができる人材の育成を目指す必要があるといえます。

振り返りますと、2010年は本学体育会から多くの団体・個人が日本一に輝き、世界レベルで活躍するなど、「関大スポーツ」の活躍が目覚ましい一年でありました。今年も昨年を上回る活躍で学園を盛りたててくれることを期待し、併せて皆様のご一家繁栄と母校の飛躍を願い、年頭のご挨拶といたします。

学校法人 関西大学

理事長	上原 洋允
学長・理事	楠見 晴重
専務理事	池内 啓三
常務理事	小西 靖洋
常務理事	増地 英一
常任理事	市原 靖久
常任理事	大冨 征次
常任理事	黒田 勇
理事・相談役	森本 靖一郎

理事

吾妻 重二	田村 俊太郎
石川 昌司	寺内 洋
一軸 浩幸	東郷 靖之
宇恵 勝也	南部 雅史
片桐 新自	西岡 明雄
片山 久江	萩尾 千里
河田 恵昭	橋本 定樹
北田 伸治	林 宏昭
木谷 晋市	前田 裕
木下 智史	道前 博
五藤 勝三	山縣 平蔵
芝井 敬司	吉田 栄司
角 和夫	
竹内 洋	
監事	
石井 國男	小寺 一矢
小坂 裕次郎	竹内 正明

評議員会議長
同 副議長

児玉 憲夫
紀和 隆



カット：西村公郎

未来へのチャレンジと守るべき伝統

学 長 楠 見 晴 重

新年明けましておめでとうございます。校友諸氏におかれましては、よき新年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

現在の関西大学の隆盛は、40万人になろうとする校友諸氏の、これまでの社会での活躍と、関西大学に対する日頃のご支援の賜物と感謝申し上げます。

私は、一昨年の学長就任以来、「ハブ大学」化構想となえています。関西大学が世界、また国内各地域とながり、学術・文化のセンターとなる。これが「ハブ大学」化構想です。特にアジア・太平洋地域が経済的にも文化的にも世界をリードしようとする21世紀、私は、関西大学をアジア・太平洋地域のハブ大学として機能させたいと思っています。昨年、タイ、ベトナム、ニュージーランドなどの大学、国立機関との提携を結び、新たに交流を進めるため、私自身も、アジアの各地を訪問してまいりました。関西大学が国内外の研究機関や各地域とハブとしてつながり、研究や人材育成において、グローバルな人類社会に貢献する、こうした「ハブ大学」化構

想の実現に向けて、チャレンジ精神をもって努力をいたしております。

関西大学は今年創立125年目を迎えますが、関西大学の伝統を守り、後世に確実に伝えていくことも我々に課せられた使命です。その一つが校章です。関西大学は「葦」を校章として戴いています。「葦」は、日本が古来より「豊葦原瑞穂の国」と呼ばれているように、日本を象徴し、大阪を、そしてそこを流れる淀川を代表する植物であります。

またこの「葦」は、フランスの哲学者・パスカルのことば、「人間は考える葦である」でも有名です。宇宙の大きな力の前に、地球上の生物、人間も「葦」も同様に取るに足りない存在だが、人間が、他の生物と違うのは、「考える」ことができるからだ。人間を人間たらしめるのは、「考える」ことができるからだ。こうパスカルは説いています。日本や大阪を象徴するだけでなく、知性をも象徴した、この「葦」を我々は長く冠に戴いている、このことを誇りにしないわけには参りません。

また、この校章を長く守り続けてきた先人の関西大学関係者、校友諸氏に対して敬意を表する次第です。関西大学の長き栄光と伝統を象徴するこの素晴らしい校章のもとに集う校友であることに、皆様は益々誇りを持っていただけだと思います。

私は、関西大学の現在の繁栄が、この伝統の上にあるということ改めて認識をいたしまして、学長として、これからの関西大学の将来をしっかりと舵取りしていかねければならないと、新年にあたり決意を新たにしております。母校関西大学への力強いご支援をお願いするとともに、皆様のご健勝を祈念申し上げます。

関 西 大 学

学 長	楠 見 晴 重	副 学 長	黒 田 晴 重	副 学 長	市 原 靖 久	副 学 長	上 島 紳 一	副 学 長	廣 瀬 幹 好	吉 田 栄 司	吾 妻 重 昭	林 宏 昭	宇 惠 勝 也	片 桐 新 自	奥 和 義	竹 内 理 洋	竹 内 晋 昭	木 谷 恵 裕	河 田 裕 昭	前 田 裕 裕	小 田 裕 裕	田 村 裕 裕	関 口 理 久 子	木 下 智 史	柴 健 次	山 本 秀 樹	笹 倉 淳 史	亀 田 健 二	北 川 勝 彦	高 橋 隆 博	柴 田 隆 一	水 野 一 郎	松 浦 一 章	石 川 正 司	佐 藤 や よ ひ	鶴 飼 康 東	橋 本 定 樹	鈴木 清 士	米 津 俊 司	田 中 明 文	石 倉 千 世	幼 稚 園 長
-----	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	-------	---------	---------	---------	-------	---------	---------	-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	---------	-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------

「関西大学所蔵名品展」によせて

3月5日から伊丹・柿衛文庫で開催

9千400冊の貴重書を収蔵—総合図書館
博物館—指定文化財28点含む2万余点

田中—新年明けましておめでとうございます。
(全員—おめでとうございます)

本日は、来る3月5日から27日まで、伊丹市の柿衛文庫におきまして「知と美の集大成—関西大学所蔵名品展」が開催されますが、これまで開催に向け尽力されてこられました関西大学の関係者、柿衛文庫、そして校友会伊丹支部の皆さまにお集まりいただき、その意義、出展作品等につき、これまでの経緯を含めてお話しいただき、広く校友の方々にお知らせしたく、この座談会を企画いたしました。

公私何かと多用のところをご出席いただき、誠にありがとうございます。

「強い関西大学」を提唱され、スポーツの関大が注目を浴びる中、今回の催しは、「アカデミック関大」を地域社会に発信するということで、大学の推進する社会連携の一つとして画期的なものと思いますが、まず現状を理解していただくということで、それぞれの施設、活動についてお話しいただきたいと思っています。

最初に、関西大学図書館長の北川先生には、図書館の活動、施設についてご説明をお願いいたします。

私も、今回のチラシを配っていましたら、「関大には一体どれだけのそんな資料があるねん」と、よく聞かれたのですが、お分かりになっている数字でも結構ですから、お聞かせください。



北川—関西大学に図書館ができて100年近くな

りますが、現在の総合図書館になってからも25年経過しました。その間、さまざまな貴重書を収集しておりまして、現在所蔵している貴重書には和書が約4千冊、洋書が約5千400冊、合計で9千400冊あります。総合図書館の3階

部分に約238・2平方メートルの「貴重書庫」があり、3万2千冊ほどの収蔵が可能です。常に湿度55%ぐらいに、温度は20度から24度に保たれており、カビあるいは害虫から貴重な資料を保護するという形で収蔵しております。

年2回か1回、1階にあります展示室で、貴重書あるいは非常に珍しい名品などを展示する企画展を実施しています。

また、最近では貴重な資料をデジタル化し、ウェブサイトでご覧いただけるように、電子展示室という形で公開しています。

貴重書指定の基準ですが、和書については、大体慶長以前のもの、つまり1614年以前の刊行本あるいは写本。洋書は1800年以前の刊行物あるいは写本を貴重書として指定しており、内外の評価を得ているところでです。

田中—ありがとうございます。

続きまして博物館長の高橋先生にお伺いしたいのですが、図書館はこの大学にもありますが、博物館のある大学というのは国内でも指折れる程度ですね。どういう経緯で関大は博物館を作られて、現在どういうのを所蔵されておられるのでしょうか。



高橋—今いじくもおっしゃっていただいたように、

大学にとって図書館が片一方の輪っか、博物館がもう一方の輪っかということで、両輪なんですね。両輪でなければいけないんですけど、日本はどういうわけか、文部科学省の大学設置基準に、博物館をつくりなさいという規定がないんです。これはお隣の韓国から見たら随分立ち遅れてまして、韓国は設置基準に図書館と博物館を両方設置しなさいとあります。

博物館設立の経緯なんです、実は博物館となりましたのは平成6年で、時期的にはそれほど古いというこ

とでもないんです。但し、博物館構想については、昭和63年度に文化勲章を受章された、日本考古学界の権威者であります末永雅雄先生が、長い間そういう構想を持っておられたんです。平成6年までは、まだ博物館という名称ではありませんでしたが、すでに博物館が収蔵すべき資料というのは膨大に持っており、ほぼ2万点あったんです。ですから、博物館設置は末永先生の、そして多くの方がたのいわば悲願でもあったわけですね。

その中には重要文化財が16点、重要美術品が12点。合わせて28点があります。指定文化財を持っている大学博物館は余りございません。そういう意味では日本に誇るべき、言わば老舗の大学博物館ということになるだろうと思います。

年間の活動ですが、春には企画展を毎年学芸員が企画しております。その後は常設展です。また、年1回ミュージアム講座を開講しています。これは3人の講師をお招きして、日にちを変えて3回やっています。

開館は月曜から金曜までですが、校友の方々はもちろんのこと、一般市民からも土曜日も開けてくれという要望が多いので、23年度からは土曜日も開館することになっております。

田中—北川先生、「こんなもんあるのに、おれらは見られへん」と言う人が大勢おられました。見られへんはずないねんけど、いつ見たらいいのかわからないんです。学術資料を校友が見る場合はどうしたらよろしいんですか。

北川—貴重本、貴重資料につきましては、いつでもどうぞという訳にはいかないんですが、所定の手続きをすれば閲覧可能です。これまでは年2回、春と秋に展示をやっておりました。最近は、諸般の事情で、専門的にそれを扱うライブラリアンが減少してきております。現在は年1回、春に展示しています。平成22年度ですと4月1日から5月16日まででした。

日本三大俳諧文庫の一つ—柿衛文庫 伊丹支部—2年前から開催に取組み

田中—わかりました。



続きまして、柿衛さんにお尋ねしたいと思います。柿衛文庫は日本三大俳諧コレクションということですが、由来とか館蔵の著名な書など、ご説明いただけますか。
今井―柿衛文庫は昭和59年、今から27年ほど前に開館しました。

コレクションです。

岡田先生は、伊丹で江戸時代から続いております酒造家の22代目でございます。伊丹は慶長ごろから酒づくりが行われてきて、元禄期に最初のピークを迎えます。

柿衛文庫という名前にありますように、図書館と博物館を融合したような施設です。私どもの文庫のコアとなるのが、俳文学者の岡田利兵衛先生の

当時、消費地として隆盛の途にありました江戸へ上質な酒を送ることで、経済的に非常に豊かな地となりました。そして、例えばお茶、お華、俳諧、漢詩、能、謡曲といった文化を楽しむ風土が生まれました。岡田利兵衛先生という方は、まさにそうした江戸時代の伊丹人の氣風をそのまま20世紀―明治25年のお生まれです―に引き継がれたような方だったんです。

ご自身は酒造という企業家、伊丹町長や市長という行政官、俳文学研究者、そして聖心女子大をはじめ各大学の教壇にも立たれるなど、多方面で活躍されました。町長時代に、伊丹を代表する俳人・鬼貫の資料が伊丹から流出しなかったことがあり、それを契機に、俳諧資料の系統だった収集を始めたんです。

そのコレクションを、ゆかりの地で何らかの形で後世に伝えたいという思いを伊丹市に申し入れられ、当時の伊丹市がその思いを受けまして、財団法人をつくります。そこへ岡田先生が資料を寄付するという形で、この柿衛文庫が発足したわけです。

ですから、この柿衛文庫の資料だけで、連歌の時代から現代まで4〜500年に亘る俳諧、俳文芸の歴史が辿れます。和書主体の俳書を中心とする書籍3千500点、軸物や短冊といった直筆類は6千点を数えております。

東大図書館の酒竹・竹冷文庫、天理大図書館の綿屋文庫と並び、三大俳諧文庫と称されているわけでございます。

出席者

関西大学 図書館長 博物館長 学術情報局長 財団法人 理事 事務局 校友会 支部長 支部長 支部長 校友会 会長 副会長 事務局次長	北川勝彦 (経済学部教授) 高橋隆博 (文学部教授) 熊博毅 一雄紀 乾今井 長谷 藤原 新古 田中 成岡	拓宏 達夫 昭二 昭二
--	--	----------------------

活動としては、年2回の特別展と、その間を縫って小企画展をしております。小企画展は、収蔵品を中心に角度を変えてテーマを設け展示しております。特別展の場合は、館蔵品の位置付けをより広げるということで、関西大学図書館さんにも何回かお世話になり、例えば井原西鶴や大岡春卜の直筆や絵手本とか、関大さんにはかないものを何回か拝借して、私どもの展覧会を組ませていただきました。

田中―どうもありがとうございます。

続きまして、伊丹支部さんですね。支部としての紹介をお願いします。

加藤―今回、「知と美の集大成 関西大学所蔵名品展」を開催するに当たりまして、ま



ず最初に、関西大学図書館、博物館ほか関係者の方々が非常にご尽力を下されたことに、心からお礼を申し上げます。したいと思います。

伊丹市は近年、「ことば文化都市伊丹特区」ということで、子どもに対することは教育を振興していくと取り組んでいます。そういう地盤と、関西大学が進める「地域連携」という、大学の方針がマッチし、この催しに結びついたんじゃないかと思えます。

伊丹では、歴史と伝統と文化を通じて街おこしをしていくという機運がありました。

たまたま、伊丹支部には校友が2千人以上おります。その伊丹市内に在住する校友の皆さんにも、「関西大学にはこういった素晴らしい名品、あるいは学術的なものがあるんだ」と、直接自分の目で見ていただいて、人間の英知というものを感じてもらえたらと思いい、伊丹支部としましては約2年前から取組みをはじめ、関係各位にお願いして、実現にこぎ着けたわけです。

この催しを、皆さんの力をお借りして成功裏に終わらせるよう、役員一同頑張りますので、よろしく願いたします。

古屋敷―今回の事業は、支部の活性化にも繋がると思っています。伊丹市在住のOBは2千200人ほどおられますが、登録会員は約200人なんですね。支部



としては、会員の掘り起こしも含めて取り組んでいます。

今回は、チラシを3万枚刷りました。配布先は、まず伊丹市在住校友の皆さん全員にお送りしました。また、先日の校友総会、1千人ほど集まりました。ここでもPRさせていいただきました。さらには校友会の各地の支部、200ほどありますが、そちらにも協力要請をし、近隣支部の総会にチラシを持って行ってアピールをするとか、そんな形で積極的に取り組んでおります。

この事業推進に当たりましては、支援実行委員会というのを作りまして、浄財といいますか、校友の皆さま方から少しでもご援助いただこうと頑張っているのが実情です。

新しい地域・社会連携の機会として 関西大学と柿衛文庫のカラーを融合



田中―名品展の開催に、伊丹支部さんが取組み始めたんですけど、それを受けられた関西大学の図書館さん、あるいは博物館さんのご感想は、まあ、ありがた迷惑と言ったらおかしいけど(笑)。いかがですか、率直なところ。

北川―関西大学は、ここ最近では教育、研究、社会連携、国際化という4部体制で、教育理念とか、目標に向かって教学の仕組み、枠組みをつくっております。

図書館も、単に古いものを入れて保管しているということではないといけないでしょうか、今後どのように教育面、それから社会連携、地域貢献、さらに国際貢献とまでいけるかどうかわかりませんが、そういうことを考える時期に来ていることは確かです。この企画をご提案いただいた時に、図書館としても校友の皆さんにも支えていただかないといけない面があるでしょうし、また、地域連携、社会連携、そういう形のものをどう作り上げていくかということについて、議論がようやく始まったところでもありますので、非常にいい機会をいただいた

と、率直に感じております。

田中―ありがとうございます。高橋先生は、

高橋―先ほど地域連携、社会連携という話が出ましたけれど、これまでは外に出て行くという場合は教員が出ていく、教員数名が出向いてシンポジウムとか講演会をやるという、たいがいの場合には「人」なんです。ところが、終わってしまうと、人々の記憶にあまり残らない。図書館・博物館の持っている、目に訴える資料というのは意外と脳裏に残るものでして、足をとめて見入る、解釈しようという気分が生まれる。そこが人間の感性を呼び起こし、奥行きを形成していくわけです。以前から私は、関西大学の博物館の持っているものを、あちこちのところで交換展示できるようにすることがあればいいなと思っておりました。

そういう意味では、身近な伊丹市さんという形でやれる。しかも柿衛文庫さんは全国的に知られた文庫です。ので、場所といい、お互いの効果的なことを考えれば抜群かなと思います。

ただ、これがどこでも展開できるかというと、なかなか難しい問題があります。例えば、公民館で指定文化財を公開すると言っても、文化庁から許可が下りないわけで、それなりの施設でやらなきゃいけない。そうやってきますと、いくら図書館・博物館の貴重な文化財や美術品を外に持ち出して地域連携、社会連携の中で位置付けていきたいと言っても、そこはなかなかハードルの高いところがありますね。

田中―柿衛さんからも、こういう企画を持ち込まれた時の感想なりをお願いしたいんですが。

今井―まず施設面から申しますと、もちろん重文でも国宝でも展示ができるだけの、保管とか、防犯とか、消防設備とか、かなりの高いハードルをクリアしていますので、そういうものでもお受けできます。

ただ、柿衛文庫のカラーといいますか、基本的に持っている性格というものがありません。柿衛は、文芸関係の文庫、ある意味で文学系の博物館の嚆矢みたいなところがあるんですね。それで現在に至っていますので、このお話があった時に、「どういう形で融合したら柿衛文

庫で展覧させていただく特色が出せるか」ということをまず考えさせていただきました。

関西という文化圏でみれば、大阪も伊丹も共通の文化的な歴史を持っているわけで、関大さんの名品リストを拝見し、私どもの名品の中でどういう組み合わせができるか

ということを考えていただいたときに、非常にうまく融合できたんですね。そういう意味では今回とてもいいお話をいただき、田中さんをはじめ皆様方に本当に感謝申し上げているところでございます。

「職業婦人繪巻」など学外初出品も 3万枚配付のチラシ、上品と評判に

田中―特色ある展示になりそうだとのことですが、どんな作品が出品されますか。約50点とお聞きしておりますが、何点かでも結構ですから説明いただけますか。

高橋―今井館長さんがおっしゃったように、博物館にはそれぞれ設立の趣旨があり、性格があり、哲学がありますので、それを壊すというか、イメージと違うものというのはあんまりよろしくないわけですね。

そうしますと、やはり柿衛文庫さんの肌合いに合うようなジャンルの文化財、例えば「大阪の文人」、そういったことが中心になろうかな、じゃあどんな作品があるんだろうと。よく知られている作品もいんだけれど、新しく寄せていただいた新資料なども、我々だけが知っているんじゃないかと、伊丹市民の方にも、あるいは伊丹在



▲会場となる柿衛文庫

住の関大OBの方々にも「こういうものが寄せられたんですよ」ということを知っていただくいい機会にしたいと思って、長さ14メートルもある菅橋彦画伯の「職業婦人繪巻」を出品させていただきます。これは初めての館外出品になりますね。

菅さんは、鳥取県倉吉市のご出身ですが、小さいころから大阪に住んでおり、大阪の名誉市民第1号になっている人です。日本芸術院賞を受賞されています。そういう方で、長大な絵巻が、これは田中さんも骨折っていただいて博物館に納まった作品です。これは関西大学のキャンパスのなかだけで楽しむでなくて、多くの人々に知ってもらいたいということで、あえて選ばせていただいたところがあります。

田中―北川先生、図書館の方はどうでしょうか。

北川―図書館からも沢山出品させていただきます。柿衛文庫さんがお考えのコンセプトとかけ離れたものをお出しするというのもどうかというところで、内部でいろいろ検討させていただきました。例えば木村兼葭堂の「花蝶之図」というのがありますが、これを一つ選ばせていただいております。

兼葭堂は、元文2年に生まれ、享和2年に亡くなっておりますが、大阪の北堀江で代々酒造業を営んでいる家に生まれた方で、さまざまな作品を残しておりますが、現存する作品は多くありません。

田中―柿衛さんの方も、それとコラボレーションというところで、いろんな作品を、今度何点ぐらい出されることになるんですか、館蔵品としては。

今井―部屋が小さいので30点ぐらいになるんじゃないかと思いますが、まず「職業婦人繪巻」は、近代における職業女性の活躍といえますか、そういう面をあらわした絵巻だと思いましたが、私どもの所蔵品の中から近代の女性俳人たちの作品を選び、近代の女性の俳壇での活躍というようなことを表せたらいいかなと思っています。

それから、木村兼葭堂は、実は当時の伊丹に來られ、伊丹の酒造業の様子を藤岡月に描かせて、「日本山海名産図会」というのを作っておられますので、この資料を兼葭堂・藤岡月・伊丹というつながりで出展させていただきます。

だきたいと思っております。また、大岡春卜は、伊丹出身の俳人鬼貫と一緒に長大な作品を作ったりしております。そういう意味でも、今回は私どももよい機会を与えていただき、大変ありがたいと思っております。

田中―お話しのように、伊丹あるいは関西大学と縁の作品が、兼葭堂さんをはじめ沢山出てくるということとで楽しみにしておりますけど、伊丹支部さんは、どう感じておられますか。

加藤―日ごろ仕事に追われていて、大学での展示もなかなか見に行けません。それが、伊丹でこういう名品を見させてもらえるというのは、非常に良い機会になると思います。これから、いろんな意味でさらなる教養を深める一つの縁になるんじゃないかと思っています。

田中―特に今回、チラシの評判がいいですね。北野恒富先生の「花の夜」という作品とか、このチラシ作成について、熊さん何か。



熊―そうですね、サブタイトルに「知と美の集大成」と入ってますけれども、一般の人がこれを見て「見に行きたいな」と思うようなチラシを作りたいと思ったのです。北野さんの絵は非常に上品で、インパクトも強いので、これをメインに出してきたことなのです。

デザインは専門家をお願いし、素材を提供しようというところで、図書館にも協力を仰いで、また柿衛文庫さんの方も、「こういったものを展示しますよ」とか、「こういったところに見どころがあるんじゃないですか」というようなことを提案していただいて、結果的にこういう、本当に「知と美の集大成」というのを端的に表した上品なチラシができたと思っております。



高橋―チラシにあります「独楽園賀詞帖」。これは文部科学省から5年間の研究期間を与えられて、私が研究者代表となって、平成17年に関西大学にわ・大阪文化遺産学研究センターを立ち上げました。そのときに縁があつて購入させていただいた賀詞帖なんです。

これは大変貴重なものですので、学内でもちょっとした公開しております。これも今度初めて大学の外にお出しすることになりました。

熊―先生のお話に追加して、「職業婦人繪巻」ですが、博物館でも頂戴したときに特別展をやったのですが、何しろ14メートルという非常に長尺の絵巻ですので、全部伸ばして展示ができないんですね。博物館でも場面を変えながら展示をしてみたという経緯があるのですが、今回、柿衛文庫さんの展示室がちょうど14メートル横に伸ばせるだけの広い展示室で、初めて「職業婦人繪巻」を全巻伸ばして見ていただくということが可能になりました。このことも見どころの一つじゃないかと思っています。

北川―図書館から出させていただくもの一つに、やっぱり10メートルぐらいある、耳鳥齋の「別世界巻」というのがあるんですが、これは地獄のいろんな様子をあらわした戯画ですが、今回は少し広げてご覧いただくという形になるのでしょうかね。

今井―はい、多分。

田中―古屋敷さんは、伊丹支部の広報部長としていろんなところへ宣伝活動をされておられますが。

古屋敷―かなり配布させていただきました。大学では、関西10大学と関東6大学。それから近畿圏の高等学校、特に関西大学と関連のある高等学校ということで、約180校ぐらいですかね。また、伊丹商工会議所が、毎月「商工ジャーナル」というのを2千数百部発行しております。それにもチラシを入れましてアピールしていきます。

さらに銀行や郵便局でも配布させていただいたり、柿衛文庫さんのすぐ近くの白雪さんの「長寿蔵」というレストランにも、かなりの部数をポスティングさせていただいて、来客の方々にも見ていただくというような形で、広範囲にチラシを配布させていただいております。

田中―柿衛さんの方でも、いろんなところへアプロ

イチしていただいているとお聞きしましたが。

鷲谷―まず市内の高校ですね。県立伊丹高校、市

立伊丹高校。あと県立では北高、西

高と4校ありますが、チラシを配布さ

せていただき、市内17の小学校、8

つの中学校にも配布させていただきました

す。



また、入館料は通常でしたら高校生・中学生は有料になりますが、今回は高校生以下は無料としました。そういうことで関西大学のことをよく知ってもらおうと設定しました。

私は大学は違いますが、関西大学のOBはこれを見られたら、多分こういうものがあることを知らない方が大半だと思うんですが、非常に羨ましく思いますね。また、柿衛文庫としても、関西大学は40万人を超える卒業生がおられ、うち住所がわかってる22万人の校友の方に柿衛文庫の名前もアピールできる場だと考えておりまして、ありがたいなと思っております。

高校生以下無料で「関大」アピール 3月12日には名品を語る特別講演会

田中―今、鷲谷局長がおっしゃったように、高校生以下は無料という、そういう発想はどういうところから

古屋敷―まず一つは、「関西大学ここにあり」という

ことがあります。小・中学生、高校生、特に中学・高校生には知ってもらおうということがまず大事ではないかと。そのために来やすい環境をつくってあげるといことが、今回、高校生以下は無料にしてはどうかということにつながったということです。

田中―多くの人に見に来ていただけるよう、努力しておられますが、そういうのを受けられて、ご感想とか。

高橋―地方自治体は財政が大変で、破綻しているところもあり、運営が立ち行かないということで、博物館・美術館を閉める、あるいは第3セクターの運営、あるいは指定者管理でやっていくところが増えてきているのが現状です。そういうのが日本全国の博物館・美術館を取り巻く最近の環境なんです。ところが、先ほど

の「地域づくり」、「街おこし」、あるいは「連携」というのが、最近の一つのキーワードになっておりますので、そうした中で博物館・美術館を機能させていくことが大事なことです。

「地域連携」とか「社会連携」、「街おこし」の母胎になるものは一体何なのかというと、それは歴史遺産と文化遺産しかないんです。これを根底に置かなければ成り立ちません。そういう意味で今回、伊丹、柿衛さんをつつの磁場として、それに関西大学が協力させていただいて、校友会の方々も協力いただけてやっていく、これは非常にいい試みだし、最初の試みですが、期待できるんじゃないですか。小・中・高生を無料にするというのも一つの戦略だし、僕はいい形だと思いますね。

田中―これは来てもらったら喜んでもらえる作品ばかりが揃っていると、私も本当に素人ながら実感しました。ぜひ、いろんな中学生、高校生だけでなく、関大生も来てもらって、自分の学校にはこんな人があるというのを改めて実感してほしいと、このように思います。それ以外にも何か推薦することはありますか。

熊―今回は、大阪の歴史と文化ということも切り口のの一つとして置いています。かつ、見て綺麗なもの、そうではないけれども深みのあるもの、いろいろ取りまぜて展示計画を立てたということがありますので、先ほど高橋館長もおっしゃいましたけれど、磁場の一つとして人が集まってくるというような展示を実現させたいと思っております。そのあたりを、実際に目で見て、確認をしていただければと思っています。



乾―私も初めてこういう試み、大学と地域とが連携して、すばらしい作品を伊丹市民のみならず近隣の方々に見てもらえると、うのは、大変ありがたい機会だと思っております。中学、高校生のみならず、地域の人々にもぜひ足を運んでもらいたいですね。そういう努力を柿衛文庫としてもやっていきたいと思っています。

また、これがきっかけになって、近隣の大学、例えば関西学院大学も近くにありますが、大手前も大阪芸大

もありますので、そういう方々の刺激になるんじゃないかと。「関西大学は、あんなすばらしい作品を伊丹で展示している。ぜひうちもやらせてくれ」と。そういう機会になれば、先ほど出てますように、地域起こしにもなると思いますので、何とか成功するように頑張りたいと思っております。特に、伊丹支部の方々、もう本当に熱心にご努力していただいておりますし、大学の方々に厚くお礼を申し上げます。

田中―乾理事長ご自身が関西大学の校友でありますので、温かい言葉ありがとうございます。

今回、特に講演会が予定されているようですが、高橋―期間中の3月12日(土)に、13時半から15時の間で、もちろん場所は柿衛文庫さんですが、特別講演会「関西大学の名品を語る」をやらせていただきます。講師は関西大学元教授の肥田皓三先生です。江戸時代の知の巨人といえは木村兼葭堂ですけど、この肥田先生もいわば知の巨人でございます。これは、なかなかいい企画をしていただいたなと思って、喜んでおります。

今井―聴講は無料ですが、柿衛文庫まで予約をいただくことになっております。定員は100人ですが、超えてもある程度は受入れ可能かと思っておりますので、できるだけ早めにご連絡ください(072-782-0244)。

田中―もう一つお聞きしたいんですが、高松塚古墳の写真パネルのほうは、関西大学さんとしては事情が許せばオーケーなんでしょうか。

熊―展示するというところで予定しております。いま博物館の前に再現展示室という、陶板で原寸大の展示をした部屋が設けられております。あれと同じ形の写真版がありますので、運んでいって、高松塚と関西大学の関わりを皆さんに改めて知っていただくと思っております。

鷲谷―2階のロビーにちょうど具合のいい空間がありまして、そこへピタッと収まるようなんです、そういう点ではおもしろいかなと。

田中―高松塚の写真パネル、あるいは特別講演会と、より充実した名品展になることは確信しました。そういう総括を受けて、新原さん、ご感想がありましたら

新原―私は、この特別会計を担当しております。成



功させるためには、皆さんのご芳志が
ぜひとも必要ですので、この紙上を借
りまして皆さんのご協力をお願いさせ
ていただきます。

田 中―これが大成に終わった場合、例えばこれ
を第1回の出発点として、第2回とかいうのは考えるこ
とはできるんでしょうか。

北 川―私がこういう発言をしていいかわかり
ませんが、折角こういう形で図書館に所蔵されている名
品、博物館に所蔵されている名品を、今回、柿衛文庫
さんで展示させていただいて、伊丹支部の皆さまのサポ
ート等々含めまして実現できたわけです。これを機
に、どのような形で今後展開できるかということは、ま
だ検討材料もあると思いますけれども、やはり関西大学
にとって、このような形で広く若い層から年配の層まで
認知していただけるということであれば、一定の方向性
を考えなければいけないかなと思
います。



▲名前の由来となった美味な台柿を大学関係者に贈る今井館長

田 中―高橋先生はいかがですか。

高 橋―「博物館行き」という言葉がありますよね。
一丁上がりたいな。おまえの役割は終わったよという
言い方なんですよ。それは大変な誤解でありまして
まさに博物館あるいは美術館が持っている資料、建物、
あるいは空間というのは、これは他に代えがたい財産な
んですよ。その動産というのは、次世代、その次の時代
の人びとの資源なんです。まさに文化資源なんですよ。
そのことに余り気づいておられないというのが現状であ
りまして、そこにまず気づいていただく。

そして、この展覧会の絡みで言いますと、これは関西
大学の一機関がやる、あるいは校友会の支部がやるこ
うなことも大事でありますけれど、やはり私どもは関西
大学、全関西大学がどのように取り組んでいくのかと、
地域連携、社会連携含めて、そうなってくると、図書館
や博物館が単独でどうのこうのという話でなくて、戦略
としてどうするかという、このところにかかわって
るわけですね。それに対応できるものを関西大学とし
ては随分持っていると思います。

田 中―私も今回改めて、母校はそういう美術や学
術資料の宝庫だということを認識しました。これを広く皆
さんに知ってもらおう機会として、また次をやれたらと思
います。

柿衛さん、いかがですか。どういう感想を。

今 井―今、高橋先生がいみじくも動産とおっしゃ
いましたけど、要するに物なんですね。その物がそこに
ある、実物があって、そこに触れるということ、本当
に貴重なことです。特に現在のメディアの世界、ネット
の世界も、全てそれは画面上だけです。実物を目に
する、あるいは実際に触れなくても、自らの目で触れ
るということ、ものすごく大事なことです。10
0年前に恒富さんが描かれた、それがそこにあるわけ
ですから。100年間ちゃんと保存されてきて、今私たち
の目の前にあるからこそ、いろんな思いを感じながらそ
れを見ることが出来る。我々は同じことを次の世代に向
けてしないといけないわけで、それが博物館とか図書館
の役割だと思っんです。

今回も、関西の上方の文化の持つ独特のはんなりし
た雰囲気というのが、展示場全体にきつと漂ってくる
と思うんです。関西大学さんのイメージとしても、最初に
田中さんがおっしゃったように、アメリカンフットボー
ルと高橋・織田君はもちろんです。それに加えて、非
常にアカデミックというか、上方文化の伝統としての
はんなりとした雰囲気というのを、また持っていただけ
るんじゃないかなと思うんですけどね。

北 川―今、関西大学は全国私立大学の520館で
つくっている図書館協会の会長館なんです。任期は今年
の3月までですが、いろんな会合で資料のデジタル化が
話題になっています。

デジタル展示を見た人が、やはり実物を見たいと思っ
て所蔵されている図書館にわざわざ足を運ばれるんです
ね。そこが大事なんです。デジタル化で終わらないと
いう。その辺がやっぱり大事じゃないかなというふう
に思います。

今回、柿衛文庫さんでやらせていただくことがきつ
けになって、大阪のそういうさまざまな画家の作品が、
単に日本だけではなくて、むしろ日本の美術史の中でも
大阪の持っている位置が、認識が変わるという、そうい
うふうな方面でもインパクトがあると期待しています。

田 中―最後に、まだ言い足りないということがあり
ましたら。

加 藤―それぞれの先生方のお話を聞いて、本当に
わくわくしてきました。新春の年頭自警に「年頭新たに
一佳書を読み始めむべし」ということがありますが、ま
さに新春にふさわしいですね。本物を見て、その先人の
オーラを感じるという...、これはもう大変な感動です。
ありがとございました。

ぜひ、成功裏に終わるように努力したいと思っております。

田 中―そうですね、あと2カ月に迫ってますんで
それでは、機関紙「関大」の新年号を飾るにふさわし
い座談会となりましたことを感謝申し上げます。これで終
わらせていただきます。長時間のご協力、本当にありが
とございました。

2011スプリングフェスティバル 4月3日(日) 千里山キャンパスで開催

千里山キャンパス春の風物詩『スプリングフェスティバル』校の母校によつてといふことは、今年も大学の全面的な協力を得て、4月3日の日曜日に開催する。

26回目を迎える今年も、支部の物産展や団体の催しで年々賑やかになる総合図書館前のテントブースを中心に楽しいイベントをいろいろ企画している。

4月3日は、校の母校で「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」

(なお、学内事情により催し内容、会場等が若干変更になる場合があります。詳細は3月号に掲載します)

開催日時 平成23年4月3日(日) 午前10時～午後3時
(時間内にご自由に来学下さい)

開催場所 関西大学千里山キャンパス
(阪急千里線「関大前」駅下車)

(駐車場はありませんので、電車を利用下さい)

行事

＊千里山中央グラウンド……午後1時からセレモニーが行われる。校友会長、理事長、学長の校友を歓迎する挨拶に続いて、応援団による演奏・演奏などが華やかに繰り広げられる。

＊悠久の庭……野点会場(無料)を設営し、茶道部現役学生がお点前で参加者を歓迎。また、短冊なども準備しており、桜を賞でながら句作もできる。作品はその場で掲示。
＊新関西大学会館北棟・1階ロビー……『進学相談コーナ

見学施設

『』を設営し、教員及び専門の職員が大学をはじめ第一中学校・第一高等学校、北陽中学校・北陽高等学校および高槻ミューズキャンパスの初等部・中等部・高等部への進学を希望する校友親子の相談に応じる。

＊総合図書館……展示室では、春季特別展『大坂文人の世界―江戸時代を中心に―』を開催する。
＊博物館……春季企画展は「本山コレクションの由来(仮

題)を開催する。別稿(16ページ)参照。
＊年史資料展示室……23年度企画展『目を離すな 手を離せ』久井忠雄没後20年記念展(仮題)を開催する。

春・昼・晩・オリジナルズ

＊ダイニングホールディノア(生協本部食堂)……和定食・洋定食・麺類・丼物をはじめ子供向けメニューも用意している。また、教室等で総会・懇親会を開催の場合は、弁当(お茶付・1000円)やパーティー用特別料理・飲物の予約もできる。関大生協飲食事業部(電話06-6368-7531)まで直接申し込みを。
＊レストラン紫紺……1000

教室で総会・懇談会・OB会等の開催を！

テントで展示会・物産展などできます！

毎年、支部をはじめ各組織の総会や懇談会、ゼミのOB会、クラブの現役とOBの交歓会などが、大学の配慮により教室等を会場として開催されています。この機会に是非ご計画ください。

また、図書館前から経営学舎付近までテントを設営し、各組織によるイベント

周年記念会館のレストラン紫紺では、喫茶・軽食を営業。
＊レストラン・チルコロ……正門の新関西大学会館南棟4階にある。喫茶から本格的な食事まで楽しめる洒落たレストランで、バンケットルームも備えている。

＊生協テント……総合図書館前の生協テントでは、弁当・缶ビール・缶ジュースのほか、関大関係書籍や記念品にもなる関大オリジナルグッズを販売している。

問い合わせ・申し込み

2011スプリングフェスティバルに関する問い合わせ・参加申し込みは、関西大学校友会事務局まで(電話06-6368-0041・46、FAX 06-6380-8476)

を開催する場所として提供しています。バザーや発表などの企画をお持ちの場合は校友会事務局までご相談ください。

＊申込方法……3月10日までに団体名、代表者名、連絡先、電話番号、予定参加人数、集合時間等を、校友会事務局までお知らせください。

Think Globally Act Locally

ワールドワイドな視点と戦略的な発想。
地域社会を熟知した行動力と展開力。

私達は、「広告の南通」です。

総合広告代理店
株式会社 南通
●本社/大阪市西区西本町1-5-8
TEL06(6532)1682(大代表)
●東京支社 ●名古屋支社
●京都支社 ●神戸支社
●札幌支社 ●広島営業所

第37回見学会に校友・家族92人が参加 ミューズキャンパス見学し、伏見を散策

第37回見学会「高槻ミューズキャンパス、黄桜訪問」は、11月6日の土曜日、校友と家族92人が参加して実施され、秋晴れの穏やかな天気の中、秋の一日を楽しんだ。

参加者は、午前10時前から次々とJR高槻駅の北東に聳えるように建つ高槻ミューズキャンパスに到着。正門の校友会受付で「臨時入構許可証」を受け取り、西館5階のミューズホールへ集合した。

10時半、寺内俊太郎校友会長が「このキャンパスと堺キャンパスの開校で、母校は13学部を擁する総合大学となった。特にここは初等・中等・高等部と日本で初の社会安全学部・大学院が設置されている。じっくりご見学いただきたい」と挨拶。キャンパス紹介のDVDで概要を確認のあと、3班に分かれてミューズキャンパス事務チーム

職員の案内・説明を受けながら約1時間にわたって見学したが、充実した設備に驚きながらも、いつ身にふりかかるかも分からない身近な問題だけに、参加者は興味深く真剣な眼差しで見学していた。

終了後、バス2台に分乗して京都市伏見区の「黄桜カッパカントリー」へ。レストランで昼食



交歓会を開き、見学会開催に協力いただいた京都支部の牧村支部長から歓迎の挨拶があり、大谷啓二副会長の音頭で乾杯。黄桜オリジナルの京都ビールや吟醸

生貯蔵酒を味わいながら歓談した。

ほろ酔い・満腹したところで、自由解散。伏見界隈の自由散策へと移り、参加者は、大河ドラマで人気の坂本龍馬襲撃事件の「寺田屋」、竜馬通り商店街をはじめ、伏見土佐藩邸跡、月桂冠大倉記念館など、天候に恵まれたことを感謝しつつ、各自

会費未納の方へは今回が最後のお届けです 同封振込用紙で会費の納入をお願いします

昭和35年5月の創刊以来、母校と校友、校友相互を結ぶ絆として発行を続けています機関紙『関大』は、年6回、校友会費納入者にお送りしています。

ただ、平成18年の母校創立120周年を前に、「広く校友に大学・校友会の現状を知らせ、母校への関心が高まるよう」とめいめいとの事業計画に基づき、「強い関西大学」「元氣な校友会」の現況を「覽いたたく」とともに、各組織の活動にも

参加いただきたく、膨大な費用をかけて、年1回、新年号を住所判明の全校友の皆さんにお届けしてきました。

執行部では毎年、校友会

の趣味や体調にあわせたコースを楽しみ、家路についた。

【訂正】

前号(第560号)の「秋の叙勲・褒章」で、片岡健彦氏(昭39学法)を旭日小綬章欄に掲載しましたが、正しくは瑞宝小綬章ご受章でした。お詫びして訂正します。

の長期財政を検討して、財政と事業の見直しを進めておりますが、このままではいづれ破綻するとの懸念から、次年度からは会費未納者への発送を止めざるを得なくなりました。

校友会の会費制度は、最初に納入いただく基本会費(3万円、期限15年)と、基本会費の期限経過後に納入いただく更新会費(1万円、期限10年毎)の2本立てになっています。

本号には、基本会費、更新会費未納の方には、それぞれの振込用紙を同封しております。この機会に是非納入くださいますよう、お願い申し上げます。

関西大学校友会



Fiat 500



CHEVROLET HHR

ホームページ最新ニュース(What's New)毎日更新

jiron で 検索

ジロン自動車株式会社

TEL.06-6644-0010 (代) FAX.06-6644-0011

□〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 □日曜・祝日も営業致しております。 □営業時間 日・祝10:00~19:00 平日9:00~19:00 □年中無休



CITROEN C6



LOTUS EUROPA S

FGAJ 正規代理店

CITROEN JAPON 正規代理店

LOTUS 正規代理店

三井物産(株) 代理店

三井物産(株) 代理店

三井物産(株) 代理店

三井物産(株) 代理店

三井物産(株) 代理店

三井物産(株) 代理店

テレビ「99年の愛」を観て想う

— 武士道と教育勅語を顧みて —



畑下 辰典

「99年の愛」ジャパニーズアメリカンズ 11月3日から5夜連続延べ10時間の放映を毎日テレビで鑑賞した。1911年から2010年の99年間に於ける日米の出来事を、橋田寿賀子の執筆による脚本のドラマ化であり、日本人のDNAをまざまざと見せて貰い感銘を深くした。

内容と私見は後述にゆずり、先ず現状から取り上げよう。

物量豊富となった昭和後半から平成に入り、ソ連崩壊による冷戦終結、インフレをベースにした戦争経済から平和をベースとするデフレ経済に移り、先進国は不況となる。

後発国は、先進国からの投資が集り、生産設備は最新鋭の機械の導入、技術指導を受け急激に生産性を向上、成長を続ける。コスト安で物価を引き下げ世界の工場となっている。

先進国は物の時代から心の時代に入ったといわれ、アメリカでも精神の荒廃による犯罪の多発、日本はそれに続いている。

精神の時代にふさわしい道義の昂揚から見れば、日本のDNAは遙かにすぐれている。今この再興を期すべきではなからうか。

新渡戸稲造著『武士道』が、英語で

出版されたのは1899年12月、今から111年前のことである。また、その9年前明治維新から22年を経て、諸法の要となる大日本帝国憲法(明治憲法)が、念願である安政の不平条約撤廃への道程として制定され、翌1890年に施行された。その年10月30日「教育に関する勅語」を、議会で決議

される法律でなく従って大臣の副署もいらない勅語として明治天皇が下賜せられ、渙発となった。これは西欧化が進み、自由民権運動による世情の混乱、不安を憂慮され、日本の古き良き伝統を失うことのない教育の指針として憲法の精神を支える教義となる願いがこめられている。2010年は教育勅語渙発120周年を迎えた。

教育勅語は国体を明らかにし、祖先崇拜の理念に発し、親に孝、兄弟夫婦仲良く、克己心を強くして勤勉に人のため世のために尽くす公德心を掲げておられる。

新渡戸先生は、クラーク博士「少年よ大志を抱け」で有名な札幌農学校出身、アメリカ・ドイツに学び、帰国後東京帝大教授、東京女子大学学長として青年教育に尽瘁された。

この本の発刊の動機は、留学中のベ

をしないで、道徳をどうして育てるのか」との質問に即答できず、考慮の末、日本の歴史と文化遺産が、幼いときから人倫の道として家庭で教えられた。それが武士道の精神であり、日本人の根底に流れていると気付いた。外国人にわかつて貰うため英文で記述したと聞いている。

武士道は、700年の歴史の中から磨き伝えられたとしても、悠久の歴史の半分に満たない。しかし、新渡戸先生の「武士道」では「武士道とは何か」「その源は」と書き出され、その原理を「義」に求め、「勇」「仁」「誠」「名誉」「忠義」について述べられ、それによって鍛錬された「大和魂」が如何に日本人の心になったかについて、クリスチャンである先生が、内外の著名な学説や哲学と対比し、イギリスの騎士道に劣らず、騎士道が滅びて受皿となったキリスト教の教えと対比されての論説はまさに傾聴に値する。

第二次大戦の敗戦によりGHQは、憲法の改正を主導し、法律でない教育勅語の失効を衆・参両院で決議させている。しかし、その精神は日本人のDNAとして消え失せるものではない。

敗戦による歴史の捏造、東京裁判の誤り、平和条約の判決翻訳の誤謬、反

戦思想の行き過ぎからくる反日思想など、中韓両国を利する学者、マスコミ、政治家の行動など詳説する紙数がないので省略する。しかし、日本人として誇りを持てる正しい歴史と、生きる自信と未来への希望を持てる国土の安全と安心についても深く考えたものである。

いよいよ「99年の愛」に移ろう。

最初の主人公公平山長吉は、多分明治25年生まれ。教育勅語渙発の2年後に生まれ、その2年後に日清戦争が始まるという時代の島根県奥出雲の貧乏の家に生まれ、長兄と長吉のあとに妹2人が生まれている。明治44年(1911年)に貧しさから脱却するため両親に乞い、兄に頼んで移民団の一員としてアメリカ行きの移民船に乗り、西海岸シアトルに向けて出国する。長吉19歳。1907年には反日暴動がサンフランシスコで起こり日本人が殺傷され、移民の多い西海岸付近は排日感情が広がり、1908年の「日米移民紳士協定」で、移民の自粛と引き替えに排日移民法をつくらないと申し合わせたときの移民であった。

百姓である長吉は、先人を頼り荒地を耕して農作物をつくる賃仕事に精を出し、郷里への仕送りを数年続けるが、同郷の移民知人から今のうちに結婚しないといけないと奨められ、最後の移民花嫁集団の中に写真見合の相手娘を探すが居らず、姉の身替りで渡米した写真の姉より不美人なためから声をかけられ、農業でも一生懸命働くからの訴えで結婚する。従事している農



▲神戸・湊川神社で行われた教育勅語発布120周年記念式典

場の近くに住む気の良いアメリカ婦人から認められ、「夫のこの土地をあなたに」と、長吉は安く譲られ平松農園とする。

1920年カリフォルニア州法の排日土地法が成立し、アメリカ人より農園荒らしの迫害を受ける。日本移民の土地取得を制限してきたが、二世、三世のアメリカ生れも土地取得を禁じた絶対的排日法が1924年（大正13年）に連邦法として成立、紳士協定は破棄。そのような中で長吉、とめは、一郎、次郎、しづ、さちの4人の子どもを生み育てる。

一郎が進学するころも排日運動は激化し、「ジャップ、ジャップ」とのし

られ、大学の構内も不穏な状況である。同じく通学していた在米領事の娘松崎しのぶの急場を救ったことから彼女に慕われ、平松農園で作物づくり、採取やトラクターの運転も積極的に習う。

風雲急を告げ、帰国するこの船に乗らねば今後帰れないというとき、とめの反対を押し切って長吉は、今のアメリカに住むよりは日本の方が安全と考え、苦悩の末決断、しづ、さちに金をもたせて長兄の許へと船に乗せる。

また、松崎しのぶも船に乗せられるが、出航後、水泳に自信のある彼女は海へ飛び込み、海岸へ辿り着き平松農園に帰ってくる。

戦争となり、島根の長兄は生活に苦しいと引きとらず、嫁に行った2人の妹に引きとらせ、しづは叔母の嫁ぎ先広島へ、さちは叔母の嫁ぎ先沖繩へ別れとなり、生活は差別され食料少なく、アメリカ帰りといじめられ苦しい。さちは親から見放されたと父を恨む。それでも親子6人写った写真はしっかりと持っている。アメリカに残った長吉、とめ、一郎、次郎も不幸に見舞われる。父長吉はスパイ容疑で強制収容所に隔離され、残った4人も農地、財産を没収され、僅かに身の廻りのものをトラックに詰め、長距離運送によりカナダに近い中央山地のバラック建築容所に、多数の日本人との共同生活として収容される。

二世の連絡員の機転で生活の改善を図り、次郎も荒地を耕し、農作物を提供す。

適齢男性は忠誠登録を求められ、とめの前では一郎も次郎も「NO」と書き、役人の前では「YES」と書き直し証言する。一郎は、二世として日本人の名誉回復のためアメリカ人として軍務に服することを誓う。次郎は、是非この際、しのぶと結婚することを誓い、しのぶを支えることを誓う。次郎は少し年齢不足で、一郎だけが軍隊に入隊し訓練を受ける。休暇を貰った一郎は、しのぶと小旅行をして思い出をつくる。

子どもが生まれた一郎は、442部隊としてヨーロッパ戦線に派遣され、アメリカ軍、フランス軍を助ける救出作戦に従事。成功するが、一郎を始め多くの二世軍人が死亡する。一郎もしのぶと子供の写真を持って絶命。

長吉は、終戦の玉音放送を収容所で聞き、神風が吹いて日本は敗けないとの信念を覆され、農地の真中で刃物で腹を切って死ぬ。

戦争が終わって442部隊の功労を大統領が認め、二世の愛国心をテレビで激賞したことから二世以下の扱いも変わり、次郎は、「元の平松農園は荒れているが」と買ったアメリカ人の詫びとともに買い戻し、農園を蘇らせる。

その後朗報が入り、二世の上院議員誕生を喜ぶとめは、農園を走り廻り呼吸不全で死ぬ。

話は2010年となり、さちの息子の嫁の配慮で、孫がアメリカで活躍するイチロー選手を見たいのを利用してアメリカの球場で次郎と合わせる。是非農園を、というのを拒否してホテル

へ戻る。自分を追い出した人たちとは会いたくないとのさちの心は、両親と別れ、さちは沖繩で苦しい目に遭い、沖繩決戦では女子挺身隊の一員として看護に従事、危うく一命を一郎の友人の米軍人に助けられる。広島行きを頼み、原爆被災地の広島病院で、焼けただれた顔と手の姉しづと面会、戦禍を受けてない京都での治療を頼む。京都の病院の医師が、戦死した2人の息子の二階を提議、しづの看病を続けるが白血病で息を引きとる。さちは東京へ出て修行し、デザイナーで身を立て、結婚して息子夫婦に孫まで出来るが、その悲しかったアメリカの親との別れその後のつらい生活は家族に一切言っていない。父への恨みが潜在して今日まで続いている。しかし、一夜よく考えて平松農園を訪れ、次郎としのぶと曾孫の3対3で回顧の歴史を語り合う。

しのぶは、子、孫、曾孫に至るまで日本人としての心と苦難を乗り越えた事実を語りつき、次郎は独身を通し、しのぶとその家族を支え、農園を守り、一郎との約束を果たしてきた。話し合いで両者のわだかまりが氷解し、父母の墓参りをし、収容所の跡地を車走らせ偲んだ。

日本の今日と戦争を挟む大変化の中に、平松一家を通じて日本人のDNAとその素晴らしさを見ることができた。まさに教育勅語が生きているということとを平松の人たちが示し、立派に描かれて深い感銘を受けたものである。

（法人顧問、校友会顧問・元会長）



平成22(2010)年は、東西学術研究所内に泊園記念会が創設されて50年にあたり、記念会では、研究所の協力を得て、記念事業を盛大に開催しました。

記念事業は10月23日(土)午前、「泊園書院址碑」の除幕式が始まりました。泊園書院ゆかりの作家藤澤恒夫氏の揮毫になる址碑は、大阪市内(旧竹屋町)にあったもので、記念事業に合わせて本学に寄贈されました。秋晴れの空の下、寄贈者の澤田暢保氏、楠

国際シンポジウムや特別展示に多数が参加 泊園記念会創立50周年記念事業成功裡に終わる

泊園記念会会長 敷田 貫



見晴重学長ら関係者によって、除幕式が行なわれました(写真)。

その後、以文館で開催された国際シンポジウムでは、イリノイ大学ロナルド・トビ教授(米国)をはじめ韓国・台湾・日本国内から専門家を招き、「東アジアの伝統教育と泊園書院」をテーマに熱心に議論されました。また、吾妻重二文学部教授(泊園記念会副会長)により、WEB泊園文庫のデモンストレーションが行なわれ、昭和26(1951)年、藤澤恒夫氏によって寄贈された泊園文庫の貴重書が紹介されました。シンポジウムへの参加者は、160人を超えました。

記念事業のもうひとつの目玉は、当日より11月13日まで、期間、総合図書館展示室(第1会場)と正門インフォメ

ーション横アイトギャラリー(第2会場)で開かれた特別展示「藤澤東咳・南岳・黄鵠・黄坡と石濱純太郎の学統」でした。第1会場では、泊園書院の写真、三世四代の院主による手稿本・書軸・屏風など約60点が展示され(一部、期間中展示替え)、第2会場では、展示ケースに塾生名簿、書院・積奠の記録が収められるとともに、泊園書院の門人分布、東咳の生地(香川県塩江町)に立つ頌徳碑、泊園の人脈などがパネルで展示されました(写真)第1会場。この展示を通じて観覧者は、大阪を中心に、幕末から明治・大正・昭和の日本で絶大な影響力を持った泊園書院の姿を知る機会となりました。

展示に際しては、藤澤家をはじめとする泊園書院ゆかりの方々、および学内外の機関・個人の協力をえました。この誌面を借りて、関係各位に心よりお礼申し上げます。

注：本事業にに合わせて、『特別記念展示展覧目録』(無料)ならびに吾妻重二編『泊園書院歴史資料集』泊園書院資料集成1(東西学術研究所資料集刊29-1)(関西大学出版部、五二五〇円)が公開されています。関心のある方は、展覧目録は東西学術研究所内泊園記念会に、資料集は出版部にお問い合わせください。



12/27(月)から出願受付 一般入試 センター利用入試 スタート!

2011年度 一 般 入 試				
日程	試験日	学 部	試験地	
学部 個別 日程	2/1 (火)	経済・政策創造・ 外国語・人間健康・総合情報	① ②	① ② ③
	2/2 (水)	文・システム理工・ 環境都市工・化学生命工		
	2/3 (木)	法・商・社会・人間健康・総合情報		
	2/4 (金)	文・商・政策創造・外国語・社会安全		
	2/5 (土)	システム理工・環境都市工・ 化学生命工		
	2/6 (日)	法・文・経済・社会・社会安全		
全学部 日程	2/7 (月)	全学部		
後期 日程	2/8 (火)	法・文・経済・商・社会・ 政策創造・外国語・人間健康・ 総合情報・社会安全		
	3/3 (木)	法・文・経済・商・社会・ 政策創造・外国語・人間健康・ 総合情報・社会安全		①
	3/4 (金)	総合情報・社会安全・システム理工・ 環境都市工・化学生命工		

※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。

全国28の都市に試験地を設置 ①大阪・東京・金沢・名古屋・和歌山・姫路・岡山・広島・高松・福岡 ②浜松・京都・神戸・松山 ③札幌・仙台・新潟・福井・津・滋賀・松江・山口・徳島・高知・小倉・熊本・鹿児島・沖縄

2011年度 センター利用入試			
種別	個別学力検査実施日	学 部	試験地
センター前期	課しません	全学部	—
センター中期	2/7(月)	全学部(商学部を除く)	①②③
	2/8(火)	全学部	
センター後期	課しません	全学部(商学部を除く)	—

出願期間 ●センター前期 (郵送・インターネット) 2010年12/27(月)～2011年1/14(金)
●センター中期 (郵送・インターネット) 2010年12/27(月)～2011年1/24(月)
●センター後期 (郵送・インターネット) 2011年2/1(火)～2/25(金)

※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。

★センター利用入試の拡充!

2011年度入試から、下記の学部でセンター利用入試を拡充します。

人間健康学部	センター前期・センター中期・センター後期を新たに実施!
社会安全学部	センター前期・センター中期・センター後期を新たに実施!

★インターネット出願

2011年度入試から、一般入試・センター利用入試の全ての日程・種別でインターネット出願が可能になりました。

校友の皆様には、無料で「一般入試・センター利用入試要項(願書)」をお届けいたします。

ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたらお役立てください。官製はがき又はFAXにてお届け先の住所・氏名を明記のうえ、下記までご請求ください。なお、年末年始はお届けに若干日数がかかることがありますので、ご請求はお早めをお願いいたします。また、本学へお越しいただいた方にも無料でお渡ししています。

はがき 〒600-8835 京都市下京区観喜寺町13 日本通運(株)京都支店 梅小路倉庫課 関大願書請求「校友」係 FAX 075-371-7833
※お送りいただきました個人情報は、関西大学からの資料発送の目的以外では使用いたしません。

入学試験に関するお問い合わせ

関西大学 入試センター 入試広報グループ
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1121(代表)
<http://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/>

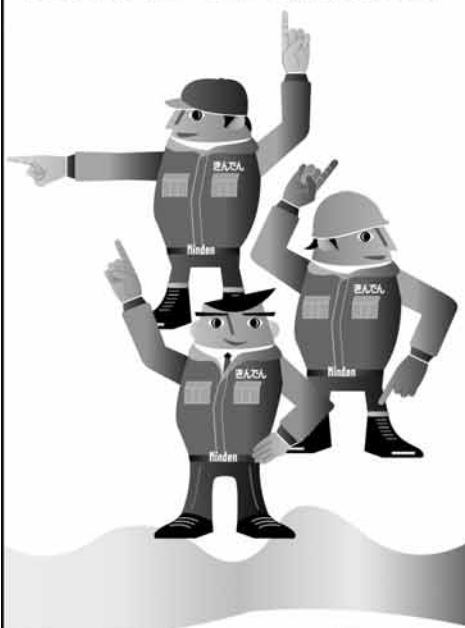
関西大学

Kinden

チーム、 きんでん。

(施工力+技術力+現場力)×情熱

“お客さま満足”という目標に向かって、
さまざまなスタッフが力を結集。
人間力を基盤とした
総合エンジニアリング力で、
あらゆるソリューションにお応えします。



エネルギー + 環境 + 情報

きんでん

本店 大阪市北区本庄東2丁目3番41号
東京本社 東京都千代田区九段南2丁目1番21号
TEL.06-6375-6000 TEL.03-5210-7272
<http://www.kinden.co.jp/>

高槻ミューズキャンパスでも 防災Day2010を実施

9月の千里山キャンパスでの実施に続き、11月17日には高槻ミューズキャンパスで、初等部・中等部・高等部の児童・生徒と、社会安全学部・大学院社会安全研究科の学生・院生、さらに教職員、近隣住民を含む一般市民を対象とする地震避難訓練「関大ミューズ防災Day2010」が実施された。

訓練では、授業中に高槻有馬構造線を震源地とするマグニチュード7・3の巨大地震が発生したと想定し、避難や安否確認、初期消火などの訓練を行ったほか、高槻市と連携し、高槻市消防本部によるタンク車を用いた放水訓練や、



はしご車による10階空中広場からの救出訓練などを行うなど、地震発生時の避難体制をあらためて確認した。

高槻ミューズキャンパスには、防災・減災対策や事故防止、危機管理分野の教育研究を展開する日本初の社会安全学部および大学院社会安全研究科があり、高槻市が提唱する「安全・安心のまちづくり」に寄与するため、防災機能を備えるとともに、災害時の緊

急避難場所としての役割を担っている。

09年の国際会議の開催数 私立大学で第1位の実績

日本政府観光局(JNTO)が取り纏めた国際会議の統計「JNTO国際会議統計2009」が11月24日に発表され、大学キャンパス別の国際会議開催状況の項目で関西大学が第1位になり、国際研究拠点として国際会議を積極的に開催していることが高く評価された。

この統計は、日本政府観光局が国際会議統計基準にもとづき、2009年に日本で開催された国際会議の開催回数を取り纏め発表したもので、近年、大学は国際研究拠点化

を目指して国際会議開催を積極的に支援しており、約20%が大学内で開催されている。

第30回「地方の時代」映像祭 映画研究部が 優秀賞を受賞

NHK、日本民間放送連盟、関西大学、吹田市が主催する日本唯一の「地方発ドキュメンタリー」の祭典「地方の時代」映像祭が、11月20日から26日まで千里山キャンパスで開催され、多くの参加者で賑わった。

20日の贈賞式では、196のコンクール参加作品の中から、中部日本放送制作の「笑ってさよなら」が四畳半下請け工場の日々」がグランプリを獲得。市民・学生・自治体部門の優秀賞に関西大学の映画

研究部制作の「23歳、職業革命家」が選ばれ、阪口善雄吹田市長から表彰状が授与された。



物故校友の遺族から寄付 尊意を体し感謝状を贈呈

11月11日に行われた学校法人関西大学慰霊祭に参列された峨家下朝子さん(3月20日



に逝去された故峨家下進さん「昭42学経」の遺族から大学に3百万円の寄付があり、大学では、12月9日、上原洋允理事長から「社会貢献に対する熱い思いと母校愛の表れ」と拝察し、ご尊意を体して有効に活用させていただきますと、感謝状を贈呈して謝意を表した。

故峨家下進さんは、関大一高から進学後の4年間、グリークラブで活躍。定期演奏会、合唱コンクール、合宿や、沖縄、四国などの演奏旅行で学生生活を満喫したことを、遺族によく話しており、慰霊祭を期に、社会貢献に役立ちたい故人の思いを活かして欲しいとの願いから、今回の寄付を申し出られた。寄付は指定により、文化会グリークラブ

に対する活動資金に百万円、奨学基金の拡充資金に2百万

円が当てられる。

博物館学課程創設50周年記念

4月3日に講演会と懇親会を開催

博物館では、博物館学課程創設50周年を記念して、4月3日(日)に講演会と懇親会を開催する。昭和36年(1961)に末永雅雄教授と横田健一教授、小野勝年奈良国立博物館学芸課長らによって創設された本課程は、現在までに約3千人の学芸員資格取得者を送り出し、あまたの博物館や、大学、研究機関、文化財保存関係機関、行政職、民間各界で活躍している。

当日は、博物館企画展「本山コレクションの由来(仮題)」と、課程50周年記念小展示会を開催する予定である。小展示会では、創設間もないころの実習日誌やなつかしい実習展の図録、学芸員を目指す学生たちのために蒐集した博物館収蔵品の中から漆芸家 北村昭斎氏(重要無形文化財保持者、いわゆる人間国宝)の玳瑁螺鈿合子や本学校友の刀匠河内國平氏鍛錬の太刀などを展示する。

講演者 檀原考古学研究所 所長 菅谷文則氏(昭42M文) 演題 博物館学受講の思

い出・学芸員生活の利点

開催日 4月3日(日) 10時30分~12時(開場:10時)

会場 千里山キャンパス 博物館内 大阪都市遺産セミナー室

※講演会終了後、軽食を交えての懇談会を予定。博物館学課程担当の先生方へもご案内しているのので、ぜひご参加いただきたい。講演会のみ、懇談会のみ参加も可能。懇談会の会場は、当日、博物館前で案内。

申し込みは、博物館事務室(06-6368-1171)まで。(但し、懇談会は、課程関係者及びその同伴者のみの受付となる)

「本山コレクションの由来(仮題)」

4月1日から博物館が23年度企画展

博物館に収蔵する資料の中心は、元毎日新聞社社長本山彦一が蒐集した考古資料、通称本山コレクションである。重要文化財16点、重要美術品12点を含む約2万点の考古資

料からなっている。

この中には、江戸時代後半に活躍した浪速大坂の町人学者木村兼葭堂が所有し、神代石鬼集家の木内石亭が絵図に描いた鍬形石や、モースの大森貝塚発掘に先立つ明治4年に古物研究家柏木貨一郎が、日本初の博覧会「大学南校物産会」に出品した石器類、さらに、初代兵庫県令で貴族院議員、初代東京人類学会会長も務めた神田孝平が、日本各地から集めた石器や土器などがある。コレクションを作り上げた本山彦一自身が、大正年間に日本や東アジア各地で発掘した膨大な考古資料もあり、まさに明治以降の考古学の歴史をたどれる一大コレクションとなっている。

4月1日(金)から5月15日(日)まで開催する企画展では、木村兼葭堂の鍬形石や「大学南校物産会」出品考古資料、大阪府藤井寺市国府遺跡から発掘された縄文時代人骨と耳飾など、注目される資料の学史的意味をとりあげ、コレクションの形成過程を読み解く。さらに本山コレクションを本学にもたらした末永雅雄名誉教授と本山彦一翁のエピソードも紹介する。あわせて、この企画展と連動した講演会を5月14日(土)に開催する。

FACADE DESIGN & ENGINEERING

YKK AP株式会社 事業本部 関西ビル建材統括支店 大阪第一支店
〒540-8534 大阪市中央区谷町4-8-7
TEL: 06-6947-4141 <http://www.ykkap.co.jp/>

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくてはならない水——
タブチは、安全で快適な給排水用具の創造で
人々の暮らしを支えています

給排水用具の設計・開発・製造
株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210 <http://www.tabuchi.co.jp/>

問い合わせは、博物館事務
室 (06-6368-1171

または hakubutsukan@ml.
kandaijp) まで

アメリカンフットボール部

2年連続の甲子園ボウル出場はならず

大学日本一を決める全日本選手権甲子園ボウルへの出場権をかけて行われた西日本代表校決定戦は、関西リーグ同率優勝の関大、関学大、立命大に東海代表の南山大を加えた4校のトーナメント方式で行われ、決定戦に進んだ関大は、立命大に破れ、2年連続の甲子園ボウル出場はならなかった。

2季連続でリーグ優勝飾る 6勝1敗で3校が同率優勝

た決定戦に進出。リーグ戦でのリベンジをはかる立命大と対戦し、前半終了まぎわ、キッカー吉野のフィールドゴールで13-13の同点に追いついたものの、後半は体力負けし、37-20で敗れ、悲願達成はならなかった。

アメリカンフットボール部

は、11月14日に西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場で行われた関西学生アメリカンフットボールリーグ第6節で立命館大と対戦し、17-15で勝利。関学大との最終戦を待たずに、リーグ戦6戦全勝として2季連続のリーグ優勝を果たした。

なお、リーグ戦全勝優勝をめざして対戦した関学大との最終戦は、11月28日に神戸ユニバーシアード記念競技場で行われたが、10-27で敗れ、この結果、関大、関学大、立命大3校が6勝1敗で同率優勝となった。



GPアメリカで高橋金 織田はファイナルも銀

11月12日～14日にアメリカ・オレゴン州ポートランドで開催されたISUグランプリシリーズ・スケートアメリカ男子シングルで、アイスクエート部の高橋大輔(M2文)が優勝した。初戦のNHK杯を制した高橋はGP通算6勝で単独最多。

また、12月10日～12日に中国・北京で行われたGPファイナルでは、織田信成(文4)がスケートアメリカに続き2位入賞。高橋は4位だった。

ショートトラック500mで 藤本真夢が優勝飾る

10月23日～24日に長野県南佐久郡南牧村の帝産アイスクエートレーニングセンターで第33回日本学生ショートトラックスピードスケート選手権大会が開催され、アイスクエート部の藤本真夢(文4)が男子500mで優勝を飾った。

馬術部4連覇逃す 僅かに届かず2位

第60回全日本学生賞典障害飛越競技大会が、10月23日・24日に東京のJRA馬事公苑



で行われ、4連覇を目指して臨んだ馬術部は、初日、総減点16で明大、帯広畜産大とトップに並んだものの合計タイムで2位、2日目も実力を出し切れず僅差で2位となり、準優勝にとどまった。

重量挙部・白草竜太が 大学対校77kg級で優勝

10月31日・11月1日に横浜市磯子スポーツセンターで開催された第56回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会の男子77kg級で、重量挙部の白草竜太(文3)が優勝を飾った。

また、同時に開催された第11回全日本大学対抗女子ウエイトリフティング選手権大会の女子75kg級で今永幸乃(文3)が2位、女子53kg級で小西香葉(文2)、女子58kg級で山本優子(文2)がそれぞれ3位に入賞した。

「くもんの先生」募集中

くもんの先生は地域の子どもの成長と一緒に応援できる仕事です。「子どもに教えることができるか不安…」大丈夫です。私たちがサポートしますので、一緒に学んでいきましょう。子どもの能力を育み、自らも高めることができます。随時、「くもんの先生」説明会を実施しています。この機会にお気軽にご参加ください。

KUMON 日本公文教育研究会 近畿ゾーンリクルートチーム
〒532-8511 大阪市淀川区西中島5-6-6 公文教育会館2階

やってみよう よいしょと
0120-834-414

受付/9:30~17:30 (土・日・祝除く)

お問合せいただいた方には「くもんの先生」のことがわかるDVDを、説明会にご出席いただいた方には公式のことがわかる書籍をプレゼントしております。

くもんの先生のお仕事

- 教室は週2回(午後の5時間程度)
- 教科は算数・数学、英語、国語
- 収入は生徒数により異なります。(開設時に「開設認可料」105,000円が必要です)

応募の資格

50歳までの女性。
充実した研修制度があるの未経験でも安心です。
(研修費無料)

ケータイから
簡単アクセス



「くもんの先生」
説明会
受付中!

KUMONでは各地域で
「くもんの先生」説明会を
実施しています。

空手道部の女子が 全日組手団体で3位

11月21日に東京・日本武道館で行われた第54回全日本大学空手道選手権大会の女子組手団体で、空手道部が3位に入賞した。

一高サッカー部が2年連続 全国大会出場を決める

第89回全国高校サッカー選手権大会大阪府予選決勝が、11月13日に長居スタジアムで行われ、関大一高が阪南大高を2-1で下し、2年連続4回目の優勝を飾った。



試合では、来シーズン鹿島アントラーズに入団が内定している梅鉢貴秀(3年)が先制点をあげるなど、関大一高が

試合を有利に展開し、後半に1点を返されたものの2-1で逃げきった。

この結果、一高イレブンは12月30日から開催される全国大会に出場し、第一戦は1月2日(日)午後0時5分からNAC K5スタジアム大宮(さいたま市)で、山形県代表の羽黒高校と対戦し、過去の出場で果たせていない優勝・全国制覇をめざすことになった。

北陽高陸上部も2年連続 都大路の全国大会へ出場

第61回全国高校駅伝大阪府予選会が、11月3日に淀川河川敷で行われ、関大北陽高陸上競技部(男子)が2年連続で優勝を果たした。

その結果、12月26日(日)に京都市西京極総合運動公園で行われる第61回全国高等学校駅伝競走大会への出場が決定した。



陸上競技部OB会が祝勝会 日本インカレ6人入賞で

9月10日から12日の3日間

にわたって、学生ナンバークレを決める79回日本インカレが国立競技場で開催され、陸上競技部は、優勝1人、準優勝3人、3位1人、入賞1人と、諸先輩と比べても遜色のない素晴らしい成績を残した。

これを讀え同部OB会(陸友会)が、10月13日に学内にあ

- | | |
|-------------------|-----------|
| ① 三村有希・女子走高跳 | 1 m |
| 82で優勝 日本インカレ3連覇 | |
| ② 松本真由子・女子走高跳 | 1 m |
| m 73で2位 | |
| ③ 小川恭輔・男子走幅跳 | 7 m |
| 55で3位 | |
| ④ 伊藤愛理・女子1000 m H | 13 秒50で2位 |
| ⑤ 山根愛以・女子三段跳 | 12 m |
| 73で2位 | |
| ⑥ 山下 洵・女子七種競技 | 4 863点で8位 |

今回入賞した選手以外にも、関大陸上部には、来季も有望な選手が数多く在籍している。さらなる飛躍を目指して、今日もアスリートたちはグラウンドでいい汗を流している。(陸友会常務理事 笠原啓二)



堂垣顧問先生、竹田監督、小松ヘッドコーチ、若手コーチ陣も本場に嬉しそうにしておられ、野理OB会長が「一歩一歩の努力が今回の結果になった。更なる前進を」と挨拶。出席OBが一人一人激励スピーチをし、入賞選手も今後の抱負を語り、なごやかな歓談の輪に包まれた。

今回の成績は選手個々人の研鑽と、チームとしての強化が結実した結果といえる。その戦跡を紹介する。

関西大学生協グループ

あけまして おめでとうございます

皆様にとって真にすばらしい年になることをお祈り申し上げます。

総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com http://www.union-sv.com

本社 豊中市新千里北町2-20-8 関西大学支店 吹田市千里山東3-10-1 関西大学生協本部内 TEL0120-505-421

オース!ごきげんさん。

連載 36



学生時代

土と炎の焼き物備前焼。この道に入り、早二十五年になりました。きつかけは父が備前焼作家だったから。息

子に跡を継がせたいという当時としてはごく普通の考えでした。本来なら私は美術系の大学へ進学すべきだったのですが、絵を書くのが苦手、また中学時代から頭ごなしに跡を継ぐように言われてきた反発心も手伝い、父と言い争っていました。

結局、私が浪人したこともあり、大学卒業後には焼物学校に入る約束をし、文学部英文学科に入学しました。就職活動もしなくていい自由な四年間が手に入ったわけですが、何か後ろ髪を引かれる思いもあり、少しは焼物の勉強でもしようと考え、古美術研究会と言うサークルに入りました。そこで焼物の歴史などを覚えま

した。これが今の自分には大変役に立っています。本を通してですが、名品とされる作品を見たり、歴史、特徴などの知識を得たり、近畿の焼物の産地を訪れたりしました。備前焼の事は解りますが、他の産地の焼物の歴史などは全く知りませんでした。自由な大学生活を送らせてもらい、今自分の子供が大学へ進学する頃となり改めて両親に感謝しています。余談ですが、私の妻は同じ文学部で同じサークルに入っていた後輩です。結婚式の仲人は文学部教授の中山喜代市先生にお願いし、結婚式の最後に友人たちと逍遙歌を歌いました。ちなみに家内の弟も法学部出身です。

卒業後、京都市工業試験場に入り、京焼を一年間習いました。焼



物全般を知るには京焼が一番だと父は考えていました。父本人も京都で焼物を勉強していました。そこでは主に釉薬の勉強や絵付けの方法などを習いました。全てが自然任せの

備前焼と私

〈上〉 松井 浩之

備前焼、製造工程の殆んどが科学的、また人工的に作られる京焼。全く違う焼物を体験出来た事もありがたく思っています。

備前の地で

その後、備前に帰り、父の許にて作陶しています。父は独立するまでは備前の焼物学校の先生をしていました。多くの後継者を教えてきましたが、私には皆と違って大きい作品から作る様に言われました。ロクロの基本をしっかりと身につけさせるためだったそうです。只、教え方は昔の職人風で、『見て覚えろ、理屈じゃない数を作れ。』といった感じでした。いろんな意味で父には感謝しているのですが、とは言えそこは親子。窯詰めの仕方や焚き方など未だに口論は絶えま

せん。結果的には長年の勘が優先されますが。しかし物づくりは好きなのでこの道に入ってくれた事はありがたいと思っています。また、わずかな自然現象により焼が変化する備前焼は窯焚きごとに期待と不安があり、精神的にも大変なのですが、やりがいのある仕事だと思っています。



▲藍彩花入



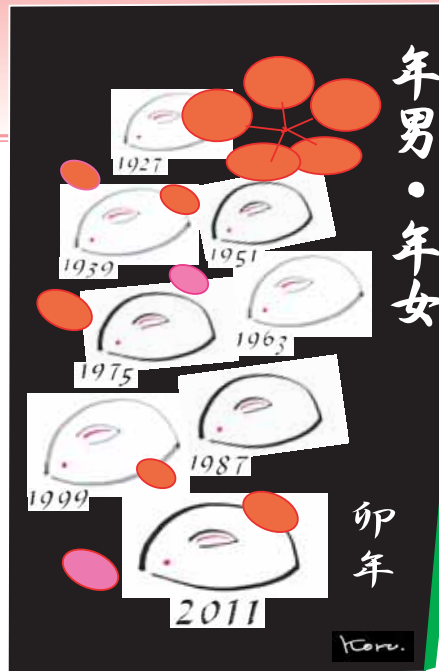
▲備前花器

松井 浩之 (まつい・ひろゆき)

昭和37年 県指定重要無形文化財 松井與之の長男として備前市に生まれる。
昭和61年 文学部英文学科卒業。
昭和62年 京都市工業試験場修了。父の許にて修行。
以降、日本伝統工芸展、田辺美術館「茶の湯の造形展」、日本伝統工芸中国支部展、岡山県美術展覧会などで入選、入賞。岡山高島屋、米子高島屋などで個展。
創作花器を中心に使いやすい食器など現代の生活様式にマッチした作品を手がけています。

年男・年女

卯年



カット：西村公郎

1886年(明治19年)に関西法律学校として開校した関西大学は、ことし創立125周年の佳節の年を迎えた。大阪城ホールで喜びに沸いた100周年から4半世紀、還暦の双翼を羽ばたき21世紀型総合学園に向けて飛び立つてから早や5年。関西大学は今、大阪の北から南までその翼を広げ、さらに世界に向けて拠点づくりを進めている。まさに「光陰矢の如し」である。大学で青春時代を過ごした校友にとって、学生時代は、まさにそのような感じであろうか。ことしも新春特集として、年男・年女の校友に懐かしい思い出やエピソードを語っていただいた。(掲載は年代・50音順)

(上記および「年頭所感」使用カットは西村公郎氏(昭31学二経)の作品です)

1927年(昭和2年)生まれ

学生時代の懐かしい思い出

懐かしい思い出

末政 芳信

(昭23専一商・25学商・27M経)



関西大学で7年半の長き学生時代を送ってきましたので、そのことを3つに分けて書きます。

(1)専門部の学生のこと

第2次大戦中の昭和20年4月に専門部一部(天六学舎)に入学しましたが、その8月

まで学徒動員で高槻の軍需工場に行きました。終戦後の9月より天六学舎で授業が始まり、会計学では植野郁太先生と山榎忠恕講師の講義を熱心に拝聴しました。専門部では、ゼミが開講されてなかったが、池端昭三、柿本鳳三、原田昇君などの親しく長く信頼できる友人ができ、大変喜んでおります。

(2)商学部の学生時代のこと

新制の商学部一部(千里山学舎)に昭和23年4月に編入し、会計学を専門的に勉強することを決め、植野郁太先生のゼミに入り、会計学関係の丹波康太郎講師と岡部利良講師の講義を熱心に拝聴しました。植野ゼミでは、羽間平安、勝章、野崎徳治郎君などの良き

友人を得ることができました。

(3)大学院修士課程(経済学専攻)の学生時代のこと

昭和25年4月からの新制大学院では、当初、会計学のゼミが開設されなかったため、財政学の藤谷謙治教授のゼミに入り税制論の勉強と、公認会計士の実務を会計士補としても学びました。大学院では、陶山誠太郎講師と山下勝治講師の講義で熱心に興味深く学びました。藤谷先生のゼミでは、藤井昭三、志村慶三君などの信頼できる友人ができました。

私が、専門部、商学部、大学院修士課程で学んできた会計学などの勉強が、今日までの60年間の会計学の仕事ができる素地を作っていたのだ

ものと感謝しています。

(関西大学名誉教授)

良き師 良き友

羽間 平安 (昭25学商・27学法)



平成16年ボールラッシュ殿堂入り

齢を重ね7回目の年男。私は生涯、とりわけ関西大学では詢に良き師、良き友に恵まれ今日に至っています。昭和20年10月17日天六学舎専門部に入学。商学部、法学部と7年間勉学に課外活動に有意義な勉強をさせて戴きました。最初に拝顔したのは木村健助先生、当時個性豊かな錚々たる先生方にご教授を賜りました。

ご恩返しの一つで、10年前に植野郁太先生のご葬儀の弔辞を拝読した時、青春時代の回顧が万感甦り思わず涙しました。

恐れ多かったのは、関西大学中興の祖、岩崎学長から同行を命じられ、学友会委員長の同級宮崎平君と、大学創始の地京町堀願宗寺跡で手を合わされ、帰路福島で「僕は格

調高かった旧学舎で学んだ」と指さされ、天六学舎に入りました。

歴史と伝統、そして先人の功を大事にされた学長から「君達の3廻り上のうさぎ年、名前も卯一だ」と言われ、びっくりした事が今も鮮明に甦っております。

先生の関大ルネッサンス始め10指に余る貴重な語録は校友の皆様がご存知の通りです。戦後、学生全員が学友会員と同時に応援団員でありましたが、東山利雄君が団長の昭和24年初めて団報が創刊されました。

学長は巻頭に「巖上の灯たれ」と力説されております。「大学によって得た広い視野と高い識見で、大学、社会を通じて信頼され、慕われる人たれと」。

また、学長は、戦中から残された防空壕を練習場にされ、立派な部室も提供して戴き、スポーツも大いに鼓舞されました。私もアメフトの部室に來られ、格言「ALL F OR ONE」を引用され、「関西大学は君たちを育てる。諸君は正々と斗って、堂々と勝利せよ」との力強い激励に對して、私も恵まれた環境に堅い決意を固め、関西大学で学んだ自信と誇りを痛感し



た次第です。

甲子園ボウルの報告に伺った時、学長から激しい大学スポーツだから「体だけは大事にしるよ」とご心配を戴き、尊敬する厳父の中に慈愛溢れる父の姿を見ました。

今年は、岩崎卯一先生の御生誕120年で、6月8日には関大会館横にある金木屋にお詣りする所存です。

また、振り返ると岩崎先生ともご親交のあったスポーツ界第一人者 松葉徳三郎先輩が必ず脳裡に浮かびます。

昭和3年箱根駅伝の走者、スポーツ学者としてオリンピック視察団長、関西アメフト創始者、阪神タイガース、南海ホークス、日紡貝塚バレーボールなど歴任され、お人柄と識見を乞われて経済界トップの要請で、大阪スポーツマシナリー初代の事務局長を務められました。私も学生時代、松葉先輩から手を取り足をとり、ご指導の光栄に浴し、「練習は試合の如く、試合は練習の如く」、「練習に泣いて試合で笑え」と教示されました。

昨年度、母校関西大学は、人気抜群のアメフト甲子園ボウル優勝で大学日本一の座に君臨、各界から大変多くの賛辞を受けました。

いつも「関西大学の名を」と

言っておられた松葉先輩の、創始75周年記念の年に見事な栄誉を樹立してくれました。

今回、ポールラッシュ殿堂入りをされた松葉先輩も、「ハイト関大」の岩崎先生とご一緒にこの快挙に拍手されたと存じます。

21世紀初頭の理事長の任命を受けた私は、歴史と伝統の先人の遺訓を偲び、タイムカプセルの作成と120周年事業を三役会で提唱し、その後、皆々様のご尽力で立派に実践して戴きました。

昨今、関西大学の飛躍を見聞し筆舌に尽くせぬ喜びと、今後とも一層の限りなき前進を祈願いたします。

（関西大学顧問・元理事長

1939年(昭和14年)生まれ

出会いの大切さ

石川 昌司 昭37学二商・39M商短文半世紀を書いてみたいと思います。

昭和32年、大阪市立扇町商業高校3年生の秋、今より不況、就職難で困っていたおりある日担任の楠木先生に呼ばれて、「君の成績を見ていると、簿記、会計学が大変成績が良いので、公認会計士か税理士の仕事に向いているから目指したらどうか」と勧めてい



末政名誉教授(左から2人目)らと執者(右端)

いただきました。

先生の指示通り、実務を学ぶために会計事務所就職し、勉強の好きな連中の集まる関大二部商学部に入學しました。1年生の時は単位を取るのに専念し、2年次から関大しかなかった公認会計士受験研究会(難しい入会試験がありました。因みに司法試験受験研究会は隣室でした)に入会し、昼は実務、夜は1限のみ授業を受け、あとは11時頃まで受験研究会の教室で税理士・公認会計士試験の勉強でした。夜11時過ぎ、友だちと校門をよじ登って帰宅したことを今でも覚えています。

関大の先輩の凄じところは、会長の故植野郁太教授、末政芳信教授、さらに先輩公認会計士の畑下辰典先生、上田高

嶺先生、岡本信久先生、山田榮一先生、故坂東博先生から、手作りの問題で、日曜日答案練習会を中心に熱心に指導を受け、私の4年次での税理士試験合格、院生2年次での公認会計士二次試験合格には、諸先生の存在は不可欠でした。

当時の公認会計士二次試験の合格率は5%で、近畿財務局館内での合格者は20人であり、内訳は東大3、関大3、あとは神戸大、大阪市大等が各1人ずつで、関大3人のうち私を含めて2人が二部卒でした。もし高校のとき、担任の熱心な進路指導がなければ今の私は無かったと思いますし、関大先輩の先生方の熱心なる受験指導での出会いが人生を良い方向に変えていただいたと思います。

関大で過ごした6年間は、すごく充実していました。私は大学院商学研究科の一期生ですが、当時はほとんどが神戸大学の有名教授が来られ、マンツーマン教育で得をした感じです。お返しに校友会での財政改革に取り組んだり、大学の監事・理事として今も関大に関わっております。改めて諸先生方との出会いに感謝申し上げます。

（元公認会計士関大会会長

澤山先生に
いただいた宝物

岡本 俊彦 昭37学法



昭和34年、小豆島での夏合宿で(左から4人目)

澤山先生とは、関西大学が生んだ日本拳法始祖 宗家 澤山宗海先生であります。

昭和33年法学部に入学以来今年で53年になりますが、この間、私の精神的支柱には常に拳法部が存在しました。関大に入学したからにはその伝統に恥じない学生生活を全うしたいという思いでしたが、詰襟に光輝ある法学部への「J」のバッジを付けた時の感動は忘れ難く、今なお涙します。遠逝歌の「あゝ、いつの日か関大と涙さしぐみ語る日を」そのものです。興奮しながら私がたどりついたのが拳法部

の部室でした。体力がなさそうだと入部届を受けとつても
らえず、居並ぶ先輩方の威容
に脅えながらも粘った甲斐あ
つて、斯道最強の関大拳法部
入部と日本拳法入門が許され
ました。この瞬間は関大生と
して完璧な船出でしたが、こ
れはまた厳しい戦いの始まり
であり、稽古は予想通り私に
とつてつらいものでした。既
に入部していた同期には、関大
一高から後に黄金時代を築く
小山貞俊や山口和夫の有段
者、柔道の黒帯でありながら
拳法に転じた田辺俊志らが
おり、猛烈な稽古を続けていま
した。

他の同期も強くなつていく
中で、当時鉄アレイを握る拳
を見事にデザインした部章と
法学部のバッジの関大二枚看
板を語襟に光らせ、肩で風切
り闊歩できる幸せをかみしめ
ながら、つらい稽古に耐える
日々でした。しかし苦しい中
にも初めて知ったココロの
味や、二級酒のラッパ飲み
の洗礼、関大前通りの喫茶店
のお嬢さんとの淡い思い出も
あったりして、日常を楽しん
でいたのです。気がつけば4
年次、酒井彦一監督から「選
手指導」を命ぜられるサプライ
ズ人生があり、正に青天の霹
靂を地でゆく幹部の誕生でし

た。

卒業して間もなく結婚した
私に、先生から毛筆長文のご
祝辞を頂戴しました。「関西大
学で勉学に励まれたこともさ
ることながら、拳法部に籍を
おき身心を立派に鍛え卒業し
たことを祝福する。虚弱な君
の苦労は大変だったと思うが
よく克服した。勿論先輩や仲
間の協力があつてこそだが君
の意志が強かった。天は君の
体から強さを奪ったかわりに
その強さを精神に植えたけれ
のかも知れない。よく頑張っ
た。実に立派である。『日本拳
法の師』としてお祝いする」。
このお言葉が私の宝物であり、
日本拳法を学んだ証明なので
す。卒業後銀行員となり、長
らく職員教育にも携わりまし
たが、教育理念は一貫して澤
山先生の教えでありました。
貞塚支部長 池田泉州銀行OB、
大阪府民生委員・児童委員

小幡 斉 (昭38学工)

半世紀前に過ごした工学部
での充実した学生時代



私は工学部、化学工学科に
昭和34年4月に入学し、38年
3月に卒業しました。その間
に、皇太子殿下ご成婚、ソ連
宇宙飛行士帰還、マリリンモ
ンロー急死、ケネディ大統領
暗殺等の大きな出来事が起こ
った時代でした。

当時、私たち工学部の1、
2回生は、全くのゼロからの
出発で、借り住まいの天六学
舎の二部授業が始まるまでの
昼間を利用して講義が行われ
化学実験、物理実験は地下の
実験場で行われました。

ある時には、午前中、天六
学舎で授業を受けた後、貸し
切りバスで千里山学舎に行っ
て、実験や講義を受けたりも
しました。開設2年目の昭和
34年9月、千里山校地に4棟
の実験・実習場と機械工作実
習場が完成し、その翌年度に
第4学舎ができて、卒業研究
までの教育は、遅滞なく行う
ことができるようになりました。

当時の工学部教育方針の特
色は、主に三つあり、その一
つは実験・実習に主力を置き、
専門課程の43%が実験・実習
で、他に工場見学5社以上、
および工場実習3週間を卒業
条件としていました。二つ目
の進級条件は、非常に厳しく
行つて、入学時の100%が

2年時には約90%、3年次
には約70%、4年次には約
65%、卒業時には約60%にな
り、約40%が残留していまし
た。三つ目は、学生それぞれ
について充分行き届いた指導
が行われ、たとえば講義では
立体模型、スライド等各種の
視聴覚材を利用して理解を深
め、教授の親切な指導の下で
学生各々が実験・実習を充分
に行えるように細かい配慮が
されていました。充分な設備
は整っていない時代でしたが、
先生方の熱心な指導の下で、
活気あふれ、充実した学生生
活を送れたことをうれしく思
っています。

その充実した時に過ごした
1回卒業生(234人)の就職
状況は、それぞれ大企業に
85%が内定しています。小生
は、卒業後、大学(教養化学
教室)に残り、研修員として
大阪府立放射線中央研究所
(現在、大阪府立大学と合併)
やカナダのアルバータ州立研
究所(エドモントン)に留学し
ましたが、実験・実習に主力
を置いた指導のおかげで、他
大学の研究員と比べて劣ると
感じたことは一度もありません
でした。

現在、半世紀を過ごした大
学を退職し、何らかの形で関
西大学に恩返しができないも

ANSAI
KUグッズ
NIVERSITY

For Memory&Campus Life

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生協同組合 Tel:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp



インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>



のかと考えている今日この頃です。
（関西大学名誉教授）

木村 勇市（昭36学商）



札幌から36時間、急行「日本海」で夢と期待と僅かな不安をもって大阪へ向かって53年が経ちました。

自分の短所の克服と沢山の友人をもちたいと願い応援団に入団。リーダー部、親衛隊、吹奏楽部の中から卒業後も染しめるのではと考え、吹奏楽部を選びました。若くして亡くなった中井団長のもと、補佐役として副団長を務め、仲間達と過ごした4年間は、今思っても血が踊る思いです。無謀にもまったく未経験の楽器に挑戦し練習に明け暮れましたが、結局、満足いくまでにはいきませんでした。

しかし、朝比奈隆先生の熱いご指導を頂いて、全国コンクールで優勝した感動は生涯忘れられないものです。我々の時代、目を見張る活躍の競技が沢山あり、野球は村山、

上田先輩で全国制覇。またボクシング、レスリング、相撲、ホッケー、拳法等々の全盛時代で、力一杯応援に必死の日でした。無事卒業できしたのには、毎日登校しなくても授業に出れない私の為にノートを貸してくれたり助けてくれた友人、ご指導下さった高木先生はじめ多くの応援団、運動顧問の先生のお陰と感謝している次第です。時代は学生に優しく、少々の悪戯も大目にみてる、貧しくも心豊かな社会でした。

帰省後、一経営者として激動を乗り越えてこられましたのも、4年間に培った貴重な経験があったからと思うところ。

校友会活動の始まりは、学園前駅近くの書籍店尚美社のご好意で、「北海道人集まれ」の紙を貼り、道人会を作ったのが原点で、その後、札幌に戻ったのを機に校友会北海道支部を立ち上げ、今に至っています。当地では、地方教育後援会の開催前日に支部総会を開き、森本理事・相談役、学長、教育後援会、校友会トップの方達が毎回ご来賓としてご出席という栄誉を頂いております。私も北海道教育後援会で、ご父母の皆様と一緒に、母校の目覚ましい発展の様

子を中心、感慨深く拝見しております。

11回続く関西6大学OBの会では、関西弁が飛び交い、学生に戻り夫々の学校自慢でおいに盛り上がり時間を忘れます。対抗ゴルフ大会では数年前には森本理事長にご参加いただき、優勝いたしました。しかし、我が校友の参加平均年齢が昨年63歳と、6大学中一番高齢となりました。来年はゴルフ大会優勝の為に、組織の若返りをはかりたいと考えております。どうか北海道在住の校友の方のご加入、また、ご紹介下さいますようお願いいたします。

連絡先は、事務局長・石橋司法書士事務所（電話02-861-1281）まで。

（株）キムラ・（株）ジョイフル・千ヶ代代表取締役

母校で学んだ充実の日々

栗原 宏武
（昭31一高・37学法・39M法）



母校が創立70周年を迎えていた昭和30年4月に一高へ入

学した私は、それから昭和39年3月までの9年間、千里山のキャンパスにある高校・大学・大学院で学び、青春時代を過ごした。母校で学んだこの9年間がその後の私の歩みの原点となった。

一高は、天六から「外苑」（千里山遊園地跡）の現在地へ移転してきて一年の頃であり、私たちは新校舎で高校生活を送った。男子のみの大学附属校のおかげか、受験勉強に明け暮れる雰囲気はなく、皆クラブ活動に励むなど、のびのびとしていた。私もESS部に入って英語劇や英語弁論大会に出るなどしたが、よく勉強もし、卒業式の折は総代として答辞を読んだ。

法学部に入学した当時の私は、勉強したいという思いだけは旺盛で、どの講義も欠かさずに出席した。はじめて学ぶ法学概論・政治学概論・社会学概論などの講義は難しかったが、何かしら深遠で新鮮さを覚えさせるものがあり、それを勉強していると思うだけで大学生になったことが実感できた。どれも大教室でのマンモス講義だったが、それがまた高級に思え、できるだけ前の席に座り、熱心にノートを取った。授業以外にも自分で岩波文庫等100冊読破計

画を立て、身近な小説類から読み始め、やがては社会・法律・政治・経済等の分野の新聞類も読み漁った。

同級生の誰かの発案で、ルソーの『社会契約論』やイエーリングの『権利のための闘争』の輪読会も始めた。難解だったが、「ああだ」「こうだ」と言い合いながら皆で意見を述べ合ったりしたことが、その後の勉強に対する自信に繋がって、貴重な経験であった。

やがて憲法・民法・刑法などの専門科目を履修する年次となったが、その頃に至って、はじめて司法試験を目指して法学部へ来ている学生も多いということを知った。大部な我妻の民法講義を既に読破したと豪語し、講義の際も皆の前で先生に質問を浴びせたりする者もいた。司法試験を目指す者は凄いなと思って圧倒され、司法試験はやはり自分には高嶺の花と思えた。

期末試験でもまずまずの成績が得られ、段々と法律の勉強を面白いと感じるようになった私は、「千里山法律学会（千法会）」に入り、天六の北市民会館等で行われる法律相談や学内外で開催の法律討論会にも参加した。夏休みには先生方と一緒に三重県伊勢志摩地方の風習・慣行・法意

識等の調査に出かけ、皆で何日もかかって纏めた調査結果を大学の『法学会誌』に発表するなどした他、岡山県倉敷市や広島県福山市等で開催の移動法律相談にも参加した。今から思えば随分タフであった。学生論文の募集にも応募し、採用された「占有訴権制度の根拠に関する一考察」と題する論文が『法学会誌』に掲載され、褒美に置時計を貰った。自分の書いたものが活字になったこともうれしかったが、この論文を纏めるに当たって明石三郎先生に親しくご教示いただいたことが何よりも有難いことであった。先生はご自身の博士論文のテーマ（自力救済の研究）と共通する点があるとおっしゃり、私の未熟な疑問にも懇切丁寧に応じて下さり、先生の論文の抜刷も贈呈して下さいました。そしてある日研究室を訪ねた私に対して「近く『司法試験受験研究会』を発足させ、教授陣も指導に当たる。志望者を募るので、君も応募したらどうか」とお話し下さった。これを聞いた私は、司法試験にも心を向け始め、発足したての研究会にも入り、勉強に打ち込んだ。ゼミは明石先生のお薦めで東北大から関大に来られることになった伊澤孝平先生のゼミ

に入り、リーガルマインドの涵養が大切と力説される明石先生や伊澤先生の薫陶を受け、とくに商法の勉強に興味を募らせ、その分野の論文や判例研究を纏めて論文募集に応募し、これらも採用されて『法学会誌』や『千里山論集』に掲載された。

4年次の後半となり学友らが銀行や商社へ就職が内定して喜んでいたら、勉学への強い思いを断ち切れなかった私は、両先生のご助言も仰ぐなどした末、母校の大学院へ進んで勉強を続け、その間に司法試験にも挑戦することとした。そして、幸いにも修士過程修了の年に司法試験に合格できた。合格を喜んで下さった両先生から助手として大学に残るように有難いお誘いもいただき、心を動かされたが、実務を知りたい思いを強めた私は、結局は司法修習の道を選び、その後大学には戻らず、裁判官となった。我儘を申し上げたが、両先生はその後も何かと温かいご支援を下り、裁判官となった後も、ずっとお力添えをいただいていた。今にして思えば、両先生との出会いを得たことが、今日までの私の歩みの出発点であり、人生の大きな分岐点ともなったものである。お二人とも既

に亡くなられ、私が40数年を経た後に母校へ戻り、法科大学院の教壇に立っていることを報告できないのが残念である。

古希を経てまた卯年を迎えたが、いまま母校法科大学院において法曹を目指す学生諸君の指導に情熱を燃やし、日々精進を重ねている。

法科大学院名誉教授・評議員・大阪府公安委員会委員長・元大阪家裁所長

学科の女子は3人!! 語学は最前列で受講

小林 寿子(昭37学文)



卒業後、50余年の歳月が過ぎていることに、あらためて大学生活4年間を思いめぐらしています。

関大入学には、不安と迷いがありました。出身高校(長野西高校)の友人は、大半が地元(東京)の大学、または東京へ、関西の大学を選択した先輩、友人は皆無でした。関西大学はどこにあるの? 魅力ある

学部は?...等、友人に質問されるたびに迷いが強くなるばかりでしたが、最後は前進あるのみ!!と決めました。

文学部新聞学科の女子学生は3人、出欠は目立ちます。特に英語、仏語では毎回、最前列の席で頑張りましたが、学びの自身は、思うように成果はあげられなかったと実感しています。

屋上でおこなわれた体育の「長刀」は初めての経験でしたので、興味津々、楽しい一時でした。先生のキリッとした姿が美しかった記憶があります。

金戸教授には、大変お世話になりました。卒業を控え、毎日新聞大阪本社を受験してみないか、と誘われました。当時、女子学生は採用しないという方針でしたが、教授が毎日新聞の顧問をしていましたので、受験の機会を与えて下さいました。結果は見事に不合格。卒業後、教授にお会いしたいと思いつつ、その後、ご逝去されたことを聞き、大変残念で、お礼を言う機会を失ってしまい、申し訳ない気持ちで一杯です。

東京での生活も40数年余りになり、今、卒業生の一人として関大校友会東京支部のお手伝いをさせていただいて

ます。

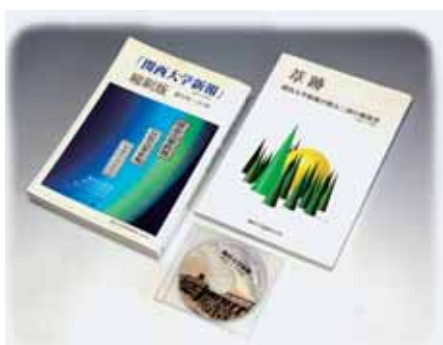
校友の皆様とお会いして、楽しく懇談する時が与えられていますことに感謝しています。

母校のより一層の発展をお祈りしています。

品川区明るい選挙推進協議会副会長

関大新報OBが綴る 『葦跡』『縮刷版』に思う

筒井 孝一(昭38学二法)



昭和34年4月10日、時の皇太子殿下(現天皇陛下)と美智子様のご成婚日。日本中が祝賀ムードで沸き返っていた。その日の夕方、関西大学二部の入学式、私は法学部へ入学した。昼は仕事、夜は大学で授業、クラブ活動と忙しい4年間だった。

クラブは、学生新聞『関西大学新報』を発行する新報



社。学生新聞では数少ない第三種郵便物の認可を受けた月刊紙。入学間もなく安保闘争で学生運動も激しさを増してきた。学友会、一般学生も安保反対運動に呼応して学内集会やデモに参加。わが新報も学内のニュースとともに安保の論評、報道を続けた。

卒業して40年目の平成14年10月、新報社OB会で「二部の廃止」が話題となり、この機に二部学生の足跡を後世に何か残そう、と決まった。そして15人の編集委員を中心に2年かけて自費出版したのが新報社OB会発行の『革跡』。関西大学新報が綴る二部の戦後史であり、『関西大学新報縮刷版』であった。

前者は、戦後間もない昭和23年の創部、創刊号から編集に取り組んできた歴代主筆、編集スタッフなど48人のOBたちが、当時の出来事や思い出を綴り、先生方に寄稿をいただいて纏めた本編。加えて資料編として各号の主要な記事内容や写真、学友会の変遷、二部に関する資料などを収録したA4版・239ページの記念誌である。

後者は、創刊号から昭和59年の休刊までの全231号（各ページ）をA5版・622ページに縮刷プリントした冊

子と同「CD-ROM」である。

昔とった杵柄とはいえ、限られた条件の中でOBたちが情熱を燃やした手づくりの作品。二部がなくなった今、あらためてページを捲ってみると半世紀も前の記憶が蘇り、その情景が浮かぶ。お世話になった方々にあらためての感謝です。

（元大阪市勤務）

1951年（昭和26年）生まれ

絆、全ては関大入学
〜少林寺拳法部から〜

井上 和伸（昭49学文）



創部45周年記念式典で（右端）

昭和45年4月、九州片田舎の佐賀駅から夜行急行「雲仙」にゆられ、質実剛健の校風に憧れ、また関大での学生生活に胸を膨らませての上阪

でした。

大阪での一番の障害は言葉でした。不器用な私にとって標準語はもとより大阪弁など話すこともできず、クラスメイトとの意思の疎通すら儘ならない状況でした。唯一の救いは、地方出身の秀麗寮の先輩方でした。今思えば関大の気風でもあった訳ですが、われわれ新入寮生に対しては厳しくとも思いやり、愛情を持って接して戴きました。

そういった先輩方の薦めもあって、比較的楽であろうと思いついた少林寺拳法同好会（現在は部昇格に入学しましたが、その練習は体育会昇格を目指すなか、大変厳しい内容でした）。

しかし、そういった逆境故に目標に向かって部員が一丸となることができ、同好会であったにもかかわらず、近畿大会「団体乱捕り戦」で優勝を勝ち得ることができました。卒業後も、同好会という事情もあって、経済的支援を含めて現役諸君との連絡・連携を密に保つ必要があり、結果、まさに兄弟・ファミリーとしての信頼関係を築き上げておられます。

こういった貴重な絆を基に、関大体育会OB会、関西学生少林寺OB連盟所属の他大学

の方々との交友の輪が広がり、公私に亘ってご指導・支援を頂き、私の心の大きな支えになっております。

今、改めて振り返りますとわが人生は全てが関大入学を機に好転したように思えます。関西大学、ありがとうございます、私の誇りです。

（株）関電SOS 取締役
日本パナテックス株、

青春を謳歌した
千里山の日々

隠岐美穂子（昭49学文）



高校時代から旅と読書が好きだった私が、4年間の自由な時を求めて関西大学に入学したのは、大阪万博の年でした。

入学間もない頃、難刀同好会の勧誘で入部。豊津のお寺での合宿。凱風館からプールへ水着にバスタオルで移動して、「その女子学生、服を着なさい」と放送で注意されたこと。海の家慶野松原で、女子はわが同好会メンバー5人だけだったこと等の楽しい

KIWA Japan

CNC Machining Center

代表取締役 会長 紀和隆

<http://www.kiwa-mc.co.jp>

株式会社 紀和マシナリー

〒518-0752 三重県名張市蔵持町原出522-51

TEL 0595(64)4758(代) FAX0595(64)7529

北関東 TEL048(589)1112：大阪 TEL06(6744)0321

真空熱処理 イオン窒化処理 およびワイヤー放電加工

QMS/EMS
ISO 9001:2000
ISO 14001:2004
JSAQ1927, JSAE1400

QMS/EMS
Accreditations
R001, RE005

HATTA KOGYO

堺技業
認証No.0071

八田工業株式会社

取締役社長 隅谷 哲三（昭39学工金卒）

本社 〒599-8265 堺市中区八田西町2丁18番40号

TEL(072)277-7227 FAX(072)277-8960

思い出は、怖いもの知らずの3人の先輩がおられてこそその経験でした。文学部では女子が増え6人に1人になったと言われましたが、厚生施設の利用はほとんどが男子でした。

楽しい日々でしたが、時間的拘束が多く、自由に旅をしたい気持ちと両立できず、二者択一で旅を取りました。

1ヶ月間の友人と2人のヨーロッパ旅行や、1週、2週間の長期旅行ができたのは学生だったからです。

資料館などで掛軸の文字を見ると、清水先生の授業の変体仮名をすっかりやっておけば良かったと後悔も度々。文楽鑑賞会では、木下先生が義太夫調でテキストを読み聞かせて下さった様子を、ふとした時に神堀先生の日本霊異奇の講義を思い出します。

大学卒業後は就職し、結婚、育児、PTA活動で関西大学とは疎遠になっていました。

3年前に「関大」に掲載されていた女子秀麗会の行事に参加し、この会に人会させていただきました。

関大OBとしての誇りを持ち、各界で活躍されている皆さまを驚きと羨望で見つめていました。

気がつけば子育てから開放

されて還暦。微力ですが女子秀麗会の活動を通して、後輩の皆さまと関西大学を繋ぐお役に立てればと願っています。

(女子秀麗会広報部長)

強い関大の継続

小椋 孝夫 (昭50学工)



昭和46年に土木工学科に入学。当時は庭球部(現ソフトテニス部)に工学部出身者がいないこともあって入部を躊躇していたが、5月に入部を決心した。

その2年前からスポーツ推薦がなくなり、即戦力になる部員が少なかった。そのため、入部して間もない頃に、春季リーグ戦でレギュラー選手として出場することになった時は、非常に驚いた。高校とのレベルの違いに圧倒され、同時に、1部リーグの質の高さについて行くのが精一杯であった。結果は緊張のあまり……。

しかし、1回生の秋季リーグでは5番手(5チームの点取り戦では2対2で回ってくることが多い)として活躍でき、

「優勝」できたことは非常に嬉しい記憶として残っている。

優勝カップで祝杯をあげたのは、残念ながらそれが最初で最後であったが、4年間を通じてリーグ戦に全出場できたことは、良い思い出である。

1部リーグを維持するという精神的なプレッシャーは相当なもので、楽しい学生生活を送ったというよりも苦しい4年間を過ごしたという方が適切かもしれない。おかげでその後の社会人となってからも精神面では臆することなく活躍が出来ていると自負している。

昨年11月14日のアメリカンフットボール、関大VS立命館で関大が2年連続優勝を果たした。久しぶりに学歌、応援歌を思い切り歌い、応援に来た甲斐があった。アイスクリームの高橋選手を始め、強い関大が復活し、関大生の頑張りは頼もしい限りである。

私の後輩の楠見学長が地質研究室の出身であることも大変誇りに思っている。これからも関大生諸君に「強い関大」を全国にアピールして頂きたいと強く願っている。

(奥村組関西支店営業部長)

還り来る日々

北川 知克 (昭45一高・49学法)



母校関西大学に縁を得て早や45年の歳月が経ち、人生の節目を迎えたのかと思うと感慨一入であります。昭和42年、父石松や兄法夫の足跡を辿るかの如く憧れと不安を抱き、桜咲く関大一高に入学した15歳から関西大学卒業までの多感な青春時代の7年間を、千里の学び舎を中心として過ごした日々が懐かしく蘇ってきます。

練習や試合に明け暮れた硬式、軟式野球部でのクラブ活動、九州への修学旅行、文化祭、体育祭、足尾先生始め各先生方の授業等、想い出が尽きない一高時代。昭和45年大阪万博が開催され、世の中全体に躍動感溢れる中スタートした関大法学部での4年間。田中金脈問題、第一次オイルショック、浅間山荘事件等が起き、私たちの授業やテストも学生運動の影響を受け、政治、経済、社会が混乱した時

代でもありました。

幾多のアルバイトや様々な経験をしました。中でも3回生の秋、衆議院選挙があり、立候補した父の手伝いをした事が、その後の森下泰事務所勤務や昭和51年12月からの衆議院議員公設秘書、衆議院議員という道程に繋がったと思います。ここに改めて的確な進路指導を受けた間教授始め本学関係者の方々に感謝するとともに、今でも寝屋川支部、電産会、東京経済人クラブ等を通じ、多くの校友の方々と交流出来ることに喜びを感じるところです。

充実した時を過ごし、知識を養い、身体を育み、友に恵まれ、青春を最も謳歌し、わが青春そのものである関西大学が、これからの夢と希望を抱きあらゆる可能性を秘めた若人たちに、貴重な青春時代を過ごす時と居場所を与え、永遠に青春の故郷として慕われ発展する事を希う次第です。

学び舎の

今も変わらず 咲く花に

想い映せし

還り来る日々

(前衆議院議員)



中学校から関大一筋

小寺 健司 (昭46・高・50学社)



関大一中、関大一高、関大と青春真っ只中を千里が丘で過ごしてまいりました。

今振り返ると、受験勉強の苦しさも無く、本当に楽しい学生生活を過ごすことができたと思っております。一高からアイスホッケー部に所属し、関大を卒業と同時にOB会の役員に任命され、現在OB会長を務めております。

関大へ進学の際は大学紛争の時期で、一高の校舎の窓から機動隊の車両が見えると今日の授業は昼までやと喜び、大学では試験がレポート提出になったりと、勉強においてはラッキーというか、その分クラブ活動に打ち込むことができました。

毎年12月には「一高会」という忘年会を、同級生で開催し今年で37回目になります。毎回、学生時代のアホな話で盛り上がり、出席者の顔ぶれはそんなに変わりませんが、卒業

業以来会うのが初めてという者が来ることもあり「あいつ誰やった」と聞いて、「そんなやつおったかな」と、なかなか顔を見ても思い出すことができず、クラス名、クラブ名を聞くとすぐに思い出すことができ、懐かしい学生時代の話で盛り上がります。

辛くもあり楽しかった現役時代のアイスホッケー部は、入部当時私たち1年生6人、2年生1人、4年生7人の計14人で活動しておりました。私たちが2年生以降、2年間は部員7名で、4年生のときは新入生2人を含め8人で、3年連続関西リーグを制覇したのが一番の思い出です。

練習は、スケートリンクの営業時間が終わってから貸切りで行い、もちろん有料で、その費用を下級生部員がスケートリンクで清掃等のアルバイトをして練習代を稼いで、自転車操業のようなクラブ運営でした。上級生になればアルバイトをしなくてもいいんですが、下級生が入部してこないで4年生になって毎日スケートリンクに通い、両親よりも仲間たちと一緒に過ごす時間がはるかに長い、充実した4年間だったと思います。卒業してから今日まで現役アイスホッケー部の活動を微

力ながら補佐してまいりました。関西リーグ最多優勝を現在でも誇っておりますが、卒業してすぐに部員数の減少から2部リーグ落ちも経験し、1部復帰後も下位に低迷する時代が続きました。1990年代になると、他大学が推薦で北海道の高校生を入学させるようになり、その差は開くばかりで悔しい思いをしたのを覚えております。

その後、関大もようやくSF入試が始まり、2006年には日本の大学で初めてとなる、私たち悲願のアイスアリーナが完成しました。そして、コーチには日本ナショナルチームのコーチでもある鈴木氏を職員として迎え、日本一の練習環境を大学当局より整えていただき、アイスホッケー部もこれからの大変だなどという思いをしたのを今も覚えております。

フィギュアスケートの高橋、織田君のオリンピック等、世界的な活躍はすばらしく、アイスホッケー部もまずは学生日本一を目指すことに全力を挙げて支援していききたいと考えております。

母校関大においては、千里山キャンパス内の学舎・施設が整備され、清潔感にあふれております。そして高槻キャンパス、堺キャンパス、高槻ミューズキャンパスと、発展の勢いはすばらしいものがあり、関大OBとしてこんなに嬉しいことはありません。

アイスアリーナの完成は、関大氷上競技部において現役部員の技術向上、そして経済的負担の軽減になっており、この紙面をお借りし、建設にご尽力いただいた大学関係者、校友会、OBの皆さまに厚くお礼申し上げます。

(株)小寺金属工業所常務取締役

校友会活動の人生

時任 博幸 (昭50学商)



昭和26年1月生まれです。昭和46年に、学費が日本で最も安かった関大の商学部に入學しました。

入学式の前に、まず秀麗寮に入寮し、オリエンテーションがありました。その後の4年間は、学生生活というより寮での共同生活の4年間であり、幸いに良い先輩諸氏に恵まれ、多感な時代の貴重な期間を過ごすことができました。

謹 賀 新 年



尼崎信用金庫

理事長 橋本 博之

AMASHIN

本店 〒660-0862 尼崎市開明町3丁目30番地
TEL 06 (6412) 5411 (代表)



ビル清掃・管理

株式会社 関西サービス社



エコアクション21
認証・登録番号 0001262

代表取締役 片岡 範文

事業所

吹田市山手町3丁目3-35 関大内
電話 (06) 6368-1121 (内) 4711
直通電話 (06) 6 3 3 8-4 6 5 4
FAX (06) 6 3 3 8-4 4 7 9

本社

〒533-0033
大阪市東淀川区東中島4丁目7-16
電話 (06) 6 3 2 2 - 9 2 3 6 (代)

時代背景的に、沖縄返還、ベトナム戦争があり、日米安保の自動延長、列島改造計画、日中国交回復、第一次石油ショック、狂乱物価と続きました。

また、教育問題では学生増、国公・私大在庫助成の格差があり、戦後の高等教育指針不安定で、前年には124校で大学紛争が起こっていました。東大安田講堂紛争を経て浅間山荘事件があり、学内でも内ゲバによる死亡事件が発生。大学は、逆ロックアウトとなり、1年次の学年末試験はレポート試験でした。この後、3年次も学費値上げ反対の紛争で再度レポート試験でした。

寮生活は、基本的に安価な学習生活環境が整っており、寮の写真同好会では趣味として打ち込みました。また、3年次には秀麗寮委員長に選任され務めました。植野郁太先生の原書購読を受講、飯野春樹教授のゼミを経て無事に卒業し、昭和50年に地元の鹿児島信用金庫に入庫。

関大卒業生同士で交流を深めるうち、54年から同期の稲盛雄次君と共に、県内の校友会支部事務局を担当することになり、以後30年間連続して支部総会を開催するなど、関大に係わる人生となっています。

す。私的には現在、生保の営業社員として仕事しているところですが。

関大卒を縁にさまざまな方と交友を得て、今日がある感謝しているところです。

関大のますますの発展をお祈りいたします。

(アリコジャパン社員)

バンカラで 雑草の如く
そして心豊かに！

山田 仁 (昭50学経)



大阪万国博の余韻がさめず、千里山周辺は桜満開の昭和46年4月早春、徳島港から客船深夜便で大阪の地にたどり着いた。4歳年上の実兄(昭45学法)のアパートに当分の間、居候することとなり、大学通いした。

決して第一志望で入学した訳ではなかったが、ノンボリの田舎育ちの私は、中学校時代からテナーサックスを持参し、グレンミラー、ペレスプライン、楽団等のレコードを買い漁り、大阪という都会でジャズコン

サートを開き漁りました。徳島へ帰郷の折は、音楽仲間とジャズ音楽演奏活動と気まぐれな生活でした。

学業面は、全国的な学園紛争のおおりに受け、大学4年間の多くの部分がレポート提出となり、卒業させていただきました。

昭和50年4月に、徳島へ帰り地方銀行へ就職しました。

関大卒であれば、「バンカラで、雑草の如く、そして心豊かに！」を胸に刻み、サラリーマン人生を歩んできました。今になって、自分自身ではそのイメージに合格点を付けてやりたいと考えています。関大卒で良かったと、母校愛をひしひしと感じている今日この頃です。

平成6年頃、銀行の新米支店長拝命時、公私共々大変にお世話になっていました西條宏大先輩(昭31学経)のお誘いで何にも分からないまま、校友会徳島支部のお手伝いをさせて頂きました。現在、徳島支部長を仰せつかっています。

代議員会、校友総会、四国内、淡路の支部総会等で多くの校友にふれあい、感謝するばかりであります。

本年、還暦を迎え、人生の第2ステージへと歩んでまいります。バンカラで、雑草

のごとく、そして心豊かに！」を人生の最終章まで継続してゆきたい。

(社団法人徳島県法人会連合会 専務理事)

1963年(昭和38年)生まれ

世代を超えた絆

尾松 啓祐 (昭58一高・61学経)



「漢舞」と聞いて何かわかりますか？この話は後ほどします。

私と関西大学の出会いは、中学時代に遡ります。高等学校受験のため大阪府下の高校を回り、関大一高を見たときに「こーやー」と強い思いが頭の中で爆発しました。早速帰り道に関大一高の赤本(入試過去問題集)を購入し、ひたすら読みました。晴れて入学できたときの喜びは今でも忘れません。

関西大学経済学部では、1年次から英語に苦しめられました。英語Ⅰ、Ⅱとも不可のため、2年次には英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、英書講読と「お前は

京都・丹後半島 夕日ヶ浦温泉

佳松苑

http://www.kasyouengroup.com

力ニ旅なら

たまらんわあ

佳松苑グループ

テレビCM放映中

京都府京丹後市網野町木津247 TEL. 0772-74-9009

平成8年社会学部卒業
若女将です
アジアン出張
テレビCM放映記念として
キーワード「関大」
で1秒に電話の方に
特典をお付けして
おりますので
一言添えてください



経済学部英文学科か」と、嫌味をたっぷり言われた程です。無事に大学を卒業できたのは親友のお陰です。われわれは高校から大学と一緒だったので、絆は深く情報網は完璧でしたが、試験前にコピー代を何万円と使いました。

関西大学でできた友人の絆は今でも続いています。卒業後新たに関西大学の絆の強さを知りました。「関西大学」というだけで、すぐ世代間関係なく仲良くなれるのです。

ここで「漢舞」の話です。これは、かんまえと読み、関西大学のよさこいチーム名で、関大前駅の名前をもじって命名したそうです。私が藤井寺どんといチームの団長をしていたとき、大阪メチャハピー祭の説明会で漢舞初代団長の坂東くんと出会い、関大繋がり漢舞に藤井寺へ踊りに来てもらい、藤井寺どんといチームも関大へ踊りに行ったりしました。今では、毎年スプリングフェスティバルでの颯爽たる演舞披露、入学案内のパンフレットに掲載されるなど大活躍です。羽ばたけ漢舞！羽ばたけ関大生！

(社会保険労務士・中小企業診断士)

いつも心は千里山 始・続・楽「歩みさだかに」

谷口 欣久 (昭61学工)



昭和61年3月卒業式 大西学長とご一緒に(右から2人目が筆者)

『始めること。昭和57年4月、建築学科に入学、同時に体育会柔道部に入学しました。』
『続けること。当時、背は低く、力がなく、スピードがなく、根性もなかった私でしたが、柔道部では伊東三郎師範、岩田家正監督のご指導により稽古を続けることができました。』
『続けること。当時、背は低く、力がなく、スピードがなく、根性もなかった私でしたが、柔道部では伊東三郎師範、岩田家正監督のご指導により稽古を続けることができました。』

建築学科での成績は辛いのがありました。幸い優秀な野原義久、前田(小高)由利らの支援により4年間で卒業できました。両人は建築家と

して大活躍、今でもあらゆる場面で力添えをいただいている次第です。

『楽』しむこと。2回生夏にアメリカ大陸横断一人旅を実現。4回生夏、ユニバーシアード神戸大会で柔道競技役員通訳として、生まれ育った神戸で、稽古を続けてきた柔道と、学んできた英語を生かして活動することができたのは大きな喜びでした。

今春、長男の谷口統(つづき)が4回生になります。体育会ラグロス部活動は熱心ですが、経済学部生としてはどうなのかと心配になります。ついでこの間の自分の姿とダブらせながら、息子の成長を楽しみにしている。

今の自分を創っていただいた母校。卒業後も関大との関わり大切にしたい。校友会活動に参加しています。好きなことだから忙しくてもできる。情熱を持ち続けると使命感・責任感になります。関大と関わりのない日はなく「いつも心は千里山」。

仕事は、イチケンで建築営業を担当しています。次の年男は還暦、想像もつきませんがあつという間にくるのだと思います。これからも永きにわたる関大と校友会活動と共に「歩みさだかに」。

「心と体」を鍛えてくれた 我が母校

真鍋 修司 (昭63学法)



高校を卒業して一浪の末、希望に胸をふくらませ関西大学の門をくぐったのを昨日のことのように思い出します。

文武両道の信条のもと、早速クラブ入部に向け各クラブを見学。子供の頃からサイクリングが好きだったこともあり、体育会自転車部に入ることにしました。

入部してみると、説明を受けていたのとは大違いで、練習は厳しく大変なハードなクラブでした。合宿でツアーに出る時は角帽・学生帽をかぶって自転車に乗り込みます。そして、登り坂では全員で掛け声を出しながら走ります。周りの人たちにどのようなように映っていたことでしょうか。

しかし、そんな自分でも1年の夏合宿の時には、自転車道を担いで富士山に登頂できる

ほど、心と体が鍛えられていました。その時、富士山の8合目から見た日の出の美しさは筆舌に尽くせないほど素晴らしいものでした。

そして、大学卒業後は、9年間建設会社で経理マンとして働いた後、33歳の時、公明党より公認をいただき、尼崎市議会議員選挙に立候補。多くの方の支援をいただき当選。以来4期連続当選を果たさせていただきました。現在に至っています。

振り返ってみますと、会社員であった時も、また議員になつてからの日々も、厳しい選挙戦など様々な苦しい時がありますが、母校関西大学で鍛えてもらった心と体で、すべてを乗り越えてくることができましたと感じます。

今後も関大の誇りと自覚を持ち、社会の中で実証を示してまいりたいと思います。

最後になりましたが、いつもお世話になっております尼崎支部の支部長をはじめ、役員の方々にこの場をお借りして感謝申し上げます。どうぞ、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(尼崎市議会議員)

まふと

校友録

Kandai Kiratto Part 28

聴く人を「瞬」にして魅了する歌声は、伸びやかで甘く、パンチがあるのにどことなく切なさも漂います。birdという名前は、デビュー当時の髪型が鳥の巣のようなアフロヘアだったことから付けられたとか。現在は、ライブ活動を中心に作詞・作曲、プロデュースも行い、三年前からは、birdさんが撮ったフォトグラフに詩をつけた写真展も開催しているそうです。デビューのきっかけや活動内容、シンガーとして大切にしていること、今後の目標などをお聞きしました。

軽音楽部に入っていなければ 進んでいなかった歌の世界

京 都育ちのbirdさんが関大に入学したいきさつは、「実は、大好きな英語を学びたくて受験した国公立の外国語大学が全滅だったからです」と苦笑い。私立はたった「一校、関大だけを受けたそうです。「その頃、大ファンだったタレントの越前屋俵太さんが、関大の社会学部マスコミ専攻卒業だったからです。それに女子校だったこともあって、大学は開放的な共学に行ってみたいという気持ちもありました。関大は生徒数もすごく多いですし、才能ある面白い人たちに会えるんじゃないかという期待もありました」。実際に入学したときは、あまりの人の多さと活気にびっくり。特に新入生への部活・サークルの勧誘の嵐はすごかったようでその時のドキドキ、ワクワク



さんは、勧誘した先輩の「いっぱい楽しい人に会えるよ」「初心者でも大丈夫」という誘い文句で入部。「当時、軽音楽部は合宿に行くにも人数がバス三台分というマンモス部でした。私は他にもジャグリング研究会に入ったり、軟式野球部のマネージャーもしていたので、最初の頃はかけもち状態。本当に忙しくて楽しい毎日でした」。

さて、軽音楽部に入ったもののbirdさんは音楽の初心者。まずは先輩に教えてもらったアーティストのカセットテープを聴いたり、流行っていたJポッ

感は今でも記憶に残っているそうです。

birdさんがシンガーになったのは、実は関大で軽音楽部に入ったことが始まりです。それまで音楽活動など全くしていなかったbird



プのコピーをしたりしていました。「録音した自分の声を聴いて、歌には向いてないって思ったこともあります。その後、アレサ・フランクリンやジャニス・ジョプリン、キャロル・キングの歌を聴くよ

うになり、彼女たちの声の強さと存在感に衝撃を受けて『歌ってすごい！』と改めて感じました。私も自分の声を生かせばいいんだと思えるようになったんです」。それからのbirdさんは歌に対する姿勢が変わりました。本場ニューヨークで音楽漬けになりたいという熱い想いに賛同してくれた小川博司先生の理解と応援のもと、小川ゼミに在籍しながらニューヨークでの生活をスタートさせます。卒業論文も同時進行しつつ、先生とは手紙でやり取りを繰り返す半年を過ごしました。「小川先生は今もずっと応援してくださっています。東京へもライブを観に来てくださるんです。本当にありがたいですし、先生にはとても感謝しています。また、関大で勧誘されて軽音部に入っていなければ、絶対にこの道には入っていなかったと思います。関大が音楽の世界と引き合わせてくれました」。

歌で苦しくなっても 歌に支えられ続けてきた

birdさんは三回生の頃から大阪のライブハウスで歌うアルバイトをしていたそうです。卒業後、大沢伸一氏(MONDO GROSSO)にスカウトされ、メジャーデビューすることになった。このときbirdさんは三歳。デビューとともに単身上京したbirdさんを待っていたのは、今までと全く違う環境でした。「好きで始めたのにそれが職業になったとき、やりた



くなくなってしまうこともありました。東京での独り暮らしや、シンガーbirdとしての自分に慣れること。特に最初の二三年は何度も悩みました」。では、そんなbirdさんの支えは何だったのでしょうか。

「歌うことが嫌になるんですけど、好きなアルバムを聴いたり、旅先で出会った音楽に癒されたり、自分の中に新しいリズムが芽生えたりして、結局は音楽に助けられました。歌は身体自身が楽器なんです。声を出すことは息を吸って吐くこと。それで酸素が体中を循環するんです。そうすると気持ちが悪く落ちてきて。当時はいろいろ悩みましたが、若かったのでエネルギーもありましたし、嫌になつてはまた向き合うという繰り返しを経て、今はこれが自分の仕事なんだと思っています」と語ります。

また、birdさんはデビューしてからアジアや南の島など、旅によく出かけるようになったとか。そ

れは作詞・作曲などのものづくりは、自分の中身を『出す作業』だから。旅をはじめ、映画や散歩は『吸収する作業』。この吸収するという充電がないとつくり続けるのは大変なのだから。「旅行の記録に写真をずっと撮りためていたんです。写真を見ると、その時に感じていたことを思い出したりして、言葉の素材にもなるんです」。また、三年ほど前から、birdさんが撮った写真に、ご自身が詩をつけた写真展の開催や展示会場で歌う企画ライブも行っています。

ピュアに音を楽しみ、 音に身をゆだね歌うこと

デ ビュー曲で初めて作詞をしたbirdさんですが、プロデューサーに「めっちゃ普通やな」と言われます。「え？普通って何？」「詩って何？」と考えていた時期に谷川俊太郎さんの詩集『これが私の優しさです』に出会うことに。谷川さんの詩を通じ、作詞という言葉へのこだわりにつながっていきました。それ以降、ラジオに出演してもらったり、谷川さんのライブに参加したりと交流が続いています。「谷川さんはご自身の詩を、私は自分の歌詞を読むという朗読ライブをさせていただいたことがあるんですけど、詩と歌詞の違いを思い知った経験でした。詩は読むため、歌詞は歌うためのものという圧倒的な違いです。ですから作詞

はメロディにのることを重要視していますし、逆に詩を作るときは読むテンポを大切に書いています」と作詞や詩への思いを語ります。

シンガーとして大切にしていることを聞きすると、ピュアに音を楽しむこと、音に身をゆだねることという答えが返ってきました。これは上手く歌おうとするという意図的になり、自分自身が音を楽しめないからだそうです。「同じ歌を歌い、同じことを言ってもライブごとに違います。会場の空気全体を楽しみたいです。それが聴いてくださるお客様にも伝わると思っています」。

最後に今後の目標を伺いました。「歌うことを極めていきたいです。旅も写真も詩も作詞も私にとっては、全てが歌うためのもの。まだまだ走っていかないとと思っています」。



始まりは関大の軽音楽部 ライブで酔わせる歌姫——bird——

バード
birdさん

プロフィール

bird (バード) さん

一九九八年 関西大学 社会学部 社会学科マス・コミュニケーション学専攻卒業。シンガー&ソング・ライター。関大卒業後、ジャズクラブで歌っているところを音楽プロデューサー大沢伸一氏にスカウトされ、一九九九年にメジャーデビューを果たす。ファーストアルバム『bird』は七〇万枚を売り上げ、日本ゴールド・ディスク新人賞を獲得。シンガーだけでなく、作曲・プロデュース、写真展などクリエイターとしての才能も発揮している。

詳しい活動内容はJAFON <http://www.bird-watch.net>

北から 南から 《各地支部だより》

新連合会長に得平文雄氏を選任

南部・大川前正副会長に花束贈呈

首都圏支部連合会（南部靖之会長）総会が、10月9日、寺内校友会長、上原理事長、黒田副学長らを来賓に迎え、校友93人が出席して関西大学東京センターで開催された。

総会は、南部連合会長の新会長へのパトントッチの挨拶のあと、来賓から大学の近況を交え

た祝辞をいただいた。

議事に移り、任期満了に伴う役員改選・会則改定、得平文雄新連合会長の新任挨拶、会計報告がなされ、すべての議事が承認された。サプライズで、南部前会長、大川前副会長に花束贈呈があり、これまでの労をねぎらった。

第2部の懇親会では、自分たちが学生であったころの懐かしい話と、アメフト学生日本一やアイススケートなど最近の関大の活躍ぶりなどで談笑の輪が広がった。また、初参加者の紹介、豪華景品のくじ引き等で大いに盛り上がった。（理事・小谷政博（関西大学東京センター内）03-3211-1670）

19人で銀座を闊歩 路地裏に興味津々

秋深まる10月24日、首都圏支部連合会女子部は銀座散策を実施した。好天にも恵まれ、昭和29年卒から平成11年卒まで19人



の皆さま、まさに老いも若きも一緒になって2時間余、歩け歩けで銀座を闊歩した。

知っているようで知らない銀座、4人のガイドさんの案内に銀座の奥の深さを知った。特に銀座路地裏に皆さん興味津々だった。

昼食は、銀座東武ホテルで和食を。初対面の方もうちとけて大変に盛り上がった。

（昭37学文 小林寿子）

再建4年目の総会に42人 桜井亀山市長が熱く語る

10月23日、第4回三重中勢支部（岡本祐次支部長）総会を津市で開催した。

当支部は、平成19年に再建され、4年目のこととて、総会出席者の数が心配であったが、42人が出席、本部の田中副会長をはじめ、北勢、南勢、愛知支部から、来賓各位の出席を得て盛



大に開催することができた。

会場を移しての懇親会がでは、支部顧問の桜井義之亀山市長から母校関大や支部発展への熱い思いが語られた。ついで、卒業年度の若い校友から順を追って自己紹介や近況報告が行われ、信頼と親近のなか、和やかに親睦を深めることができた。

（岡本祐次

（森 貞弘 059-231-0295）

山本・高橋体制が発足 支部の活性化など検討

富山支部の22年度総会は、11月7日、高岡市のレストラン・デュオで開催した。今春の卒業生を含む約20人が参加。

冒頭、昨年死去した佐野治人支部長ら3氏の業績を偲び黙祷した。



議事では、支部長に山本勝徳氏（昭45法）、幹事長に高橋正氏（昭47法）を選んだ。

山本支部長は「近年、総会参加者が減ってきている。今総会をスタートとして再生を図りたい」と挨拶した。

高橋幹事長が、21年度の収支報告の後、「支部財源を安定させるため、協力金のようなものを検討したい。若手・女性校友の参加を働きかけたい」と基本方針を説明した。

引き続き、校友で富山国際大学の長尾治明教授が「観光交流による地域活性化」と題して講演。懇親会に移り、参加者は支部の活性化策などを熱く語り合った。

（幹事長 高橋 正（高橋 正 076-475-5726）

新支部長に水野氏を選出 高橋・織田の話題に湧く

栃木支部（室義一郎支部長）は、10月30日に宇都宮市内のホテルで総会を開催した。台風14号の接近で大雨の天候ながら、9人の校友が参加した。

高橋選手・織田選手のNHK杯の金メダル・カナダ戦の銀メダルなどホテルの女性従業員も大いに興味を示す話題や近況報告等で盛り上がった。

また、支部の活動を活性化するため役員の改選を行い、次の新役員を取り決め散会した。

支部長＝水野恩恵（昭51M工機） 事務局長＝高橋一彦（昭50学機Ⅱ） 幹事＝安藤丈一（昭61学応化） 幹事＝坂本幸夫（昭44学工電） 井宮孝（昭47学法） 顧問＝室 義一郎（昭37学工機） 中嶋昌平（昭42学工機）

（中嶋昌平）



（ムロコーポレーション）鳥山工場・中嶋昌平＝0287-831122

高橋選手に記念品贈呈 世界での活躍を讃えて

岡山支部（行本章允支部長）は11月29日、フィギュアスケートの高橋選手＝倉敷市出身＝に、活躍を祝って備前焼の飾り皿を贈った。

飾り皿は、直径33センチで、岡山支部会員の備前焼作家松井浩之さん（昭61学文）＝備前市西片上＝が、4月からとりかかり、約5か月かけて制作した。

牡丹餅（ぼたもち）の上に緋襷（ひだすき）を走らせ、裏に「祝バンクーバーオリンピック銅メダル 祝 世界選手権金メダル」の文字を刻んでいる。

この日、倉敷市連島町のヘルスピア倉敷で贈呈式があり、報道8社が取材。行本章部長が「彼の見事な活躍をたたえ、記念になるものと校友の松井氏をお願いした。思い出の地でお



渡しでき、校友会としてもうれしい限り」と挨拶。高橋選手の母清登さん（60）に、制作者の松井さんが「活躍おめでとうございませう」と声をかけ、皿を手渡した。

清登さんは、「すてきな作品で、とても光栄です。皆さんに見ていただけるよう、賞状やトロフィーを飾っている居間に置きます」と話していた。

（幹事・村木弘文）
（行本章允＝086-428-4501）

関大の学歌・逍遙歌 一般客も一緒に口ずさむ

11月20日、佐賀千里会（山口正文支部長）は第18回佐賀青春寮歌祭に参加した。今年で3年連続となり、支部行事の一環として確立してきた。

各校の特色がでている舞台は、直立不動の学校や大根をも



って踊る学校ありと楽しいものであった。

関西大学は、女性2人を筆頭に、そのさわやかさについては、もともと目立っており、関西大学の学歌、逍遙歌は会場的一般

設立30周年記念総会を開催 新支部長に藤 俊弘氏を選出

11月7日、生駒支部（杉岡昌彦支部長）では設立30周年記念総会を、近鉄奈良ビルの中華料理店・百楽で、一軸前校友会長ほか総勢46人の参加を得て盛大に開催した。

生駒支部は、昭和55年11月、近畿一円では商売の神さんと慕われている、生駒山宝山寺の和光殿で産声をあげ、約60人の参加者で発会した。

時は過ぎ、今回30周年を迎え



客も一緒に口ずさむなど、心に響く名歌であることを改めて確信することができた。（松永久光＝0952-53190）

た中で、その間多くの先輩が他界され、記念総会の冒頭参加者全員で黙祷した。

新支部長の選任では、杉岡昌彦現支部長の推薦により、藤俊弘氏（昭51法）が後任に決まった。

第2部以降の講演会と懇親会では、カライコンサルタント林由恵さん（支部会員）から「見た目も心も10歳若返るカライパワー活用術」と題して講演があり、その後「美空ひばりものまねシヨ」を吉川かおりさん（ものまね日本一）の熱演と、応援団OB長柄会幹事長馬淵さんのリードにより、10人の母校チアガールの皆さん方によるパワーあふれる演技があった。（西野四郎＝藤 俊弘＝0743-79157）

八幡の名所を訪問 歴史街道を歩く会

10月24日に京都支部（牧村史朗支部長）の歴史街道を歩く会



が開催された。今回の訪問先は京都府八幡市で、八幡市観光協会主催のウォークラリーに参加しながら、名所を訪ねる一日となった。当日集合した校友は15人で、和氣満々と出発した。

コースは、石清水八幡宮、徳迎山正法寺で、最後は松花堂。

ここで昼食となり、終始和やかな雰囲気であり、楽しい食事となった。昼食後は日本情緒溢れる松花堂庭園を散策し、最後には花堂美術館を見学し、校友諸兄と素晴らしい一日を過ごした。

(栗山裕也 平16D文藝)

(大西康治 075-691-3515)

カラオケ同好会が発会 第1回は9人が熱唱！

京都支部カラオケ同好会が発足。9人が11月26日「カラオケレインボー河原町店」に集まり発会式が行われた。会長に井



口、案内などを倉田幹事、当日の運営を福田幹事が担うことに決定。簡単な会則も決め、いざカラオケに。各自思い思いに3曲ほど選曲し幹事に提出。いままでも思いもよらなかった方が、すばらしい声で歌われたのには驚嘆の声。次回は2月21日。案内希望者は倉田幹事(電090-3993-6050)へ。

(副支部長 井口 俊博)

留学生・クラブに支援金 河野校友市長が来賓挨拶

西宮支部(中川経夫支部長の22年度総会が、10月9日にホテル甲子園で開催された。今年は、前市長の任期途中の退任に伴い、市長選があり校友の前副市長・河野昌弘さんを支部一丸となって応援し、めでたく校友市長の誕生となり、本年は市長として来賓の挨拶をいただいた。

西宮支部は、創立70周年を契



機に、他国からの留学生や現役学生のクラブ活動に対し支援活動を行っているが、本年は金恵元さん、Thiri Yadanarahn、李洋くん、古武道部、落語大学と、3人の留学生と2つのクラブに支援金を授与した。

校友市長を取り巻く元気さや、現役学生のエネルギーに満ちた120人を超える大盛会となった。(昭55卒 小坂圭一)

(栄興電機工業・小坂圭一 06-6491-5301)

甲山森林公園を散策 地すべり資料館も見学

川西支部(浅野洋一支部長)歩こう会の第10回秋の大会が、11月13日に行われ、西宮市の仁川・甲山森林公園を散策し、軽い汗をかき秋の一日を楽しんだ。家族を含め27人の参加者であったが、初めての方も数人おられ、ウォーキングの道中、在学中の思い出などを語り合い、楽



しいひと時を過ごした。

コースは、甲山森林公園の「噴水広場」で休憩・昼食をとった後、「地すべり資料館」へ。その後、関西学院大学構内を通り過ぎ、仁川駅に到着。皆で本日の行事を無事終えたことを喜び合っており、解散した。

(歩こう会 白井 宏)

(あさの文具 072-759-3785)

葦水寄席ライブ盛会に!! 落語大学OBら出演

宝塚支部(兼丸秀樹支部長)は、校友会支部の中で唯一「葦水会」という会名を冠している。その葦水の名にちなんで、初の寄席ライブを11月6日に商工会議所ホールで開催した。これは文化会OB会が「葦文会」として再構築され、その葦文会と葦水会の事業コラボとなった。

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」「環境」「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO-9001



ISO-14001



OHSAS-18001



門淡路市長も出席 春フェス参加を決定

11月6日、淡路支部（野添忠支部長）22年度総会が開催された。

当日は、本部の渡邊組織部

（塚本寿一）0797-85-1491
（鷲見彰治）

会場は、事前の広報（市、教育委員会、商工会議所の後援と協賛）に加え、当日朝から役員が駅前で一般市民へのチラシ配りの成果もあり、当初の目標である50人余りの観客と、楽しい笑いのひとときを過ごした。



出席増期待し会場を変更 手品・福引で盛り上げる

10月23日、枚方支部（阿部進支部長）定時総会を開催した。本年度は多くの出席者を期待し、会場を天満橋の大阪キャッスルホテルに設営した。ここは

（磯崎泰博）0799-24-0288
（支部長 野添忠）

淡路支部は、一昨年、支部の再結成にこぎつけ、再スタートをしたところ。今後さらに支部活動を発展させて行きたい所存で、総会では2011スプリングフェスティバルへの参加も決定した。



駅の上ということもあって交通の便もよく、会場からの景色は抜群だった。

校友会本部の古川副会長はじめ近隣6支部の代表や、米倉枚方市役所秀麗会幹事長、濱口関学同窓会枚方支部長をお招きして、総勢56人が参集した。

1部総会の議事では、会計・監査報告を行い、無事承認された。

記念写真撮影を行った後、2部の懇親会に移り、朝倉顧問の乾杯の発声で開宴。アトラクションでは、プロ顔負けの演技で会場を沸かせた赤井剛幹事長のマジックに続き、恒例の福引き抽選会が行われ、一万円の金券が3本という景品のおかげか、例年になく盛り上がった。

その後、初参加の方々を紹介。小橋相談役の万歳三唱にて無事終了した。（永盛啓司）
（阿部 進）071-805-0005



倉田箕面市長がお墨付き 賑やか総会が最大の特徴

箕面支部（高田明支部長）の22年度総会が10月30日、箕面観光ホテルで開催された。参加者は、校友会本部や近隣支部などの来賓を含めて総勢100人。

箕面支部の総会は、とにかく賑やかなことが最大の特徴となっている。現役応援団のプラスバンドの演奏とともに繰り広げられる力強い演舞、耳をつんざく大太鼓の音。プラスバンド演奏の何曲目かに「六甲おろし」があった。その時、池田支部の来賓であるパーソナリティー唐渡吉則氏が、本物の「六甲おろし」を披露され、会場は大いに盛り上がった。

続いて、恒例の大福引大会。舞台にうず高く積み重ねていたマツタケ、柿、梨、ブドウなどの青果物で構成された景品の山は、司会者の名調子の語りと会



落語大学生が出張公演 1市2町の会員が懇親

泉南支部（森本讓支部長）総会が11月14日に、大阪湾と関西

（日産チェリー箕面販売気付）072-722-5581
（広報部長 太田克己）

場のあちこちからあがる歓声とともに、瞬く間になくなった。同種の総会に多数出席されている最年少当選の倉田箕面市長の「関大校友会箕面支部が最も賑やかで活発、活力を感じる」というお墨付きをいただき、役員一同、来年も賑やかな総会にしよう、決意を新たにしたい。

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型著賞(上用) 謹製

和 洋 御 菓 子 司

株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550
代表取締役 山 本 雅 己(S53学1法卒)

厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会会長賞

登録商標



空港を見下ろす「箱作サンヒル都」で開催された。

議事として、事業・会計に関する21年度報告と22年度計画を承認。続いて文化会落語大学の落語と漫才の出張公演を楽しみ、両方とも女子学生が芸達者だったので、笑いによる脳の柔軟活性化はもちろん、視力も元気がなった。

その後、来賓・家族会員と公演者も含めての懇親会となった。当支部は2市1町の広域構成で、会員同士の顔合わせも久しぶりのため、和気あいあいと歓談していただいた。

(幹事長 築野由照
築野由照 072-476-1782)

上岡会頭が郷土史を講演 ミニSL製作の会員も話題

11月21日、市内レストランで貝塚支部(岡本俊彦支部長)の総会・懇親会が貝塚商工会議所

上岡会頭、渡邊校友会組織部長らを来賓に迎え、20人が出席して開催された。

1部総会では、校友会の各種開催事業の出席状況や1年間の会計収支報告を行い、渡邊部長から大学と校友会の近況や、全国組織代表者会議で発表された支部活動の新しい動きなどのアドバイスもあり、当支部の活動の参考にさせていただくこととしている。

続いての公演では、貝塚郷土史研究の第一人者である上岡会頭に、紀州根来衆と貝塚との関わり、貝塚御坊願泉寺(ト半さんの駕籠などになせ上野寛永寺以外では唯一、徳川葵の紋所を使用することが許されていたのか、大阪湾南部の古称が「茅渟海」と呼ばれるのは茅渟鯛が釣れるからではないですよ、など興味深く楽しい講話を聴くことができた。



校友のトビックスとして報告されたのが、ミニSLの製作・試乗会で関西一円の子供たちから引っぱりだこの西松多佳良校友(32学経)。

西松さんは、金属加工の第一人者であり、会社役員退任後、自宅でミニSL製作に専念されている経済学部出身の技術者!?である。

子供たちを乗せた客車を牽引する機関車C62の、精密で本物

ルーツは江戸時代の平野郷 藪田教授が関大の歴史を講演

11月20日、22年度平野支部(田中義信支部長)総会が、寺田町フェイセスゲストハウスで開催された。第1部総会では役員改選、会計年度変更を含む1〜6号までの議案が審議され、了承された。

続いては第2部講演会。講師は文学部教授であり大阪都市遺産研究センター長の藪田貫先生。演題は「平野郷と関西大学」。関西大学の歴史について「長き歴史」の意味するところを約45分にわたり、ソフトでありながら情熱的な口調で語っていただいた。

「大阪には適塾・懐徳堂を原点とする大阪大学と、泊園書院の流れを汲む関西大学。これ以外に大学はなかったんです。1

そっくりの出来栄え(12分の1)と、力強く走る姿はともかわいくて、全てが手作りであることから「となりの人間国宝さん」に認定された。

今、2号車・3号車の製作も進んでおり、将来、校友会貝塚支部の冠事業としてイベントを企画したいものだと思っている。

(支部長 岡本俊彦

岡本俊彦 072-431-3547)



886年関西法律学校開設から更に遡り、一体どのような結末を向かえるのだろうかと思いが、その源流は江戸時代の平野郷・

血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。

「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値...。今回やっと下げたモノが見つかりました!」と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データを無料でお送りいたします。

特許番号第2535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

資料無料送付

燕子掌
180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)

絵本・物語、そして子どもが
大好きなあなたに、
ぴったりの「仕事」があります。

ラボ子ども英語 指導者募集

ラボ子ども英語指導者(チューター)は、絵本・物語を英語と日本語で楽しみながら、子どもの言語力・社会力・国際コミュニケーション力を育む教育活動『Labo Party』の指導者です。自宅でわが子と楽しみながら、絵本で子育てができ、英語のスキルアップが図れます。

通常授業以外にも、野外キャンプや海外ホームステイの引率など、単なる英語教室の先生とはまったく違う豊かな活動内容は、子どものみならず、あなた自身の可能性もどんどん広がっていきます。

無料の初期研修、教材無償レンタル、開設初年度指導料収入の保証など、スタート時のバックアップ制度も充実しており、安心して始められます。

少しでも興味をお持ちの方は、ぜひ資料をご請求ください。

「ラボ・チューター」の資料を
ご請求ください

資料をご請求の方に、プレゼントがあります。

資料請求お申し込みの方全員に
『ラボ・パーティ紹介CD』を同封いたします。
【英語の歌14曲、物語朗読2編、子どもの暗誦4編を計40分収録】

資料のご請求方法

下記いずれの方法でも可能です

1 ホームページから

<http://www.labo-party.jp>
(Yahoo, Googleで「ラボ・パーティ」で検索)

2 携帯電話から

右記のQRコードからアクセス
「きっかけ」欄に「関西大学」と
入力ください。



3 フリーダイヤルから

0120-808-743

頂いた個人情報につきましては、資料の発送に利用させていただきます。
また、今後のラボ・チューターに関する情報提供の際に利用する場合があります。

ことばがこどもの未来をつくる

Labo Party
Since 1966

株式会社ラボ教育センター

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル

**徳野支部長の総会表彰
記念品贈り祝意を表す**
鶴見支部(徳野豊支部長)は
10月25日、鶴見区内「ふうふや」
で10人出席の幹事会をもった。
定例の主要行事報告のあと新
役員の紹介に続き、特に10月17
日、校友総会で個人功労表彰を
受けられた徳野氏からは、校友
会よりの表彰状と記念品の披露
もあり、全員で拍手を持って祝



福した。
また、支部から徳野氏に長年
のご指導と今回の表彰を記念し
て「置き時計と表彰式当日の額
入り写真」を贈呈した。
今後支部行事として、支部活
動の活性化を目指し、平成卒の
校友メンバーの勧誘にむけての
秘策?をねっている。4月のス
プリングフェスティバルも鶴
見・城東・旭3支部合同で参加
します。
(幹事長 迫 匡)

最初は、阪急嵐山駅から程近
い「湯豆腐嵯峨野」で全10品か
らなる湯豆腐定食を頂きました。
がんも、温泉卵等次々とお料理
が出てきます。そしてテーブル
の真ん中には土鍋でグツグツ沸
騰している嵯峨豆腐が存在感を
示しています。有名な森嘉の嵯
峨豆腐を使っているだけあって
口当たりもまるやか、ふうふう
しながらあつという間にお腹の
中へ。ビールとお酒にこれが良
く合うんですよね。
お腹が一杯になったところで、

(徳野豊) 06-6912-9357
**嵐山で紅葉&湯豆腐
初の親睦企画を実施**
晴れ女3名のお陰でしうか
秋晴れに恵まれた11月27日、東
淀川支部(四宮貞男支部長 総
勢12人で嵐山ツアーを満喫して
きました。



お隣りの天龍寺へ。今年の紅葉
は特に見事で、夢窓国師による
庭園(曹源池)では記念撮影の
ラッシュでした。
最後は、天龍寺北門を出て竹
林の道を通り大河内山荘まで足
を延ばしました。緋毛氈の赤が
鮮やかなお茶席で、お抹茶と和
菓子を頂きしほしの休憩。
わきあいあいひたすら楽し
かった一日でした。次はお花見
を企画中。ゴルフ部会でもできま
すよ。
(岡田美由記)



(四宮住建) 06-6329-1757
**若手会親睦会開く
大半が平成年度卒**
大阪中央支部(伊藤晃充支部
長)では11月29日、天満橋の錦
城閣で若手会の親睦会を開催し
た。出席者は昭和41年卒の伊藤
支部長から今年卒の中清氏まで
21人。うち女性校友は2人、大
半は平成年度卒業生であった。



田中成人新会長を選任 山口県からの新人会員も出席

11月15日、関西大学会計人会（宮崎一也会長）は、多数の来賓と会員を迎えて、研修会、総会、懇親会を大阪キャッスルホテルで盛大に開催した。

第1部として、研修部主催による第12回認定研修会が2時間、総勢50人が参加して開催された。

乾杯のあと、美味しい中華料理に舌鼓を打ちながら全員がスピーチ。また景品をめぐる爆笑のうちにジャンケン大会。その後、場所を変えての2次会へと繰り出した。（広報 矢野 茂）
（ベル気付付 06-6881-1703）

今回の研修会のテーマは「大地の評価について」で、講師は校友である税理士の小寺新一先生。具体的な例をあげ、地図を示されながらの研修は実務に大いに役立つものであった。

第2部の定時総会には、寺内校友会長はじめ8人の来賓、5人の参加及び38人の会員を迎えた。宮崎会長挨拶の後議事に入り、役員改選など全議案が承認された。新会長には田中成人副会長が選任された。

記念撮影の後、第3部の懇親会へと場所を移した。廣瀬幹好副学長から祝辞をいただいた後、山田榮一参加の発言による乾杯で和やかに懇親会が始まった。

新入会員の紹介があったが、今回、山口県より松本直樹校友が駆けつけてくれた。応援団長でもあった松本会員のリードで逍遙歌を斉唱、懇親の輪は大いに盛り上がった。

（副幹事長 長谷川孝夫）
（田中成人税理士事務所 06-4400-7000）



日本型経営の真髄を見る 若手会主導の特別例会で

経済人クラブ（西村太一会長）

の第189回例会は、11月17日に若手会主導の特別例会として当クラブ幹事の栗原照次郎氏が経営する栗原製作所（大和郡山市）の本社工場を見学した。

同社は、鶏卵パックの専門メーカーとして、再生ペットボトルを利用し、シートからパックまでの一貫生産で「Q（クオリティー）高品質・C（コスト）低価格」・D（デリバリー）即納・V（バリエーション）多品種にこだわり各種製造をしている。

9時45分、現地に到着。栗原会長の歓迎を受け、整理整頓、清潔にされた1階ミーティングルームで会社の概要を聞き、シート工場、成型工場、バーコード工場、製品倉庫を2時間にわた

り見学。4500坪に繰り広げられる、人と機械の芸術的な組み合わせのラインは感動的であり、生き生きと仕事をする社員の姿を見て、オンリーワン経営の道を決断され、歩まれる栗原会長に、日本型経営を地でいくその真髄を教えていただいた。

昼食は、栗原会長を囲んで「Le BENCEI」の貴賓室で贅沢なフレンチをいただき、総勢24人で、楽しく、なごやかに懇談した。

帰路、「法隆寺」を見学。多数の仏像にふれ、一同、久しぶりに洗心された気持ちで夕刻帰阪した。（代表幹事 田合邦臣）
（校友会気付付 06-6368-0041）

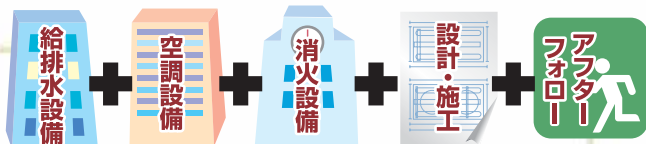
卒業67年、発足第33回 自負と誇りと感謝の総会

「やあ、元気です。」一年ぶりの再会に校友が声をかけ合い、手を取り合って、お互いの健在を喜び合う。関大一九会（土橋修会長 総会）は、11月11日に大阪堂島のANAクラウンプラザ・たん熊北店で開催した。

専門部1部商科を昭和19年9月に繰り上げて卒業して今年は67年目、関大一九会が発足して第33回の総会になる。

現在、会員は25人だが、すでに85〜86歳という高齢のため今年の出席者は4人に過ぎなかった。

快適で安全な空間創りをサポートする会社です。



株式会社 大阪城口研究所

〒530-0017 大阪市北区角田町2-15
TEL (06) 6372-7151

京都支店 神戸支店

た。だが今日まで続けて来た自負と誇りと感謝の総会だった。遠藤渉当番幹事から最近の校友の消息について詳細な報告があり、母校の更なる発展と校友

の健康を祈念して乾杯。懇親会は、極く内輪のなかなか雰囲気の中で時間の経つのも忘れるほど。なお、引き続き遠藤当番幹事

を煩わし毎年会員名簿を作成、全員に配布して相互の絆を深め「これからも元気でいる限り続ける」ことを申し合わせた。当日の出席者は、遠藤渉、釜

「関西大学マスコミ人会」再発足 復活総会で西村嘉郎氏を会長に選出

久しく活動を休止していた校友組織の「マスコミ会」が「マスコミ人会」として復活、新たな歴史に向かって力強い第一歩を踏み出した。

晩秋の11月25日、母校100周年記念会館で開催された

総会・懇親会には、平日の夜にもかかわらず100人を超える出席者があり、新聞・放送・広告などマスコミ各界で

活躍する校友諸氏の人材層の厚みとパワーを改めて感じる事ができた。大学からは上原理事長、楠見学長をはじめ多数の来賓が出席、今後の発展に大きな期待が寄せられた。

総会は、大学の中川広報課長が進行役を務め、一同で学歌斉唱の後、まず会長の選任について審議され、満場一致で西村嘉郎氏が選ばれた。



西村会長から「会員はもろんのこと、母校や学生の皆さんにとっても意義ある組織となるよう、努力していきたい」との抱負が述べられた。また、会の再建に多大な尽力をいただいた、日比野雅夫、内野広信、野下洋の各氏が紹介された。その後、会長のもとで議事が進められ、会則の改正などの議案が滞りなく承認された。

総会終了後の懇親会では、高岡秘書課長が司会を行い、寺内俊太郎校友会長の発声



で一同声高らかに杯を掲げ、会の前途を祝した。しばし歓談の後、最後に全員で逍遙歌を斉唱、お開きとなった。

次回総会は、校友会スプリングフェスティバルに合わせ、4月3日(日)に開催される。

本稿をご覧の校友の皆さまには、マスコミ人会の活動再開について、関係校友各位にご周知いただくなど、格別のご高配を賜りたく、この場をお借りしてお願い申し上げます。

「関西大学マスコミ人会」に関する照会は、関西大学広報室広報課(担当・中川)まで 電話06-6368-0007 kouchou@mlkanda.jp



下正純 山口英一、中川三郎の4人。
(当番幹事・遠藤渉)0595-65-0630 (中川三郎)

寺内会長を迎えて 懇親を深める

関大学部二十六年会(河合達朗会長)の22年度総会は、11月26日に大阪・肥後橋の徐園で開催。総員11人が出席して、懇親の実をあげた。

総会では、東浦副会長が「終戦の翌年に焼野原で茫然自失の中を関大に入学、エンピツ一本で勉学に励んだ仲間である」と感慨深く開会宣言した。

続いて、河合会長から「齢83歳を迎え、いよいよ来年は卒業60周年の佳節を迎える。夢のような人生航路である」と語り、



また各自に健康の自制を促した。その後、寺内会長からは「母校も創立125年を迎え、先輩のお陰で今日がある」と、今後とも母校のために大いに助言いただくように要望があった。役員の改選が上程され、現執行部に新人5人を加えた16人の改選人事を満場一致で承認した。

相互の懇親を主体とする懇親会は、東郷本部事務局長による乾杯の発声で開宴。在学中の武勇伝あり苦労話ありと戦後の関大の歴史を再現した貴重な逸話が続き、時を忘れてのひとときであった。(東浦栄一) (河合達朗)06-6781-1717

絆をテーマに教育問題を聴く

二大行事の一つ秋の総会で

10月22日、関大学部二十七年会(畑下辰典会長)の22年度総会を、肥後橋の徐園で、総員23人が出席して開催した。

高齢の学友が一堂に会して健康を確認できる秋の総会と、スプリングフェスティバルに協賛した家族会が年間の二大行事である。

総会には、来賓に本部から古川副会長はじめ、学友の法人顧問羽間氏を迎え、開会した。

議事では、事業ならびに収支決算の報告が上程され、承認した。

第2部では、校友で森友学園理事長の籠池靖憲氏を講師に招き、「日本人のDNAを研鑽す

る教育力」をテーマとする講演を拝聴した。幼児教育が如何に

大切か、家庭教育に運動する企画を含めた教育方針のもと、高き志、固い信念、強い実行力に

より日本人のDNAを呼び起こす幼稚園教育の実践を、映写を交えて解説され、迫力のあるインパクトのきいた講話を拝聴でき、心強いかがりであった。

第3部は、会場をかねて懇親パーティーに移り、羽間顧問のスポーツ談義に続いて、各チームからスポーツと国家試験についても合格率の向上に力点を

おいて推進することを強く求められた。

意見交換のあと、名誉教授田中昭平氏の発声で万歳を高らかに唱和して、散会した。

(畑下辰典
(畑下公認会計士事務所 06-6773-3871)

傘寿の同期生65人集う
3年前の喜寿の年に続き

本枯し吹く千里山学舎の校友・父母会館で、10月27日、二八会同期会を開催した。

前回、「喜寿の年」にちなんで3年前に開催してから、今回は「傘寿の年」になり80歳を各々迎えた同期生65人が集まった。



昭和28年卒業生は、総数2200人を超える大世帯で、昭和24年入学時は旧制大学予科、旧制専門部、第一高等学校をはじめ一般校、戦後浪人の入学等、多士済々の時代であり新制大学入学の第一期生でもある。

会合は、総会のはじめ司会者日根直人君の名調子で始まり、物故者に対する黙祷を捧げ、学歌斉唱後、代表幹事辻見重行君の経過挨拶にはじまり、体育OB会長小坂道一君の大学の近況やスポーツ選手の活躍等の披露に聞き入り、1部総会は終了。

第2部懇親会に入り、副代表幹事佐藤幸平君の乾杯で、久方ぶりの同期生は旧交を温め、残り少ない人生を語り、懐かしさと互いの元気を確かめ合い、今後の励ましと活力を続ける誓いを決意することに盃をかたむけ、最後に、同期応援団長河合

光熙君の音頭で逍遙歌を吟じながら、次なる再開を約し散会した。

(日根直人
(辻見重行 072-336-4316)

会長選出方法を改正 中華料理4卓で懇談

二九千里会(福岡剛会長)総会が、10月29日に京橋シャトー飯店で会員22人が出席して開催された。

学歌斉唱、物故者への黙祷、会長挨拶の後、議事では、事業・会計報告と監査報告、事業計画・予算案を承認。

会則の一部改正では、現行第8条の役員の選任方法を改正し、法文経商の持ち回りの現状では会長選出は無理なので、学部にとらわれず選ぶことにした。



制御盤配電盤製作・計装、電気工事

ISO 9001:2008 本社のみ取得 cert No:CI/1275



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
〒177-0033
東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyouei-d.co.jp>

東京営業所
及工場

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!

関大生割引あり 一度お電話ください。

プライダル ナカノ TEL 06-6702-8624

ホームページ <http://www.bridal-nakano.com/index.htm>

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子

MESA 経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員



関西大学校友会の皆様へ



信頼の結婚情報サービスは
楽天グループの
オーネットです。

♥ オーネット 特別プラン ♠

入会時お支払い金額

入会金+活動初期費用

99,800円

通常入会より1万円お得!

+

活動費月額

あんしんの定額制

13,965円

成婚料はいただきません。

基本サービス

- ◆ パートナー候補を定期的にご紹介
- ◆ 月刊会員誌に自己紹介を掲載
- ◆ 担当アドバイザーがバックアップ

さらに 人気オプションを追加!

- プロカメラマンが写真撮影
- 写真検索システム登録と利用
- 写真検索システムのご利用

お問い合わせ・資料請求

フリーコール AM 10:00~PM 6:00

0120-512-556

メール join@onet.co.jp
ホームページ http://onet.jp



株式会社 **オーネット**

10 0002 (01) 結婚相手紹介サービス協会会員 Marriage partner introduction service association あなたの個人情報を厳守します。

懇親会では中華4テーブルに分かれ、なごやかに懇談、逍遙歌で終わった。
(福岡 剛)

(水野富蔵) 072-922-0864

錦秋の湖南路に古刹を巡る

総会後は吟詠や手品楽しむ

関大大阪倶楽部(畑下辰典理事長)の22年度秋の総会は、11月28日に開催。総勢38人が参加して盛大な集いとなった。

鬼門鎮護の中心寺院として栄えた天台宗の古刹が今に現存する「湖南路」を訪ねて、国宝の寺院建築並びに仏像の鑑賞を楽しみ、晩秋の紅葉を賞でて、一日を清遊した。



高速道路も渋滞なく、定刻に三か寺のトップ「常楽寺」に到着。寺僧の出迎えを受けて、国宝の入母屋造・松皮葺の本堂や三重塔の縁起を拝聴し、また重文の風神・雷神の二十八部衆や釈迦如来の仏像を鑑賞し、且つ深紅の紅葉に彩られた全貌に圧倒された。

最後、「善水寺」では老僧の法話を拝聴し、また寺の縁起と国宝の本堂の建築構造の委細など、得難い逸話に接することができた。



午後4時に帰途についたが、車中ではもっぱら「関西学生アメフト開戦」のテレビ観戦に全員が一喜一憂する内に、無事帰阪した。
(校友会気付) 06-6368-0041 (藤本道人)

「復活!その日の為に」

2部応援団変遷史が完成

必ずや何らかの形で復活し、二部学生の課外活動も活発になる」との力強い予言に一同大拍手。会員一同もその日のために、今後の長柄会活動を行こうと意を決したのである。

宴は続き、現役チアリーダー、イングサークル「クレアーズ」、OBバンドによる演奏が行われ、途中、寺内校友会長がマイクを取り「応援歌」、「学生歌」を歌い上げるハプニングが起こり、会場全体が拍手の渦に巻き込まれた。

この後、クレアーズの司会によるビンゴゲーム大会では、豪華景品を楽しみに大いに盛り上がった。また、本年は第65回総会時に発行を決議した「関西大学二部応援団変遷史」が完成し、出席者全員に配布された。



午後1時、京阪本線「丹波橋駅」に集合。駅から10分、平安京遷都を成された天皇として有名な桓武天皇陵（柏原陵）に到着。次は、明治天皇とそのお后、昭憲皇后が葬られた伏見桃

**伏見の酒と寺田屋訪問
13回目の秋季親睦会で**
天六同友会（寺岡源司会長）の秋の行事として定着した秋季親睦会。第13回目は10月24日に会員やその同伴者26人が参加して行われた。

来賓を始め、多数の会員より「大変立派なものができたね」との褒めの言葉をいただいた。最後に、今後の益々の活動を誓って、第50代団長山村浩一の指揮により、出席者全員が肩を組み合って逍遙歌を歌い、安川数一副会長の閉会の辞にてお開きとなった。（副会長 高一弘）
（中村司法書士事務所・中村博 06-6705-5678）

**留学生2人を招待
再び、文案を楽しむ**
珠玉の演目を揃えた「錦秋文楽公演」を11月14日、総勢34人で鑑賞。終演後は舞台裏を見学した。
女子秀麗会（仁井ひろみ会長）が、一昨年より取り組んでいる

山陵。至近距離に、京都へ都を遷した方と、京都から東京へ都を遷した方の陵墓が隣り合うかのように祀られているのが、少し不思議な感じがする。
陵から坂を下って少し行くと乃木神社。乃木希典を祀る境内には、山口県長の府から移築したという、旧宅があり、あまりの質素さに驚かされる。
伏見地区に入ると、「龍馬伝」の影響で、龍馬通りも、寺田屋も人であふれかえっていた。月桂冠大倉記念館では、月桂冠と母校関西大学とで共同企画したミナラルウォーター「自然の秀麗」を売店で発見し、今日の記念にとペットボトルを買い求めた。
黄桜酒造の直営店、キザクラ

カップカントリーで本日の締めくくった。レストランお勤めのお地ビール、当然、料理に合うお酒もたっぷりいただき、親睦も十分に図ることができた一日だった。
（天野雅司）
（石井公認会計士事務所 06-6364-6816）

事業「楽塾」は、会員の交流の機会を増やすことで、さらなる親睦を深めるのが目的。旅行、講習会、講演、鑑賞などを企画・実施してきたが、中でも「文楽鑑賞と舞台裏見学」が好評で、この日は第二弾の開催となり、岡山県や滋賀県からも参加があった。
今年は大国際部にご提案し、留学生を2人招待した。予想を超える多数の応募だったそう。抽選で河スルギさん（高麗大学からの交換留学生）、台湾の呉雅鈴さん（文学部2回生）が選ばれた。日本の伝統芸能に触れ、また女子秀麗会の活動を知っていただく良い機会となった。さらに、文学部1回生・広重さんの参加もあり、先輩・後輩の「わ」がいつもより大きくなった。

浄瑠璃や三味線方の迫力、人



形遣いの見事さが三位一体となった素晴らしい舞台と、その舞台を支える裏方さんの、伝統技術が冴える仕事の場を身近に見て、一同、感動と大満足の日となった。（副会長 西野京子）
（仁井ひろみ 06-6925-1821）

**宝塚支部と連携事業
「葦水」寄席大盛況！**
11月6日、宝塚商工会議所において、宝塚支部と共催の「葦水（いすい）寄席」が開催された。50人の参加者があり、大盛況であった。
今回、葦文会（中瀬和夫会長）としては、初の地域支部との連携事業である。

事業を行うときは、何事もスムーズに進むとは限らない。今回も広報等がうまくいっておらず、参加者がほとんどいないのではいかという懸念があった。このことが、朝早くから宝塚支部、葦文会が協力し、ピラ配りを行うという共同作業を行うことで一体感を生むことになり、参加者も予定人数を確保できた。

葦文会としては、こうした事業や経験を通じ、地域支部と交流を図り、社会貢献を行っていく最初のステップになったものと思う。（幹事長 三坂友章）
（三坂登記事務所内 090-



人生のパートナー
一緒に探しませんか。

関西大学女子秀麗会
結婚相談所 URARA

（関西大学女子秀麗会は、学部や年代を超えた女子校友だけの親睦の会です）

■お問い合わせ 〒534-0021 大阪市都島区都島本通1-2-22 仁井ひろみ方 TEL (06) 6925-1821 FAX (06) 6925-1823

☆相談日と相談時間 毎月第1・第3土曜日 午後1時～4時
（但し、受付は午後3時30分まで。1月第1、8月第1・第3土曜日は休み）

☆場所 関西大学天六キャンパス
地下鉄谷町線、堺筋線「天神橋6丁目」駅下車、⑤号出口徒歩約5分

☆申込資格と費用

- 申込金
 - ・女子秀麗会会員およびその子弟……………20,000円
 - ・校友会会員およびその子弟……………30,000円
 - ・校友会会員の責任ある紹介を受けた人……………30,000円
- お見合いの際 1回につき5,000円（双方から、お茶代を含みます）
- 婚約成立の際 30,000円（双方から） ●継続更新の際 5,000円（3年毎）

平成21年度

1級建築士設計製図試験

合格者占有率 全国 No.1

平成21年度も、全国の合格者の半数以上が、当学院の受講生でした。

設計製図試験合格者 全国 5,164 名中 当学院合格者 2,767 名

平成21年度 1級建築士設計製図試験 全国合格者占有率

V2達成

53.6%

全国主要都市でも軒並み6割以上の合格者占有率を達成

宮城県 合格者占有率 62.4%	東京都 合格者占有率 63.3%
宮城県合格者85名中 当学院合格者53名	東京都合格者1,189名中 当学院合格者753名
神奈川県 合格者占有率 65.2%	埼玉県 合格者占有率 62.6%
神奈川県合格者541名中 当学院合格者353名	埼玉県合格者305名中 当学院合格者191名
愛知県 合格者占有率 69.0%	三重県 合格者占有率 60.8%
愛知県合格者348名中 当学院合格者240名	三重県合格者51名中 当学院合格者31名
岐阜県 合格者占有率 66.7%	香川県 合格者占有率 62.5%
岐阜県合格者69名中 当学院合格者46名	香川県合格者32名中 当学院合格者20名

関西大学

平成21年度 1級建築士 49名中 関西大学卒業合格者

総合資格学院 32名合格 講習利用合格者

関西大学 合格者占有率 65.3%

平成21年度も多くの関西大学卒業生の方が当学院講座を利用して合格されました!

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※卒業大学合格者数、都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表による。平成21年12月18日現在

開講講座

1級・2級建築士

宅地建物取引主任者	1級・2級建築施工管理技士
インテリアコーディネーター	構造計算コース(実務講座)

株式会社 総合資格
(社)日本建築学会会員
(社)全国産業人能力開発団体連合会会員
株式会社 総合資格学院法政講習センター
国土交通大臣登録講習機関

監理技術者講習実施機関 登録番号7
宅建登録講習機関 登録番号(2)第009号
宅建登録実務講習実施機関 登録番号(2)第5号
一般建築士定期講習 登録番号 第5号
二級建築士定期講習 登録番号 第4号
管理建築士講習 登録番号 第2号

今すぐウェブ検索 総合資格 <http://www.shikaku.co.jp>

ケータイサイトも充実 <http://gakuin.jp>

30th Anniversary 総合資格学院

学院長 岸 隆司 (法48卒)

梅田校 TEL.06-6374-1411	神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911	姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211	京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511	草津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311	奈良校 TEL.0742-30-1511
尼崎校 TEL.06-6430-6811	

5158—7259)
<http://www2.kandai-koyukai.com/al/jbunkai/>

年一度の会合楽しむ「来年も元気で会おうな!」

第7回昭和38年卒体育会・応援団同期会が11月6日、がんこ阪急東通り店で開催された。嬉しい事に、住所不明だった一人の初参加者が出た。中川恒民君(拳法部)だ。この彼を含め、今年も元気で参加できたことを素直に喜び合った。

年々参加者が絞られ、20人程度となったが、年一度の会合が待ち遠しい面々である。

岩田君(柔道部)の乾杯で開会、例年の如く体育OB会常任理事の女川君(射撃部)から22年度の体育会の各クラブの活躍の報告があった。母校の各クラブの活躍を紙面で目にし、また耳にする時、心から率直に嬉し



いものだ。

他の大学は、学業もさることながら、文武両道の面から部活動にも学校挙げて取り組み、実績や実力のある選手の獲得に奔走しているようである。関大も他校に遅れることのないようお願いしたいと思う。

我々もとうとう古稀を迎えた。「みな健康に気を付けて、来年も元気で会おうな!」誰と無く言った言葉を心に留め散会した。(硬式野球部 草川雄二)



現役との合同総会開く 来賓に中馬弘毅会長ら

ユネスコ研究部OB会(東浦栄一会長)は、11月28日、現役との合同総会を徐園で開催した。

東浦会長の開会挨拶の後、来賓の大阪ユネスコ協会中馬弘毅会長、同じく武田暢樹事務局長に挨拶いただいた。

その後、食事をほさんで、現役による本年度の合宿と外国人

OB・OG156人が熱戦 空手道部が団体優勝

体育OB会(小坂道一会長)のゴルフ大会が、10月21日に愛宕原ゴルフ倶楽部で開催された。

法人から上原理事長、森本相談役、校友会から古川副会長を迎え、友好団体のスポーツマンクラブ、応援団OB千成会、応援団OB長柄会、天六同友会と各部OB・OGら156人が熱戦を繰り広げた。

ゴルフだより

留学生と楽しむ伊賀上野におけるインターナショナルキャンプの活動紹介の報告があった。

なお、東浦会長は挨拶の中で、「国際的に政治、経済は対立が多く発生するが、教育、科学、文化を通じて、心の内に平和の砦を作るユネスコ精神の伝



道者として、文化国家建設を志す原点に立ち前進したい」と述べ、中馬会長からは、「大阪ユネスコ協会は、会員が大阪の企業会社であるので、会社見学等、学生諸君が利用してください」とのお言葉をいただいた。

(東浦栄一・桑原瑞貴)

プレー終了後表彰式が行われ、小坂会長の挨拶、来賓を代表して上原理事長、森本相談役に挨拶をいただいた。

続いて成績発表が行われ、団体戦は空手道部が、個人戦は千成会の生澤万琴氏が優勝を飾り、生澤氏に森本杯が贈られた。団体戦2位は千成会、3位は漕艇部、個人戦2位は水本武氏、3位は竹中壽郎氏だった。

また、西コース6番のショートホールにおいてホールインワンを達成された高田勝三氏に記念品を贈った。 (西田幸弘)

(北川俊治) 072-201-1678

第1回ゴルフ大会を開催 長島氏が初の栄冠に輝く

小野支部 (西尾英昭支部長) は、昨年2月に設立された新しい支部です。

新たな事業を模索する中で、4月に関西学院大学校友会北播磨支部とゴルフの交流戦を行い、わが小野支部が圧勝したのを機に、11月23日の祝日に市内の小野グランドゴルフクラブで支部会員の親睦を目的に第1回のゴルフ大会を開催した。

当日は、36歳から77歳まで幅広い年齢層から、また、校友である蓬萊小野市長にも参加いただき14人4組で実施。前日までの雨もやみ絶好の天気と思いきや、北風が強く吹き、参加者は大変苦戦を強いられた。

結果、市内でラーメン店「らんめん」を営む長島実さん(昭56



学商) が、隠しホールのハンディを味方につけ見事優勝。準優勝は長谷川弘道、3位は小林昌彦の各氏。

表彰式では、西尾支部長から、「今後も各種親睦事業を開催していきますので、支部活動そのものをお互い共通の楽しみにしましょう」と挨拶があった。その後、自己紹介やブレイの反省等で親睦を深め、次回開催時の健闘を誓いあった。

(幹事 小林昌彦)
(西尾英昭) 0794-63-1133

団体戦優勝は箕面支部 9支部から51人が参加

関大阪神ゴルフ会が川西・箕面支部が幹事支部となり、11月17日に滝野カントリー倶楽部(迎賓館コース)で開催された。

阪神間の9支部から51人が参加して、好天に恵まれ紅葉も鮮やかな中、和気あいあいの楽し



一日を過ごした。

団体戦は各支部上位3人のネット合計で、優勝は箕面支部、準優勝は猪名川支部、3位は川西支部で、藤元阪神会会長から優勝カップと賞品が授与された。

また、個人戦は優勝・大西幸士郎氏(箕面)、準優勝・和田浩一氏(箕面)、3位・鷲見彰治氏(宝塚)だった。

(川西支部ゴルフ愛好会代表幹事 山下清景)

平成卒、女性メンバーも参加 紅葉の好日、好プレーを楽しむ

神戸支部(齋藤富雄支部長)は11月3日、三木セブンハンドレッド倶楽部で第37回ゴルフ親睦会を開催した。今回は祝日開催ということもあり平成卒8人(女性2人)はじめ多くの初参加者を含め42人が集い、プレーを楽しみ、無事全員ホールアウト



した。

プレー後はコンペルームで表彰式、親睦会。優勝はネット69の見事な成績でドラコン賞とともに絶好調の工藤昌宏氏(昭54工建)が獲得、2位は佐和美徳氏(昭44商)、3位はベスグロ82の今中寛氏(平9商)であった。

(常任幹事 大倉敏郎) 昭57社
URL <http://www2.kandai-koyukai.com/al/kobe/>
メール kul86@nifty.com
東光商会気付 FAX 078-453-2171

支部にゴルフクラブ結成 第1回優勝は沖利男氏

富田林支部(杉多弘至支部長)では、新たに結成されたゴルフクラブの第1回親睦ゴルフ大会を11月8日、奈良県吉野カントリーにおいて開催した。参加者は13人。杉多支部長か



毎日

スタート&ダッシュ

あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

お客様のご要望にお応えべく、確かな技術の中から最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。お届けするのは、印刷ソリューション。そのために、情報も対応も、より速く的確に。いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ! 私たちは東洋紙業です。

印刷で人と時代をコミュニケーションする

東洋紙業株式会社

大阪本社: 〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111
東京本社: 〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111

www.toyo-s.co.jp



ら寄贈された特大の「優勝トロフィー」をめざして日頃から鍛えた力と技を競い合った。

18ホール、熱戦の結果（ダブルペリア）、優勝は沖利男氏。「優勝なんて思ってもいなかったが、初回に優勝の栄冠とは嬉しいかぎり」と満悦の面持ちだった。準優勝は筒井孝一氏、3位は桂山恵次氏だった。

現在、入会者は25人。次回開催は5月の予定。（筒井孝一）
（野島 努）0721-23-3190

大倉副支部長が優勝 ゴルフ部長の面目躍如

吹田支部（奥谷英夫支部長の第38回親睦ゴルフ大会が、10月24日に愛宕原ゴルフ倶楽部で開催された。

初参加1人を含む12人の参加者はゴルフ日和のなか、大会の趣旨のとおり和気あいあいと親睦を深めつつプレーを楽しんだ。結果は、大倉幾三郎副支部長



が優勝、ゴルフ部長の面目躍如となった。2位は石岡平八氏（59院工）、3位は生田圭一氏（43学経）。

詳細は支部ホームページ（<http://www2.kandai-kyotuka.com/al/suita/>）で
（副幹事長 渡邊善孝）
（日隆産業）06-6329-4424

大和の名門コースに挑む 田中忠明氏が優勝

第9回会計人会（石井國男会長）ゴルフ大会は、10月15日にディアーパークゴルフクラブで



開催された。

参加者10人が平城京遷都1300年の記念すべき大和の名門コースに挑み、果敢にプレーした結果、ネット73・20のスコアで田中忠明氏が優勝を飾った。交通安全のためノンアルコールの会食であったにもかかわらず

校友トピックス 刀匠の河内國平氏が 「現代の名工」に認定

刀匠である河内國平氏（かわち・くにひら）昭41学法）は、平成22年度の栄えある「現代の名工」（厚生労働省主催・卓越した技能者）に認定された。

この朗報は、テレビ、新聞で報道され、既に多くの校友の方にはご存知のことと思います。

早速、お喜びの奥様に伺いました。実は、4月の東京・銀座での個展開催準備で大わらわの真只中に、奈良県から「現代の名工へ推薦したいので、至急書類を整えて欲しい」旨の連絡があり、

二重の大変な作業となりましたよ、と述べ懷かれた。

銀座の個展は

ず、成績発表は大いに盛り上がり、さらに今後のコンペの開催についても貴重な意見交換ができて有意義な時間を過ごした。成績は、2位＝井筒潮、3位＝宮崎一也（幹事 福田（田中成人税理士事務所）06-4400-7000）

大盛況裡に終了され、続いての関大校友総会での講演も、事前に2度も母校に下見に来られる熱意の結果、大好評を博し、多くの来場者を魅了されていたことは記憶に新しい。

河内ご夫妻には、この余韻の冷めぬ内の、今回の吉報でした。刀匠として、長年の業績が評価され当然の受賞です。河内ご夫妻、ご家族、河内一門の喜びはもちろんのこと、私達ファンにとっても無上の喜びです。

しかし、奥様は冷静な口調に改められて「これから来年に向け、しっかりと刀作にかかります」との言葉は、この喜びに浮かれることなく、次の大目標を目指しているとの頼もしい思いが感じられた。



朝日新聞・11月10日版

今後一層のご精進とご活躍を心から期待し、祈念しております。

（校友会副会長 田中義昭）

新刊



吉田實男（昭44学法）著
『商家の家訓
～経営者の熱きメッセージ～』
清文社 刊
定価3150円



「戦後65年、日本人の『矜持』はどこへ行ったのか」、本書のあとがきに記された一文である。本書は、関西大学法学部から大阪国税局という納税者と最も身近に接する組織に長く勤められた著者が、日本の誇るべきかつての経営者のこころざしを丹念にまとめ上げられた

ものである。

資本主義経済という名のもと、日本的な経営のもとでその先頭を走ってきたとも言えるわが国は、「グローバル化」の中で大きく転換してしまった。マネーゲーム、資金力にものを言わせた買収、さらにはさまざまな偽装問題と、現代の経営はさまざまな問題を露呈してきた。今日改めて、大きな転換を迫られており、新たなリーダーとしての再出発の道を模索している。

著者は、その転換のヒントを日本の商家に伝わる「家訓」に求める。それは、単に「商い」の継続・発展を支えた経営哲学にとどまらず、日本の精神性ともいえる核心を内包する。「出精専」(商売一筋に精を出して働く)、「不易流行」(変えてはいけないものと変えてもよいもの)、「陰徳善事」(社会などへの報恩)等々、本書に紹介されている24人(家)の商家の家訓には、経営の、あるいは人の生き方の原点が記されている。

本書は、目先の利益のみを追い求めて、「商い」の本質を忘れた企業に警鐘を鳴らし、200年、300年…と続く企業を作り上げてほしいという著者の切なる願いが込められている。

(経済学部 林 宏昭)

城島 充(平元学文) 著

『にいちちゃん』

ランドセル

講談社 刊

定価1200円+税



この本は、講談社発行「世の中への扉」シリーズの1冊として書かれている。「本当にあった〈出来事〉に心震わせ、〈自然〉の驚異と美しさに心奪われ、人々の暮らしが息づく〈社会〉に心開かれる。そんな事実(ノンフィクション)だけが持つ直球の感動をとどけます」とある。小学校高学年でもよく理解できるように文体は平易、漢字にはルビが振られ、「ですます」調で書かれている。

著者の城島充さんは、新聞記者から司法キャップを務めたあと、作家として活躍中の人。すでに、かつての卓球の名手・荻村伊智朗の伝記『ピンポンさん』(講談社刊)出版の際にも本誌第544号で紹介された平成元年文学部仏文学科卒業の校友である。

心を震わせる本にあった〈出来事〉として、平成7年1月17日に発生した阪神淡路大

震災の前日の、平凡であるが暖かく平和な家庭の様子から、このノンフィクションのページは始まる。

夫婦、兄妹2子の4人家族の米津家では、1月16日、子どもたちが手伝って翌日のごちそうを作った。それはミンチカツとカレーライス。そして、学校の時間割に合わせた教材をランドセルに入れて眠りについた。こうして震災の大惨事に巻き込まれて、漢之(くにゆき)くんと深理(みり)ちゃんは今を落とし、母好子さんもまた腰部複雑骨折の重傷を負うという大暗転に遭遇した。やがて被災地跡の瓦礫から祖父の手によって漢之くんのランドセルが発見された。その中には先生との文通ノート「先生あのね」も入っていて、写真版で掲載されたその数ページをみると、調理を手伝う楽しい雰囲気は活写されていて、読む者の涙を誘う。母好子さんも、重傷で教会に救出されながら必死で家族の無事を祈った。

大要は、こうして震災で起こったいろいろな事象をこまかく、分かりやすく書いていて、米津家の家族を中心とした、詳細な震災の下ドキュメントになっている。

好子さんが回復し、やがて米津家は英(はんな)ちゃんと凛(りん)くん、2人の姉弟に再び恵まれることになった。そして凛くんが小学校に入学すると

き、「ぼく、おにいちちゃんのランドセルを使う」といって、いつまでも手元に残しておきたいと思っていたお父さんを、一瞬、逡巡させた場面など、家庭の、そして親子の、暖かく強い絆を改めて感じさせた。

家庭崩壊といった世情がマスコミを賑わせ、ぎすぎすとしたニュースが多い昨今、この本に巡り会えたことは僥倖であった。あの日から16年、大震災は自然の恐怖と犠牲を代償にして私たちに熱い家族愛と絆の大切さを教えてくれた。ここに著者にお礼を申し上げて、本書を紹介したい。

(石田健一)

日経BPMツック

「変革する大学」シリーズ

「関西大学

2011~2012年版

強さは『考動力』

日経BPCONSALTING 刊

定価 1200円



社会がいま、大学に求めているものとは何か。大学全人時代を迎え、多くの大学が生き残りをかけて自己改革に取り組んで

いる。教育・研究の両面で質的向上を競い合い、積極的に「個性」「独自性」を打ち出すことが社会的評価となり、大学の自立性・自主性へとつながっている。

大学・大学院は社会の公器である。その社会性ゆえに、「改革」の様子を幅広いステークホルダーに積極的に発信することが求められている。「変革する大学」シリーズは、USR (University Social Responsibility) 的観点から「大学のいま」をリポートするものだ。

関西大学は2011年に創立125周年を迎える。学生数3万人を誇る、私学では国内屈指の総合大学である。長き伝統とともに、今もたゆまぬ発展、革新を続ける。その基軸が2008年に策定した長期ビジョン「KU Vision 2008~2017」である。本書では「『考動』する関大人が世界を拓く。」をキーワードに、その高い研究レベルを活かし、さまざまなフェーズにおける「連携」を核に変革を続ける関西大学の姿を紹介。関西大学の現在と未来がわかる内容となっている。

本書で多くのページを割いて紹介している、教育・研究成果は、概要説明に終始するのではなく、研究そのものの魅力に迫っている。教育面でも、その取り組みをリポートすることで、これまで多彩な人材を社会

に輩出してきた理由が垣間見える。また、2010年に新たに設置した堺キャンパスや高槻ミュージアムキャンパスも紹介。人間健康学部や社会安全学部といった新学部の特徴も盛り込んでいる。

受験情報に縛られず、ビジネス・メディアの視点で大学の内部を多角的に詳細に分析することで、外からは見えにくい関西大学のブランド力が見えてくる。

お悔み申し上げます

(敬称略)

速水音彦(はるみ・おとひこ)昭40
学経、元東洋ゴム工業勤務、平成
22年2月5日死去。67歳。龍ヶ崎
市。

中西正和(なかにし・まさかず)昭
23専1経・25学経・28M経、祥碩
堂代表取締役会長。3月23死去。
83歳。奈良市。

桑井正雄(くめい・まさお)昭27学
法、元岡山グランドホテル代表取締
役。4月12日死去。82歳。岡山市。

西隈英治(にしくま・えいじ)昭27
学法。4月15死去。81歳。宝塚市。

中尾正博(なかお・まさひろ)昭44
一高・49学経、花王化粧品販売
4月17日死去。60歳。東大阪市。

増田耕造(ますだ・こうぞう)昭26
学経、元阪和銀行取締役。6月11
日死去。84歳。和歌山市。

広橋孝太郎(ひろはし・こうたろ
う)旧姓坂口。昭16専2法・21大
法。7月6日死去。92歳。神戸市。

宮内敏光(みやうち・としみつ)昭
40学商、宮内善進堂代表取締役、
元校友会常議員・代議員。7月18
日死去。71歳。豊中市。

茶谷静夫(ちやだに・しずお)昭41
M法・45D法、元関西大学経済・
政治研究所事務局長補佐。7月24日
死去。70歳。京都市。

吉川尚文(よしかわ・なおふみ)昭
45学文、元大阪市職員。7月26日
死去。64歳。吹田市。

打田兆民(うちだ・よしたみ)昭29
短大・31学法、元大草郵便局長。

8月13日死去。77歳。三原市。
松田行善(まつだ・ゆきよし)昭33
学商、松田タバコ店主。8月19
日死去。77歳。相生市。

藤本博己(ふじもと・ひろみ)昭34
学商。9月16日死去。74歳。小平
市。

平野喜八郎(ひらの・きはちろう)昭
16大予2・18大経、元各務原市
長。6期24年、元校友会代議員。
10月24日死去。90歳。川崎市。

国井秀明(くにい・ひであき)昭29
学経。10月28日死去。79歳。大阪
市。

岡崎 寛(おかざき・さとし)昭33
学経、元本州四国連絡橋公団勤務、
元岡山支部幹事。10月29日死去。
76歳。岡山市。

大橋 博(おおはし・ひろし)昭9
専2商、元日産チェリー大阪販売社
長、元自動車関連大会会長、元校友
会代議員。11月2日死去。96歳。
町田市。

井田千治(いだ・せんじ)昭22専1
法・25大法。11月4日死去。83歳。
宝塚市。

藤井達雄(ふじい・たつお)昭44学
法、元太産業代表取締役社長、和
泉支部支部長。11月7日死去。63
歳。和泉市。

松野 精(まつの・まこと)昭34学
商。11月16日死去。75歳。富士見
市。

今村 守(いまむら・まもる)昭32
学経、元建販代表取締役社長、元
富山県支部支部長、元校友会代議
員。11月21日死去。77歳。砺波市。

角田慶太(すみだ・けいた)平6学
商、大関勤務。12月2日死去。40
歳。横浜市。

会と催し

掲載は、組織名、開催日時、場所
(会費、連絡先・電話番号)の順。

【本部関係】

- ▷平成23年校友会新年互礼会 23年1月15日(土) 午後6時 新阪急ホ
テル
- ▷第8回常議員会 2月22日(火) 午後6時半 千里山キャンパス・校
友会会議室
- ▷第96回定時代議員会 3月26日(土) 午後1時 千里山キャンパス・
100周年記念会館
- ▷第27回支部対抗親睦ゴルフ大会 5月24日(火) 小野グランドカ
ントリークラブ
- ▷第97回定時代議員会 6月11日(土) 午後1時 千里山キャンパス・
100周年記念会館

【地域支部】

- ▷西成支部年賀交歓会 1月9日(日) 午後3時 玉出生根神社(吉村
健治=06-6661-5325)
- ▷住吉支部総会 1月10日(祝) 午前10時半 住吉大社(野村建治=
06-6697-9655)
- ▷滋賀支部総会 1月16日(日) 午後2時 大津プリンスホテル(8千
円。笠井清充=077-552-3229)
- ▷岡山支部新年会 1月16日(日) 午後5時 アークホテル岡山(講
演・岡山地方検察庁検事正・大仲士和氏=48学法。7千円、平成卒
と女性、家族は5千円。ユアーズコンサルティング=086-250-5592。
同日、岡山金陵CCで第50回親睦ゴルフ大会、両備ボウルで第15回親
睦ボウリング大会も開催)
- ▷山口千里会総会 1月22日(土) 午後6時半 山口グランドホテル
(北乗吉道=0839-86-2626)
- ▷東住吉支部総会 1月23日(日) 午後1時 楓林閣(飛翔法律事務
所・中村潤一郎=06-6691-7185)
- ▷静岡支部総会 1月23日(日) 午後1時 静岡駅北口・ホテルアソシ
ア静岡(山口健一=054-245-2854)
- ▷神戸支部新年互礼会 1月29日(土) 午後4時 神戸東急イン(昭和
卒7千円、平成卒5千円。東光商会=FAX078-453-2171、ku1886
@nifty.com)
- ▷愛媛支部総会 1月29日(土) 午後6時 松山市・いよてつ会館(稲
荷和重=089-956-1869)
- ▷河内地区11支部平成23年新年互礼会 1月29日(土) 午後6時半
フェイセスゲストハウス月花(富田林支部・野島 努=0721-23-
3190、平野支部・田中義信法律事務所=06-6316-0348)
- ▷千葉支部設立30周年記念新春総会 2月5日(土) 午後4時半 JR市

- 川駅北口・SUN CITY(アイズ・オブ・マインド、青山誠=03-
3662-7710)
- ▷芦屋支部総会 2月5日(土) 午後5時半 JR芦屋駅北・ホテル竹園
芦屋(依藤健史=0797-23-7004)
- ▷東京支部新年総会 2月19日(土) 午後1時 関西大学東京センター
(関東雇用創出機構=03-6832-7500)
- ▷埼玉支部総会 2月20日(日) 午後1時 さいたま市民会館うらわ
(高木良二=048-882-7753)
- ▷大阪市内支部連合会総会 2月24日(木) 午後6時半 帝国ホテル
(1万円。辻佐一郎=090-1670-9463)
- ▷神奈川支部新春総会 2月26日(土) 午後2時 東天紅・横浜店
(有)ダイケイ=050-1063-9660)
- ▷東予千里会総会 2月26日(土) 午後3時 伊予三島駅徒歩15分・ホ
テルグランフォーレ(1万円。定岡土地家屋調査士事務所=0897-32
-9767)
- ▷南勢支部総会 2月27日(日) 午前11時半 松阪フレックスホテル
(時田耕路=0598-26-7209)
- ▷神戸支部ゴルフ親睦会 4月19日(火) オリムピックゴルフ倶楽部
(2千円+プレーフィ1万2千円。東光商会=FAX078-453-2171、
ku1886@nifty.com)
- ▷神戸支部総会 6月17日(金) 午後6時半 ホテルオークラ神戸(昭
和卒1万円、平成卒7千円。東光商会=FAX078-453-2171、
ku1886@nifty.com)
- ▷八尾支部総会 6月18日(土) 午前11時 八尾市文化会館・プリズ
ムホール(中尾達夫=072-998-3526)
- ▷堺支部設立70周年記念総会 6月25日(土) 午後4時 リーガロイヤ
ルホテル堺(鍋島均=072-998-3526)
- ▷城東・鶴見・旭3支部合同総会 6月25日(土) 午後6時半 天満
橋・大阪キャッスルホテル3階・錦城閣(鶴見支部・迫 匡=06-
6961-7363)

【職域会ほか団体】

- ▷社会学部同窓会新年懇親会 1月22日(土) 午後1時 新大阪ホテル
(5千円。社会学部同窓会事務局=shagaku07@yahoo.co.jp)
- ▷社会保険労務士関大会新年会兼合格祝賀会 1月22日(土) 午後5時
日本橋・鳥よし本店(7千円。永盛労務事務所=06-6170-4864)
- ▷体育OB会総会 3月12日(土) 午後2時 千里山キャンパス・BIGホ
ール100(北川俊治=072-201-1678)
- ▷天六同友会総会 6月18日(土) 午後3時半 千里山キャンパス・校
友会会議室(石井公認会計士事務所=06-6364-6816)



弁護士
網本 浩幸
あみもと ひろゆき

アイマン総合法律事務所 代表

新居労務管理事務所

社会保険
労務士
新居 勝美

豊中市曾根 南町一丁目二二一八
電話 ○六六八八二二二一
電 話 ○六六八八二二二一
FAX ○六六八八二二二一

香川県弁護士会

生田法律事務所

弁護士
生田 暉雄

高松市錦町二丁目四二二一
電話 ○七六〇一〇二〇
FAX ○八七二二二二二〇
FAX ○八七二二二二二〇

石井公認会計士事務所

公認会計士
税理士
石井 國男

大阪府北區堂山町十八番三三
電話 ○六六三六四一六八

中山・石村法律事務所

弁護士
石村 太郎
(昭和42年一部法学部卒)

山口市春日町二丁目六六一一
電話 ○八三二二二二二二
FAX ○八三二二二二二二

和泉司法書士事務所

司法書士
和泉 克弥

枚方市宮之阪一丁目二二一八
電話 ○七二二二二二二二
FAX ○七二二二二二二二

弁護士
一軸 浩幸

司法書士

市田 利夫

〒540-0031 大阪市中央区天満橋南町三丁目三番二八号
電話 (〇六) 六三三三三三三三
FAX (〇六) 六三三三三三三三
E-mail: jstchida@gold.ocn.ne.jp
HP: http://www.office-ichida.com

税理士
稲崎 清

〒540-0031 大阪市中央区天満橋南町三丁目三番二八号
電話 (〇六) 六三三三三三三三

日本司法書士会連合会 副会長

司法書士
井上 利博

(簡裁代理認定) 一三〇〇一
京都府福知山市字天田小字大丸三番五番地の一
電話 ○七三三三三三三三
FAX ○七三三三三三三三

井上会計事務所

税理士
行政書士
井上 公雄

〒660-0001 兵庫県篠山市杉一七〇一
電話 ○七九二二二二二二
FAX ○七九二二二二二二

JRI株式会社かに道楽

代表取締役
社長
今津 文雄

〒540-0031 大阪市中央区西心斎橋一丁目六番五番地五階
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

株式会社阪神住建

代表取締役
岩崎 圭祐

本社 〒550-0001 大阪府福島区吉野一丁目一四
電話 ○六六四四四四四四
FAX ○六六四四四四四四

岩崎行政書士事務所

行政書士
岩崎 英夫

〒570-0001 大阪府東淀川区西淀川一丁目十番十七号
電話 ○七二二二二二二二
FAX ○七二二二二二二二

関西大学校友会会参

司法書士
植田 喜一

〒540-0031 大阪市中央区淡路町二丁目一四番一〇
TEL ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

上田吉彦税理士事務所

税理士
上田 吉彦

事務所 〒540-0001 大阪市中央区中寺二丁目一番三二二二
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

上野会計事務所

税理士
上野 義雄

〒540-0001 大阪市中央区谷町六丁目一五番一〇
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

薄木総合法律事務所

弁護士
薄木 昌信
(昭三十五学一法卒)

〒540-0001 大阪市中央区西心斎橋一丁目六番五番地五階
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

内田写真株式会社

代表取締役
会長
内田 弘男

〒550-0001 大阪府福島区吉野一丁目一四
電話 ○六六四四四四四四
FAX ○六六四四四四四四

上原総合法律事務所

弁護士
上原 洋允

〒540-0031 大阪市中央区西心斎橋一丁目六番五番地五階
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

税理士法人S・T・M総研

公認会計士
税理士
石川 昌司

〒540-0031 大阪市中央区西心斎橋一丁目六番五番地五階
電話 ○六六二二二二二二

大島特許事務所

税理士
大島 泰甫

〒540-0001 大阪市中央区中寺二丁目一番三二二二
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

大谷税理士事務所

税理士
大谷 久仁雄

〒531-0072 大阪府北区豊崎三丁目一〇一
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

特許業務法人岡田国際特許事務所

代表社員
岡田 英彦

〒540-0001 大阪市中央区西心斎橋一丁目六番五番地五階
電話 ○六六二二二二二二

税理士
岡本 忍

電話 ○六六六六六六六六

弁護士
大東 恭治

〒540-0031 大阪市中央区西心斎橋一丁目六番五番地五階
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

株式会社サン・エクスプレス

代表取締役
海蔵寺 浩

〒540-0031 大阪府吹田市清水十四丁目一
電話 ○六六六六六六六六
FAX ○六六六六六六六六

弁護士
片山 久江

〒540-0031 大阪市中央区東高麗橋二丁目二四
電話 ○六六六六六六六六
FAX ○六六六六六六六六

かとう法律事務所

弁護士
加藤 安宏

〒540-0031 大阪市北区西心斎橋一丁目六番五番地五階
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二

河合経営労務事務所

河合 正信

〒540-0031 大阪市中央区西心斎橋一丁目六番五番地五階
電話 ○六六二二二二二二
FAX ○六六二二二二二二



明けましておめでとうございます

相続・遺言・成年後見申立
売買・贈与・会社設立
司法書士法人 J.L.O

川村 常雄

大東本部 〇七二八七四三三〇八
大阪事務所 〇六一四七〇九八六五
東京事務所 〇三六九三三二八二五

弁護士法人
関西法律特許事務所

村林 隆一

今中 利昭

大阪市中心区北浜 二一五二二二
小寺プラザ 2階
電話 〇六一六二二二二二二〇代

木地法律事務所

木地 晴子

大阪市北区西天満 四一六一三
ヴェール中之島北四二〇二
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

特許業務法人クレア特許事務所

北原 宏修

平成七年上り化学工業 平成九年院上り化学修了
〒五三〇一〇〇四七
大阪府大阪市北区西天満二丁目六番八号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代
E-MAIL kishihara@crea-pat.com

大阪府社会保険労務士会
東部支部
北本社労務事務所 (SRP 認証)

北本 浩三

〒五三〇一〇〇一四
大阪府東淀川区北通二丁目二〇番七号
TEL FAX 〇六一六二二二二二二〇代
E-mail:kouhisi@ocean.zaq.ne.jp

兵庫県行政書士会会員
河本・竹内行政書士合同事務所

河本 享

事務所 〒696 尼崎市湖江二丁目三番一五(一部文庫新卒)
電話 〇六四九四九二二八番
FAX 〇六四九四九二二八番
自宅 〒6211 神戸市西区上新地二丁目二番地の六
電話 〇七七八 九六七一七(一部)

こじま合同事務所

小島 喜代一

品川 兼輝

秋元 真琴

大阪市東区南船場二丁目一五番八号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

小寺 一矢

小寺 陽平

大阪市北区西天満 四一六一三
梅ヶ枝中央ビル
TEL 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

小西法律事務所

小西 清茂

京都市中京区烏丸通 九条下町下ル
大倉町 〇八六
オクムラビル 四階
電話 〇七五二二二二二二〇代
FAX 〇七五二二二二二二〇代

スーパーマーケット 29 店舗

朝潮

代表取締役 芋縄 隆史

小林 俊明

堀田 恭子

杉村 理絵

小松法律特許事務所

小松陽一郎

大阪府大阪市中之島 二二二二二
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

さいとう司法書士事務所

齋藤 佳子

大阪府中央区谷町三丁目四番五号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

塩田 憲治

塩田 貴美代

大阪府中央区谷町一丁目一三番二号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

塩野征四郎

事務所 大阪府中央区谷町一丁目二番二号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

柴田法律特許事務所

柴田 肇

大阪府前田町一丁目二番一十一号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

志水会計事務所

志水 正芳

大阪府大阪市東区東船場二丁目二番五号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

上代・神野特許事務所

上代 哲司

大阪府中央区東高麗橋三番三二二号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

甚田総合会計事務所

甚田 隆康

大阪府中央区南船場二丁目一五番八号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

杉本会計事務所

杉本 秋男

大阪府中央区上津一丁目一三番一七号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

杉本会計・経営総合事務所

杉本 光伸

大阪府中央区谷町一丁目二番二号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

特許業務法人有古特許事務所

角田 嘉宏

神戸市中央区東町一丁目三十一号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

背戸清三会計事務所

背戸 清三

大阪府大阪市津田二丁目四番二七号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

社会保険労務士関大会

大門 博

大阪府大阪市中央区島町二丁目一四一三
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

太陽法律事務所

辻口 信良

森谷 昌久

計七名

大阪府大阪市西淀川区北通二丁目二番八号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

高橋 龍雄

大阪府東淀川区池袋二丁目二番二七号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

日本医業経営コンサルタント (JRC 会員)

武島 博

武島 巖

辰巳特許事務所

辰巳 忠宏

大阪府天王寺区上本町五二二二一
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

田中労務管理事務所

田中 義久

大阪府市羽倉崎上町三二一八二
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

日隆産業株式会社
日隆運輸株式会社

谷 康司

大阪府東淀川区小松二丁目一四二二
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

玉置公認会計士事務所

玉置 栄一

大阪府中央区北浜一丁目一三二一四
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

塚本 哲

大阪府宝山区山町二番一三番一七
電話 〇六一六二二二二二二〇代

難波中央司法書士事務所

辻井 宏之

大阪府浪速区元町一丁目四番二二二
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

辻本法律特許事務所

辻本 一義

大阪府大阪市上野二丁目一六二二二
電話 〇六一六二二二二二二〇代

中村司法書士事務所

中村 博

大阪府大阪市東区中野三丁目八番一八号
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代

中村良介税理士事務所

中村 良介

大阪府北区曾根崎新地一丁目二二二
電話 〇六一六二二二二二二〇代
FAX 〇六一六二二二二二二〇代



明けましておめでとうございます

ながや法律事務所

弁護士 長屋 興

〒五三〇一〇〇四七
大阪市北区西天満六丁目一七
電話 〇六六三三二二七七八
FAX 〇六六三三二二七七七八

ながやま法律事務所

弁護士 長山 亨
弁護士 長山 淳一

大阪市北区西天満四丁目一八
OLビル西階四〇一室
電話 〇六六三三二二八四一
FAX 〇六六三三二二八九〇

《地域に貢献する
関大OBの司法書士グループ》

司法書士 上野 義治
司法書士 彌島 義尚
司法書士 吉田 篤史

羽賀順一会計事務所

税理士 羽賀 順一

大阪市天王寺区上本町六丁目二二
〒五四三〇〇〇一（上六光陽ビル）
電話 〇六六六七〇一七二一〇

司法書士 萩原 弘
司法書士 萩原 貞榮

伊丹市昆陽二丁目一六番地
電話 〇七二七七九一〇三〇五
FAX 〇七二七七九一〇四〇六

関大大阪倶楽部理事長
関大法学部二十七年会会長

公認会計士 畑下 辰典
税理士

大阪市天王寺区上本町六丁目二二
電話 〇六六六七〇一七二一〇
FAX 〇六六六七〇一七二一〇

花田公認会計士事務所

公認会計士 花田 昌己

岸和田市別所町三三十一
電話 〇七二四三三三三〇〇
FAX 〇七二四三三三三〇〇

林川法律事務所

弁護士 林川 毅

大阪市中央区道修町三二二五
〒五四一〇〇四五 高層ビル二階
電話 〇六六二二七一五五一一
FAX 〇六六二二七一五五一一

正田法律事務所

弁護士 正田 淳

大阪市中央区北浜二丁目十九
電話 〇六六二二九一三二四〇
FAX 〇六六二二九一三二四一

福井経営総合事務所

行政書士 福井 忠成

〒五五〇〇〇〇二二
大阪市西区江戸堀二丁目二七
TEL 〇六六四四四八二二二五
FAX 〇六六四四四八二二二五

福田社会保険労務士事務所

社会保険 労務士 福田 稔

東大阪市新池島町二丁目十五
電話 〇七二九八八一九八八
FAX 〇七二九八八二一〇五七

ふじもと法律事務所

弁護士 藤本 哲也
（昭四十四法卒 昭四十八院修）
（校友会明石関大クラブ幹事長）

兵庫県明石市相生町一丁目三三
電話 〇七八一九一七四八〇
FAX 〇七八一九一七四八〇

大阪船場法律事務所

弁護士 藤原 誠

大阪市中央区船場三丁目一八
電話 〇六六二二六二二二四
FAX 〇六六二二六二二二四

サン・グループ
（知的財産専門集団）

代表 藤本 昇
弁護士 野村 慎一
弁護士 藤本 周一

大阪市中央区船場一丁目一四
電話 〇六六二二七一七九〇八
FAX 〇六六二二七一七九〇八

学校法人 関西大学 評議員
関西大学教育後援会 相談役
関西大学校友会 常議員

税理士 古淵 孝仁
（昭和五十五年法務部等）

〒五五〇〇〇〇二二
堺市堺区市之町東二丁目二二
電話 〇七二二二二二二二二
FAX 〇七二二二二二二二二

牧江社会保険労務士事務所

特定社会保険労務士 行政書士 所長 牧江 重徳

〒六六〇〇〇〇九七
西宮市和上町五
電話 〇七九八三六四三〇三
FAX 〇七九八三六四三〇三

（株）アクセス鑑定

代表取締役 松永 明
（不動産鑑定士）

大阪市北区西天満三丁目十四
電話 〇六六六五五五五五五
アクセス鑑定で検索

三原公認会計士事務所

公認会計士 三原 秀章
社会保険労務士

大阪市西区阿波座一丁目五
電話 〇六六二二二二二二二
URL <http://www.mtc-pa.com>

宮口会計事務所

税理士 宮口 明
公認会計士 宮口 亜希

〒五五〇〇〇〇一七
高槻市天神町一丁目二二
電話 〇七二二二二二二二二
FAX 〇七二二二二二二二二

村角税理士事務所

税理士 村角 末義

大阪市北区西天満三丁目一八
電話 〇六六二二二二二二二
FAX 〇六六二二二二二二二

特許業務法人
森本国際特許事務所

弁護士 森本 義弘
弁護士 原田 洋平

大阪市西区西本町一丁目一
電話 〇六六二二二二二二二
FAX 〇六六二二二二二二二

税理士法人 大阪中央会計

代表社員 山口 明文

大阪市中央区内本町一丁目二
電話 〇六六二二二二二二二
（昭四十四年商学部卒 学法部OB）

公認会計士 山田 榮一

大阪市天王寺区勝山二丁目一四
電話 〇六六二二二二二二二
FAX 〇六六二二二二二二二

関西大学校友会代議員会副議長
学校法人関西大学評議員財務委員長
公認会計士関大大会会長

公認会計士 山田 拓幸

大阪市北区西天満五丁目一五
電話 〇六六二二二二二二二

山田会計事務所

中小企業 税理士 山田 政義

大阪市中央区谷町九丁目一八
電話 〇六六二二二二二二二
FAX 〇六六二二二二二二二
URL <http://www.mtcinfo>

山田特許事務所

弁護士 山田 義人
弁護士 大村 和史

大阪市中央区伏見町二丁目一六
電話 〇六六二二二二二二二
FAX 〇六六二二二二二二二

校友会阿倍野支部

支部長 松田 充弘
役員 一同

事務局 大阪市阿倍野区阿倍野二丁目一
電話 〇六六二二二二二二二

校友会生野支部

支部長 西田 嘉男
外役員 一同

事務所 大阪市生野区勝山二丁目一八
電話 〇六六二二二二二二二
FAX 〇六六二二二二二二二

校友会大阪中央支部

支部長 伊藤 晃充
役員 一同

事務所 大阪市北区天満一丁目二二
電話 〇六六二二二二二二二
FAX 〇六六二二二二二二二

校友会城東支部

支部長 高木 忠雄
役員 一同

支部事務局 大阪市城東区関目四丁目六番九号
電話 〇六六二二二二二二二

校友会鶴見支部

支部長 徳野 豊
外役員 一同

事務所 大阪市鶴見区鶴見二丁目二五
電話 〇六六二二二二二二二

校友会西成支部

支部長 吉村 健治

〒五五七〇〇五二
大阪市西成区湖路二丁目十番二五
TEL 〇六六二二二二二二二

校友会西支部

支部長 中野 英満
外役員 一同

事務局 大阪市西成区江戸堀二丁目一三
電話 〇六六二二二二二二二

校友会東成支部

支部長 米谷 晴生

〒五五三〇〇二二
大阪市東成区大今里四丁目一八
電話 〇六六二二二二二二二
FAX 〇六六二二二二二二二

校友会福島支部

支部長 宮腰 健次

事務局 谷口町事務所
大阪市福島区郷州四丁目二
電話 〇六六二二二二二二二

校友会淀川支部

支部長 塚田 邦彦
外役員 一同

大阪市淀川区新北野二丁目三十五
電話 〇六六二二二二二二二



明けましておめでとうございます

校友会河内長野支部

支部長 榎本 正人
外役員一同

事務局 河内長野市美加の台五五一六
TEL 〇七二二一六三三二〇
FAX 〇七二二一六三三二〇

校友会堺支部

支部長 隅谷 哲三
外役員一同

事務局 堺市堺区我々の町東四一 一十六
堺市堺区我々の町東四一 一十六

校友会吹田支部

支部長 奥谷 英夫
外役員一同

事務所 日隆産業株式会社
大阪府東淀川区小松二七一 一四
電話 〇六二二二九四四二四

校友会泉南支部

新支部長 南 弘和
前支部長 森本 譲

大阪府泉南市・阪南市・岬町
大阪府泉南市・阪南市・岬町
事務所 五九九〇二六 紫野由照方
阪南市桃の木台四一七八二
電話 〇七二四七六一七七八二

校友会高槻島本支部

特別相談役 小山 洋三
支部長 清水 利男
役員一同

〒五九一〇八三 高槻市高槻町一九一七
株ヤマカンパニー内
電話 〇七二六八二一八八七
FAX 〇七二六八三〇〇八七

校友会豊中支部

支部長 神保 雅明
外役員一同

事務局 横島正秀方
豊中市北条町三一 一三九
電話 FAX 〇六六三二二七五

校友会豊能支部

支部長 小林 宣博
役員一同

事務局 豊能郡豊能町東とさわ台九二二一八
電話 〇七二二七三八一七四七三

校友会富田林支部

支部長 杉多 弘至
外役員一同

事務局 大阪府富田市の里二二四一
TEL 〇七二二二二二二二二
FAX 〇七二二二二二二二二

校友会枚方支部

支部長 阿部 進
外役員一同

事務局 枚方市 諸栄町六一 一八
電話 〇七二二八四七一一一

校友会神戸支部

支部長 齋藤 富雄
代表 山本 智子

関大神戸平成倶楽部
〒五九一〇二六 紫野由照方
代表 山本 智子
ku886@nifty.com

校友会普屋支部

支部長 直林 法廣
外役員一同

事務局 依藤健史方
芦屋市興川町三三 一二〇八
電話 〇七九七二二二二二二
FAX 〇七九七二二二二二二

校友会尼崎支部

支部長 大角 教雄
役員一同

事務局 依藤健史方
芦屋市興川町三三 一二〇八
電話 〇七九七二二二二二二
FAX 〇七九七二二二二二二

謹賀新年

校友会伊丹支部
支部長 加藤 拓
役員一同

事務局 伊丹市中央二二二一六 南ヒラク
電話 〇七二二七八五二五〇七

校友会川西支部

支部長 浅野 洋一
外役員一同

事務局 川西市小花一 一九一十三
電話 〇七二二七五九一七八五

校友会宝塚支部(葦水会)

支部長 兼丸 秀樹
外役員一同

事務局 宝塚市 宝塚一 一四九一
電話 〇七二二七五九一七八五

校友会京都支部

支部長 牧村 史朗
外役員一同

事務局 京都市中京区
〒六〇〇一三六 〇一七五
D.C. Yamanaka@nifty.com

校友会和歌山支部

支部長 田中 昭彦
外役員一同

事務局 和歌山市小瀬賀七三八番地
電話 〇七三三三三三三三三

校友会愛知支部

支部長 森田敏二三
外役員一同

事務局 名古屋市中区
〒四六八〇一〇一三
電話 〇五二一八七六一三四四〇

首都圏支部連合会

会長 得平 文雄
役員一同

事務局 東京都千代田区丸の内一七七一
電話 〇三三三三三三三三三

校友会神奈川支部

支部長 重延 義樹
外役員一同

事務局 横浜須賀町一 一七七一
電話 〇五〇一〇六三三三三三三

校友会千葉支部

支部長 杉原 賦彦
外役員一同

事務局 千葉県千葉市
〒二六〇一〇一〇一〇一
電話 〇四三三三三三三三三

校友会備後支部

支部長 濱田 宏志
外役員一同

事務局 福山市
〒七五〇一〇一〇一〇一
電話 〇八四一四四一四一四

校友会香川支部

支部長 川北 文雄
外役員一同

事務局 高松市
〒七六〇一〇一〇一〇一
電話 〇八七二二二二二二二

校友会徳島支部

支部長 山田 仁
外役員一同

事務局 徳島市
〒七六〇一〇一〇一〇一
電話 〇八八三二二二二二二

校友会愛媛支部

支部長 小泉勇治郎
役員一同

事務局 伊予郡
〒七九〇一〇一〇一〇一
電話 〇八九二二二二二二二

司法書士関大会

会長 中村 博
副会長 磯崎 泰博
幹事長 北田 五十一
佐竹 正康
福本 宏史
辻井 宏之

事務局 吹田市山手町三三 一三五
関西大学新風館内

校友会東予千里会

会長 山岡 陸男
副会長 深澤 和夫
幹事長 中井 邦夫
理事 山本 清孝
別處 一 監事 山本 清孝
山本 清孝
池松知永子
福田 裕是

事務局 愛媛県新居浜市
〒七九二一〇一〇一〇一
電話 〇七九二二二二二二二

関西大学東京経済人倶楽部

会長 南部 靖之
副会長 藤原 利男
幹事長 山本 公三
理事 山本 公三
梅野 賢治
上杉 孝夫

事務局 東京都千代田区丸の内一七七一
サピアタワー九階
電話 〇三三三三三三三三三

自動車関大会

会長 森下 功
副会長 堀島 弘治
理事 大江 正則
木本 幸男
上杉 文雄

事務局 大阪府福島区
〒五五五一〇一〇一〇一
電話 〇六六四四四四四四四

社会保険労務士関大会一同

会長 関大会一同
副会長 永盛 務
幹事長 永盛 務
理事 永盛 務
上杉 文雄

事務局 大阪府中央区
〒一〇五〇一〇一〇一〇一
電話 〇六六四四四四四四四

関西大学文化会OB会葦文会

会長 中瀬 和夫
副会長 渡部 基義
幹事長 三坂 友章
役員一同

事務局 吹田市山手町三三 一三五
関西大学新風館内

関西大学体育OB会

会長 小坂 道一
役員一同

事務局 吹田市山手町三三 一三五
関西大学新風館内

関西大学応援団OB千成会

会長 田中 義昭
副会長 深澤 和夫
幹事長 中井 邦夫
理事 山本 清孝
別處 一 監事 山本 清孝
山本 清孝
池松知永子
福田 裕是

事務局 愛媛県新居浜市
〒七九二一〇一〇一〇一
電話 〇七九二二二二二二二

関西大学スポーツマンクラブ

会長 中井 邦夫
幹事長 山本 公三
副会長 藤原 利男
理事 山本 公三
梅野 賢治
上杉 孝夫

事務局 東京都千代田区丸の内一七七一
サピアタワー九階
電話 〇三三三三三三三三三

関西大学応援団OB長柄会

会長 大谷 啓二
副会長 堀島 弘治
理事 大江 正則
木本 幸男
上杉 文雄

事務局 大阪府福島区
〒五五五一〇一〇一〇一
電話 〇六六四四四四四四四

関西大学女子秀麗会

会長 仁井ひろみ
副会長 永盛 務
幹事長 永盛 務
理事 永盛 務
上杉 文雄

事務局 大阪府中央区
〒一〇五〇一〇一〇一〇一
電話 〇六六四四四四四四四

ご 良 縁

成婚率の高さがキメテ!!

株式会社 **Em Road** Marriage Road

コンピューターを一切使わず、
お一人お一人丁寧にお世話させて
いただいております。

※エムロードはここが違う!!

- 1 成婚率の高さ
(無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり
100%の行き届いたシステム)
- 2 質の高い会員層
(国公立・有名私立大卒が中心)
- 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
(ご入会からご成婚まで、行き違いのないように
同一アドバイザーが担当)
- 4 自社会員のみの構成
(成婚率の高さの維持とプライバシーの保護の
為に他社との提携は一切なし)
- 5 ご両親説明会開催
(月一回ご両親への説明会開催)
- 6 格式あるお見合いパーティー
(帝国ホテル・リッツカールトン等一流ホテルでの
会員様だけの集い)
- 7 安心の均一料金システム
(どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視
の安心料金システム)



新聞・テレビで

“成婚率の高い結婚相談所”と紹介されました。

- ドクターズコース、一般コース、中高年各コース 有
- 資料請求無料

NPO法人ワークライフバランス推進協力機構 監事
業界団体 NLB日本ナノライセンス結婚専科システム協議会理事

お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都
よいふうぶ よろしく
0120-4122-46

創業21年、5,500組を超える成婚実績、
コンピューターを一切使わず、すべててづくり100%
の誠実なマンツーマンシステムです。
また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介
を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。
その為、他社との連携は一切いたしておりません。

私どもに届いたお手紙です。

交際中はいろいろお世話になりました。
的確な時期にとっても参考になるアドバイスをいた
だき、感謝しています。
色々のご迷惑をおかけしましたが、このたび縁あって
素晴らしい女性と決まりました。
これから二人でいろいろ苦難もあると思いますが、
がんばっていきたいと思います。

京都大学大学院卒 公認会計士 35歳 男性



毎日新聞ビル5F 神戸国際会館19F オフィスワン四条烏丸6F

直営店
大阪 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル5F
神戸 神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
京都 京都市下京区室町通綾小路上の鶏鉾町480番地
オフィスワン四条烏丸6F

携帯サイト **m-road.info** エムロード 結婚 検索

●営業時間/10:00~18:30 ●定休日/水曜日

北摂・吹田、「大阪」駅へ乗車10分(3駅)JR・阪急2路線利用可



国土交通省 第1回「長期優良住宅先導事業」採択物件
「長期優良住宅」認定マンション
「ブランシエラ吹田片山公園」



外観完成予想図

平面自走式駐車場
月額
3,000円～

4LDK～2LDK+N(納戸)107㎡超～78㎡超
自由設計対応可

安心の長期保証
最長15年

金利優遇期間20年
フラット35S
※詳しくは係員までお問い合わせください。

長期優良住宅ならではの
特別減税制度
※詳しくはWebをご覧ください。

都心隣接でありながら豊かな自然。四季が薫る広大な片山公園に近接。教育施設や医療・買物など生活利便施設も充実しています。



■物件概要 ●名称/ブランシエラ吹田片山公園 ●所在地(地番)/大阪府吹田市出口町111番地 ●交通/阪急千里線「豊津」駅徒歩8分、JR東海道本線「吹田」駅徒歩13分 ●総戸数/114戸 ●敷地面積/5,719.03㎡ ●建築面積/3,235.64㎡ ●延床面積/14,588.06㎡ ●用途地域/第1種中高層住居専用地域・第2種高度地区 ●建ぺい率/60% ●容積率/200% ●構造・規模/[住居棟]鉄筋コンクリート造、地上10階建、[共用棟]鉄筋コンクリート造、地上2階地下1階建 ●分譲後の権利形態/敷地は共有、建物は区分所有 ●管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社に委託していただきます。 ●管理会社/株式会社長谷工コミュニティ ●建築確認番号/BCJ08大建確051(平成21年2月23日)、BCJ08大建確051変1(平成21年12月7日) ●駐車場/116台(敷地内賃貸/月額使用料:3,000円～12,000円)(※来客用2台含む) ●自転車置場/228台(賃貸/月額使用料:200円) ●バイク置場/7台(賃貸/月額使用料:1,000円) ●ミニバイク置場/14台(賃貸/月額使用料:1,000円) ●建物工予定/平成23年7月中旬 ●入居予定時期/平成23年7月末 ●事業主(売主)/株式会社長谷工コーポレーション 国土交通大臣(14)第68号、国土交通大臣許可(特-17)第3792号、(社)不動産協会会員、(社)近畿圏不動産公正取引協議会加盟(〒541-0046 大阪府中央区平野町1丁目5番7号 TEL:06-6203-5661) ●販売提携[代理]/株式会社長谷工コーポレーション 国土交通大臣(8)第3175号、(社)不動産協会会員、(社)近畿圏不動産公正取引協議会加盟(〒541-0046 大阪府中央区平野町1丁目5番7号 TEL:06-6203-3650) ●設計・監理/株式会社長谷工コーポレーション ●施工/株式会社長谷工コーポレーション-株式会社 森組 ●広告有効期限/平成23年2月末日 ●先着順販売概要 ●販売戸数/9戸 ●間取り/2LDK+N～4LDK ●専有面積(トランクルーム面積含む)78.77㎡～107.19㎡ ●バルコニー面積/13.20㎡～36.94㎡ ●オープンエアバルコニー面積/69.99㎡ ●オーナーズポーチ面積/3.48㎡～9.10㎡ ●トランクルーム面積/0.42㎡～0.81㎡ ●専有面積に含む、使用料無料 ●販売価格(税込)/4,210万円～6,880万円 ●管理費/月額9,640円～12,930円 ●修繕積立金/月額7,480円～10,180円 ●修繕積立一時金/394,000円～536,000円(一括払い) ●管理準備金/20,000円(一括払い) ●オープンエアバルコニー使用料/月額2,100円 【(先着順販売概要)申込受付のご案内】 ●申込受付場所/マンションギャラリーにて ●申込受付時間/午前10時～午後6時(毎週火曜・水曜定休) ●申込時に必要なもの/印鑑(認印)・平成20～21年の収入証明書2年分(源泉徴収票または確定申告書の写し等) ●本人確認書類(運転免許証、健康保険証等)車検証の写し(敷地内駐車場をご希望の方のみ)が必要となります。なお、先着順販売につき、ご希望の住戸が商談中、契約済の場合がございます。あらかじめご了承ください。 ●※完成予想図(パース・CG)は行政官庁の指導、施工上の都合および改良のため設計・仕様の一部変更が生じる場合がございます。 ※掲載の種類・形状は実際とは異なる場合がございます。また樹木等は、有る程度成長した後にイメージしたものです。 ●※掲載の各環境写真は平成21年7月・10月に撮影したものです。情報については平成22年12月6日現在のものです。 ●※1分譲マンションに限ります。 ●※2「長期優良住宅」の普及の促進に関する法律」が平成20年12月5日に公布(平成21年6月4日施行)されたことに伴い、事業名が「超長期住宅先導のモデル事業」・「長期優良住宅先導のモデル事業」から「長期優良住宅先導事業」に名称変更となりました。【現地公開】長期優良住宅先導事業について、内容の公開をしております。

で、
どうなるの。地球は…

© Lisa Vogt / MC Planning, Inc.

想いをかたちに

 **竹中工務店**

お問い合わせは ————— 広報部へ
〒136-0075 東京都江東区新砂1丁目1-1 Tel.03(6810)5140
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605

www.takenaka.co.jp